

参考資料集

（在宅医療・介護関係）

・ 在宅医療アンケート結果	1
・ 在宅医療連携拠点体制整備事業資料	3
・ 大分県在宅医療推進フォーラム資料	5
・ 療養病床数、介護保険施設等の施設数、定員数	7
・ 地域包括ケアシステム関係資料	13

（医療従事者関係）

・ 医師確保関係資料	17
・ 看護職員確保関係資料	20
・ 病床機能報告による医療従事者の状況	26

（疾患別医療需要）

・ 疾患別医療需要の推計	34
--------------	----

（患者の流出入関係）

・ 地域医療構想策定における患者流出入を踏まえた必要病床数推計 の都道府県間調整方法について	67
・ 4 機能別の医療需要の二次医療圏間の流出入の推計	69

（その他）

・ 病床数の推移（平成15年～25年）	71
・ 平成27年度病床機能報告について	72
・ 地域医療構想における慢性期機能の需要推計に用いる慢性期総入院 受療率及び特例要件について	75
・ 療養病床の在り方等に関する検討会資料（抜粋）	76

大 分 県



平成26年度 在宅医療に関するアンケート(平成27年2月調査) 結果

大分県医療計画(平成25年3月策定)において設定している数値目標の進捗状況を把握するために、県内の病院及び診療所を対象に実施したもの。

○ 回答状況 < 病院 >	< 診療所 >	< 合計 >
回答あり 147 (93.0%)	回答あり 699 (87.5%)	回答あり 846 (88.4%)
回答なし 11 (7.0%)	回答なし 100 (12.5%)	回答なし 111 (11.6%)
計 158 (100.0%)	計 799 (100.0%)	計 957 (100.0%)

問1 在宅療養者への診療の状況について

		全体		病院		診療所	
		数	割合	数	割合	数	割合
1	在宅療養支援診療所の届出を行うとともに、訪問診療等を実施している。	163	19.3%	/	/	163	23.3%
2	在宅療養支援診療所の届出は行っているが、訪問診療等は実施していない。	34	4.0%	/	/	34	4.9%
3	在宅療養支援病院の届出を行うとともに、訪問診療等を実施している。	17	2.0%	17	11.6%	/	/
4	在宅療養支援病院の届出は行っているが、訪問診療等は実施していない。	2	0.2%	2	1.4%	/	/
5	いずれの届出も行っていないが、実際にはかかりつけ患者等に対し訪問診療等を実施している。	196	23.2%	47	32.0%	149	21.3%
6	いずれの届出も行っていないが、患者からの求めがあれば訪問診療等を実施する意思がある。	139	16.4%	22	15.0%	117	16.7%
7	いずれの届出も行っておらず、かつ、訪問診療等を実施していない。また、実施する意思もない。	271	32.0%	52	35.4%	219	31.3%
8	不明	24	2.8%	7	4.8%	17	2.4%
合 計		846	100.0%	147	100.0%	699	100.0%
訪問診療等を実施している、または、実施する意思がある医療機関(上記のうち、1、3、5、6)		515	60.9%	86	58.5%	429	61.4%

問2 訪問診療等の実績について (問1で1、3、5に該当する医療機関)

No.	区分	医療機関区分	実施医療機関数	患者数		件数	
				患者数計	平均患者数	件数計	平均件数
1	訪問診療 (1か月の平均的な数)	病院	64	1,062	16.6	1,586	24.8
		診療所	312	6,486	20.8	11,885	38.1
		計	376	7,548	20.1	13,471	35.8
2	往診 (1か月の平均的な数)	病院	64	102	1.6	110	1.7
		診療所	312	1,628	5.2	2,120	6.8
		計	376	1,730	4.6	2,230	5.9
3	看取り (平成25年1~12月)	病院	64	100	1.6	/	/
		診療所	312	710	2.3		
		計	376	810	2.2		
4	看取り (平成26年1~12月)	病院	64	136	2.1		
		診療所	312	813	2.6		
		計	376	949	2.5		

問3 退院支援担当者及び退院支援に関する届出の状況について

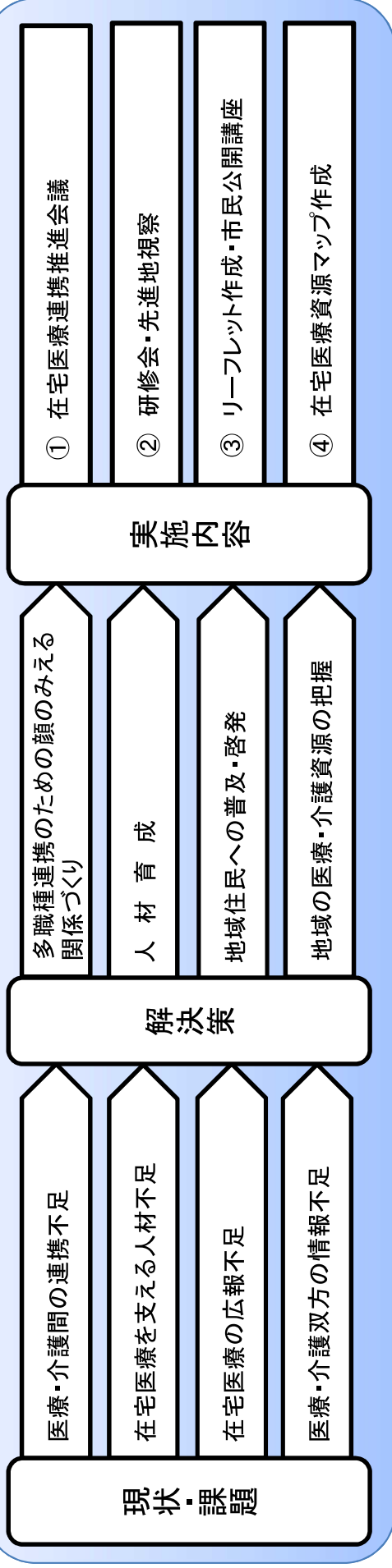
			全体		病院		診療所	
			数	割合	数	割合	数	割合
1	退院支援に関する診療報酬上の届出の有無	有	93	11.0%	65	44.2%	28	4.0%
		無	633	74.8%	81	55.1%	552	79.0%
		不明	120	14.2%	1	0.7%	119	17.0%
		計	846	100.0%	147	100.0%	699	100.0%
2	退院支援担当者(専従)を配置している医療機関数(職種別)	MSW	53	50.5%	51	78.5%	2	7.1%
		看護師	30	28.6%	7	10.8%	23	82.1%
		MSW・Ns	6	5.7%	5	7.7%	1	3.6%
		その他・不明	4	3.8%	2	3.1%	2	7.1%
		計	83	100.0%	65	100.0%	28	100.0%
3	退院支援に実際に従事している人数	MSW	212	201.9%	189	290.8%	23	82.1%
		看護師	218	207.6%	127	195.4%	91	325.0%
		その他	55	52.4%	43	66.2%	12	42.9%
		計	485	100.0%	359	552.3%	126	450.0%
4	診療報酬を請求した対象患者数(1か月平均、人)	2,621人÷93= 25.0		2,486人÷65=38.2		135人÷28=4.8		

※ 大分県医療計画における在宅医療の数値目標(抜粋)

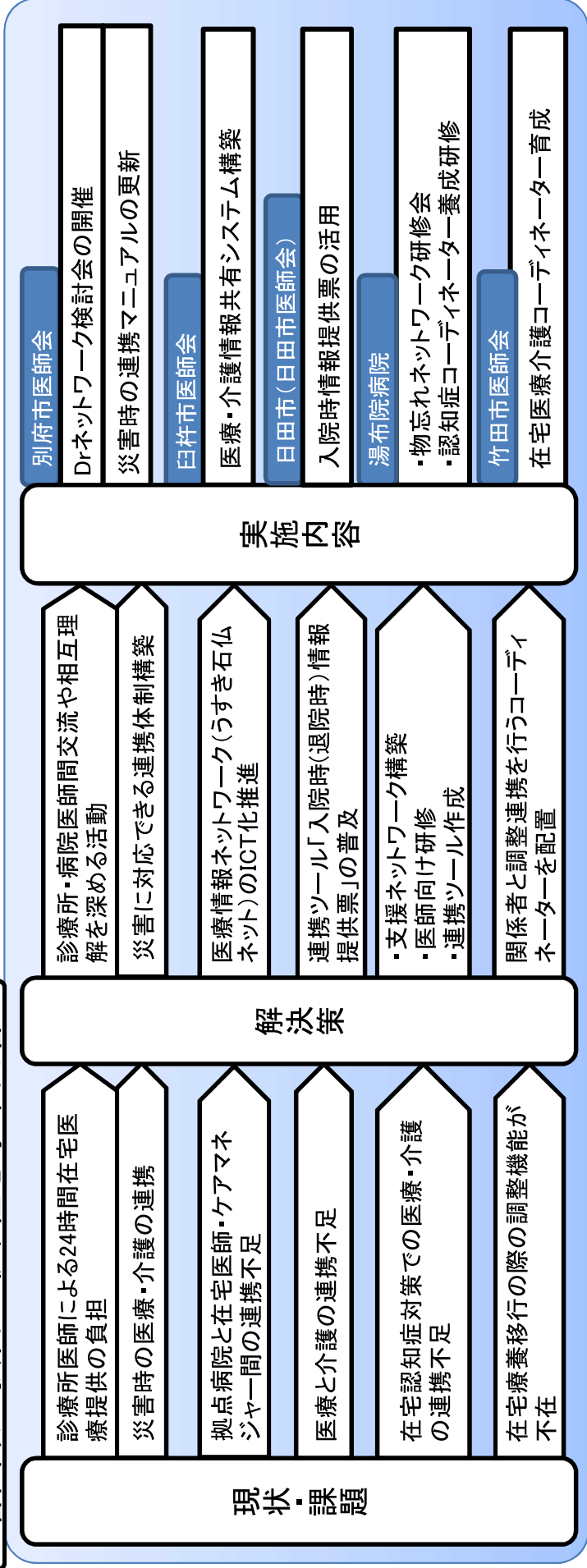
項目	現 状 (平成24年度末)	目 標 (平成29年度末)
在宅医療を実施している医療機関数及び実施する意思がある医療機関数	診療所 340施設 病 院 82施設 (平成24年度調査)	平成24年度調査による施設数を上回る

在宅医療連携拠点体制整備事業（平成25～27年度）

全圏域で取り組む事業内容



各圏域で独自に取り組む事業内容



在宅医療連携拠点体制整備事業 県内の取組

二次医療圏	実施主体			主な取組(H25～26)
	H25	H26	H27	
東部(別府市、杵築市、国東市、日出町、姫島村)	別府市医師会			Drネットワーク検討会の開催、災害時の連携マニュアル活用・訓練、市民フォーラム開催、シンポジストとして他県行事へ参加、「ゆけむり医療ネット」の活用 など
	日出町			推進会議、研修会、在宅医療連携ガイドの作成 など
	杵築市			地域連携会議、在宅医療連携ガイドの作成、医療連携フォーラム、出前講座 など
	国東市			多職種による事例検討会、連携マニュアル作成、市民公開講座開催 など
中部(大分市、臼杵市、津久見市、由布市)	大分市			多職種連携会議、作業部会医療資源マップ・ハンドブック作成、市民講演会 など
	大分市連合医師会			
	臼杵市医師会			プロジェクト会議、IT班など事業別ワーキング、「うすき石仏ねっと」による情報共有システム構築・拡充、市民公開講座、ケーブルテレビ番組制作 など
	津久見市医師会			推進会議、勉強会、つくみし共通連絡ノートの普及(入退院時情報共有ツール)
南部(佐伯市)	湯布院病院			プロジェクト会議、認知症コーデイネーター養成研修、市民意識調査 など
	佐伯市			在宅医療対策小委員会、多職種向け講演会・研修会、市民向け啓発講座 など
	竹田市医師会			推進協議会、研修会、在宅医療介護コーデイネーターの雇用・育成 など
	豊肥保健所			在宅医療連携ガイド作成、訪問看護とケアマネの連携による訪問等支援 など
西部(日田市、九重町、玖珠町)	日田市(日田市医師会に委託)			ブルーカードシステム(入院時情報提供票)の活用、在宅医療・介護ニーズ調査、リポート全戸配布、市民公開講座、多職種合同研修会 など
	玖珠郡医師会			入院時情報提供書の作成、地域資源情報収集・ファイリル化、住民向け講演会 など
北部(中津市、豊後高田市、宇佐市)	北部保健所			推進会議、研修会、市民意識調査、リポート作成、市民講演会 など
	宇佐市			
—	県立看護科学大学			地域診断ツール開発に係る企画会議 など

※「主な取組(H25～26)」は各実施主体から提出された実績報告等に基づき、県医療政策課において作成。

日本一のおんせん県おおいた

大分県在宅医療 推進フォーラム

テーマ

地域を支える医療と介護の連携



入場無料

どなたでも参加可能
事前申し込み制
申し込みについては裏面
をご参照ください。

日時

平成27年 **11月21日** (土)
12時30分～18時00分

場所

大分市コンパルホール
1階 文化ホール (大分市府内町1丁目5-38)

特別
講演

『**多職種のチームで連携する在宅医療**
～本人の生き方に向き合う医療と介護を目指して～』

医療法人ゆうの森 理事長
永井 康徳 先生

●シンポジウムⅠ 「多職種の在宅の活動」

- シンポジスト
- 山岡 憲 夫 (医師：やまおか在宅クリニック 院長)
 - 佐々木 真理子 (訪問看護師：大分豊寿苑訪問看護ステーション 管理者)
 - 森崎 重 規 (歯科医師：鶴岡クリニック 歯科・口腔外科)
 - 菊池 幸 助 (薬剤師：日出調剤薬局 管理薬剤師)
 - 川野 剛 士 (リハビリ：関愛会 在宅リハビリテーション室 室長)
 - 平ヶ倉 文 雄 (介護：デイサービスセンターかざぐるま 代表)
 - 岡江 晃 児 (医療ソーシャルワーカー：大分医療センター 医療ソーシャルワーカー)
 - 中野 孝 子 (家族代表：認知症の人と家族の会 大分県支部世話人代表)

●シンポジウムⅡ 「県内の在宅医療・介護連携の取り組み」

- シンポジスト
- 別府市：安 東 いつ子 (別府市医師会訪問看護ステーション 管理者)
 - 臼杵市：舩 友 一 洋 (臼杵市医師会医療福祉統合センター センター長)
 - 日田市：岩 橋 京 子 (日田市医師会立訪問看護ステーション 管理者)
 - 由布市：佐 藤 慎二郎 (佐藤医院 院長、由布物忘れネットワーク コーディネーター)

主催：大分県／大分県在宅医療推進フォーラム実行委員会

後援：大分県医師会／大分県歯科医師会／大分県薬剤師会／大分県看護協会／大分県病院協会／大分県精神科病院協会／大分県栄養士会／
大分県社会福祉協議会／大分県社会福祉士会／大分県医療ソーシャルワーカー協会／大分県介護福祉士会／大分県介護支援専門員協会／
大分県理学療法士協会／大分県作業療法協会／大分県言語聴覚士協会／大分県歯科衛生士会／大分県訪問看護ステーション連絡協議会／

【フォーラム事務局】 大分県福祉保健部医療政策課

TEL 097-506-2652/FAX 097-506-1734 <http://www.pref.oita.jp/soshiki/12620/>

【問い合わせ先】 やまおか在宅クリニック/磯崎・加藤

TEL 097-545-8008/FAX097-545-8108 E-Mail:zaitaku.suisin.oita@gmail.com

プログラム

11月21日(土) (受付/12時00分～)

① 開会挨拶 12:30～12:40

大分県知事 広瀬勝貞
大分県在宅医療推進フォーラム実行委員長 山岡憲夫

② シンポジウムⅠ 12:40～15:20

「多職種在宅の活動」

座長：宮崎秀人(限診所 院長)
佐藤博文(帰巖会みえ病院 医療ソーシャルワーカー)

- ① 「街全体をホスピスに—多職種連携を通して」
山岡憲夫(やまおか在宅クリニック 院長)
- ② 「予防から看取りまで在宅療養を支える訪問看護」
佐々木真理子(大分豊寿苑訪問看護ステーション 管理者)
- ③ 「地域の社会資源としての在宅歯科診療をめざして」
森崎重規(鶴岡クリニック 歯科・口腔外科)
- ④ 「在宅医療基盤を多職種で支える」
菊池幸助(日出調剤薬局 管理薬剤師)
- ⑤ 「在宅リハビリテーションの醍醐味
～その人らしさを求めて～」
川野剛士(関愛会 在宅リハビリテーション室 室長)
- ⑥ 「認知症を抱える方が我が家で暮らし続けるために」
平ヶ倉文雄(デイサービスセンターかざぐるま 代表)
- ⑦ 「身寄りのいない患者の看取りのソーシャルワーク支援
～最後までその人らしい支援とは～」
岡江晃児(大分医療センター 医療ソーシャルワーカー)
- ⑧ 「患者家族の立場から—
中野孝子(認知症の人と家族の会 大分県支部世話人代表)

③ 特別講演 15:30～16:30

座長：山岡憲夫(やまおか在宅クリニック 院長)

「多職種のチームで連携する在宅医療 ～本人の生き方に向き合う医療と介護を目指して～」

医療法人ゆうの森 理事長

ながい やすのり
永井康徳先生

【略歴】平成4年 愛媛大学医学部卒業 愛媛大学医学部附属病院、自治医科大学地域医療学教室を経て、愛媛県南部の明浜町国保診療所所長。平成12年 在宅医療専門診療所「たんぼぼクリニック」を愛媛県松山市に開業。平成24年4月 市町村合併の余波で閉鎖となった愛媛県南部のへき地診療所を西予市から民間委譲して引き継ぎ、医師複数体制でのチームで循環型地域医療を実践している。



④ シンポジウムⅡ 16:35～18:00

「県内の在宅医療・介護連携の取り組み」

座長：吉賀 攝(大分県医師会常任理事)
西永和夫(大分県福祉保健部医療政策課)

- ① 大分県の取り組み
西永和夫(大分県福祉保健部医療政策課)
- ② 別府市の取り組み
安東いつ子(別府市医師会訪問看護ステーション 管理者)
- ③ 臼杵市の取り組み
舩友一洋(臼杵市医師会医療福祉統合センター センター長)
- ④ 日田市の取り組み
岩橋京子(日田市医師会立訪問看護ステーション 管理者)
- ⑤ 由布市の取り組み
佐藤慎二郎(佐藤医院院長、由布物忘れネットワーク コーディネーター)

懇親会
18:30～

オロチと柊(おろちとひいらぎ)
大分市中央町2-1-23 サンクビル2F
参加費：4,000円、先着60名様まで(事前申込制)

参加申込み用紙

申し込み締切：平成27年10月30日(金)

申し込み方法

下記の事項を記入のうえ、大分県福祉保健部医療政策課宛てFAXにてお申し込みください。
(FAX番号097-506-1734、懇親会に参加希望の方は、欄内に○印をお付けください。)
記入欄が足りない場合はコピーして使用してください。参加者が定員に至った場合、期限前に申し込み受付を締め切ります。(フォーラム：定員500名、懇親会 定員60名)

氏名	所属	職種 (○で困ってください)	連絡先 (FAXまたはメールアドレス)	懇親会
		一般・学生・医師・看護師・薬剤師・MSW リハビリ・介護・その他()		
		一般・学生・医師・看護師・薬剤師・MSW リハビリ・介護・その他()		
		一般・学生・医師・看護師・薬剤師・MSW リハビリ・介護・その他()		

※頂きました個人情報については本フォーラム以外には使用いたしません。

ご記入が終わりましたらそのままFAXでお送りください。

FAX 097-506-1734 大分県福祉保健部医療政策課 宛

在宅医療関係施設数

(二次医療圏・市町村別、65歳以上人口、75歳以上人口千人あたり)

二次医療圏		在宅療養支援病院					在宅医療支援診療所					訪問看護ステーション					合計				
		施設数	65歳以上人口千人あたり施設数		75歳以上人口千人あたり施設数		施設数	65歳以上人口千人あたり施設数		75歳以上人口千人あたり施設数		施設数	65歳以上人口千人あたり施設数		75歳以上人口千人あたり施設数		施設数	65歳以上人口千人あたり施設数		75歳以上人口千人あたり施設数	
			順位	順位	順位	順位		順位	順位	順位	順位		順位	順位	順位	順位		順位	順位	順位	
東部医療圏		5	0.07	2	0.13	1	41	0.60	2	1.12	2	23	0.33	1	0.63	2	69	1.01	2	1.89	2
中部医療圏		7	0.04	3	0.10	3	120	0.83	1	1.72	1	45	0.31	2	0.64	1	172	1.19	1	2.47	1
南部医療圏		0	0.00	6	0.00	6	5	0.19	5	0.34	6	5	0.19	5	0.34	5	10	0.38	5	0.69	5
豊肥医療圏		2	0.08	1	0.13	1	13	0.52	3	0.85	3	6	0.24	4	0.39	4	21	0.84	3	1.37	3
西部医療圏		1	0.03	4	0.05	5	6	0.19	5	0.35	5	3	0.09	6	0.17	6	10	0.32	6	0.58	6
北部医療圏		2	0.03	4	0.07	4	16	0.31	4	0.58	4	13	0.25	3	0.47	3	31	0.61	4	1.13	4
県計		17	0.04	0.09	201	0.58	1.11	95	0.27	0.52	313	0.90	1.74								
市町村		在宅療養支援病院					在宅医療支援診療所					訪問看護ステーション					合計				
		施設数	65歳以上人口千人あたり施設数		75歳以上人口千人あたり施設数		施設数	65歳以上人口千人あたり施設数		75歳以上人口千人あたり施設数		施設数	65歳以上人口千人あたり施設数		75歳以上人口千人あたり施設数		施設数	65歳以上人口千人あたり施設数		75歳以上人口千人あたり施設数	
			順位	順位	順位	順位		順位	順位	順位	順位		順位	順位	順位	順位		順位	順位	順位	
東部	別府市	3	0.07	6	0.15	5	27	0.71	4	1.41	4	14	0.37	2	0.73	2	44	1.17	2	2.31	2
	杵築市	0	0.00	10	0.00	10	4	0.38	11	0.66	11	3	0.28	5	0.50	6	7	0.67	12	1.16	12
	国東市	1	0.08	5	0.14	6	7	0.60	6	1.01	8	3	0.25	10	0.43	10	11	0.94	5	1.58	7
	姫島村	0	0.00	10	0.00	10	1	1.15	1	2.06	1	0	0.00	16	0.00	16	1	1.15	3	2.06	3
	日出町	1	0.12	2	0.25	2	2	0.25	12	0.51	12	3	0.38	1	0.76	1	6	0.77	11	1.53	9
中部	大分市	7	0.06	7	0.13	7	98	0.87	2	1.88	2	37	0.32	3	0.71	3	142	1.26	1	2.72	1
	臼杵市	0	0.00	10	0.00	10	8	0.55	8	1.03	7	4	0.27	7	0.51	5	12	0.83	9	1.54	8
	津久見市	0	0.00	10	0.00	10	5	0.71	4	1.33	5	1	0.14	13	0.26	13	6	0.85	8	1.59	6
	由布市	0	0.00	10	0.00	10	9	0.84	3	1.51	3	3	0.28	5	0.50	6	12	1.12	4	2.01	4
南部	佐伯市	0	0.00	10	0.00	10	5	0.19	15	0.34	15	5	0.19	12	0.34	11	10	0.38	14	0.69	14
豊肥	竹田市	1	0.10	4	0.16	4	5	0.50	10	0.81	10	2	0.20	11	0.32	12	8	0.80	10	1.30	11
	豊後大野市	1	0.06	7	0.11	8	8	0.53	9	0.88	9	4	0.26	8	0.44	9	13	0.86	7	1.43	10
西部	日田市	0	0.00	10	0.00	10	5	0.23	14	0.42	13	3	0.14	13	0.25	14	8	0.37	15	0.68	15
	九重町	0	0.00	10	0.00	10	1	0.25	12	0.42	13	0	0.00	16	0.00	16	1	0.25	17	0.42	17
	玖珠町	1	0.18	1	0.33	1	0	0.00	18	0.00	18	0	0.00	16	0.00	16	1	0.18	18	0.33	18
北部	中津市	0	0.00	10	0.00	10	4	0.17	16	0.33	16	7	0.30	4	0.58	4	11	0.47	13	0.92	13
	豊後高田市	1	0.11	3	0.20	3	1	0.11	17	0.20	17	1	0.11	15	0.20	15	3	0.35	16	0.61	16
	宇佐市	1	0.05	9	0.09	9	11	0.58	7	1.05	6	5	0.26	8	0.47	8	17	0.90	6	1.62	5
県計		17	0.04	0.09	201	0.58	1.11	95	0.27	0.52	313	0.90	1.74								

資料：「在宅療養支援病院」、「在宅療養支援診療所」は、九州厚生局「大分事務所管内における施設基準等届出受理医療機関名簿」(平成27年1月5日)、「訪問看護ステーション」は、大分県高齢者福祉課調(平成27年4月1日現在)。人口は大分県統計調査課「大分県の人口推計(平成26年10月1日現在)」。

在宅医療関係施設数

(二次医療圏・市町村別、65歳以上人口、75歳以上人口千人あたり)

二次医療圏		65歳以上人口	75歳以上人口
東部医療圏		68,116	36,335
中部医療圏		144,353	69,486
南部医療圏		26,290	14,314
豊肥医療圏		24,893	15,220
西部医療圏		30,707	17,080
北部医療圏		50,421	27,306
県計		344,780	179,741
市町村		65歳以上人口	75歳以上人口
東部	別府市	37,505	19,033
	杵築市	10,358	5,986
	国東市	11,620	6,919
	姫島村	866	484
	日出町	7,767	3,913
中部	大分市	112,192	52,036
	臼杵市	14,430	7,753
	津久見市	7,041	3,755
	由布市	10,690	5,942
南部	佐伯市	26,290	14,314
豊肥	竹田市	9,919	6,137
	豊後大野市	14,974	9,083
西部	日田市	21,347	11,717
	九重町	3,902	2,334
	玖珠町	5,458	3,029
北部	中津市	23,178	11,952
	豊後高田市	8,413	4,907
	宇佐市	18,830	10,447
県計		344,780	179,741

療養病床数、介護保険施設等の施設数、定員数 (二次医療圏・市町村別、65歳以上人口、75歳以上人口千人あたり)

二次医療圏		療養病床				特別養護老人ホーム						養護老人ホーム						
		病床数	65歳以上人口千人あたり病床数		75歳以上人口千人あたり病床数		施設数	定員数	65歳以上人口千人あたり定員数		75歳以上人口千人あたり定員数		施設数	定員数	65歳以上人口千人あたり定員数		75歳以上人口千人あたり定員数	
			順位	順位	順位	順位			順位	順位	順位	順位						
東部医療圏		1,139	16.7	1	31.3	1	27	1,201	17.6	3	33.0	3	6	320	4.6	2	8.8	2
中部医療圏		809	5.6	6	11.6	5	46	2,098	14.5	6	30.1	6	4	255	1.7	6	3.6	5
南部医療圏		252	9.5	4	17.6	4	12	448	17.0	4	31.2	4	1	50	1.9	5	3.4	6
豊肥医療圏		163	6.5	5	10.7	6	11	511	20.5	1	33.5	2	3	180	7.2	1	11.8	1
西部医療圏		327	10.6	3	19.1	3	14	614	19.9	2	35.9	1	2	110	3.5	3	6.4	3
北部医療圏		598	11.8	2	21.8	2	17	847	16.7	5	31.0	5	3	175	3.4	4	6.4	3
県計		3,288	9.5		18.2		127	5,719	16.5		31.8		19	1,090	3.1		6.0	
市町村		療養病床				特別養護老人ホーム						養護老人ホーム						
		病床数	65歳以上人口千人あたり病床数		75歳以上人口千人あたり病床数		施設数	定員数	65歳以上人口千人あたり定員数		75歳以上人口千人あたり定員数		施設数	定員数	65歳以上人口千人あたり定員数		75歳以上人口千人あたり定員数	
			順位	順位	順位	順位			順位	順位	順位	順位						
東部	別府市	862	22.9	1	45.2	1	13	557	14.8	14	29.2	10	3	170	4.5	9	8.9	8
	杵築市	97	9.3	9	16.2	10	6	286	27.6	2	47.7	2	1	50	4.8	8	8.3	9
	国東市	138	11.8	7	19.9	7	7	282	24.2	5	40.7	4	2	100	8.6	2	14.4	2
	姫島村	6	6.9	12	12.3	12	0	0	0.0	18	0.0	18	0	0	0.0	16	0.0	16
	日出町	36	4.6	13	9.2	14	1	76	9.7	17	19.4	17	0	0	0.0	16	0.0	16
中部	大分市	527	4.6	13	10.1	13	32	1,428	12.7	16	27.4	14	1	65	0.5	15	1.2	15
	臼杵市	129	8.9	10	16.6	9	3	188	13.0	15	24.2	16	1	60	4.1	10	7.7	10
	津久見市	0	0.0	18	0.0	18	3	138	19.5	6	36.7	6	1	50	7.1	5	13.3	4
	由布市	153	14.3	2	25.7	3	8	344	32.1	1	57.8	1	1	80	7.4	4	13.4	3
南部	佐伯市	252	9.5	8	17.6	8	12	448	17.0	10	31.2	9	1	50	1.9	14	3.4	14
豊肥	竹田市	124	12.5	6	20.2	6	7	246	24.8	3	40.0	5	1	60	6.0	6	9.7	7
	豊後大野市	39	2.6	17	4.2	17	4	265	17.6	9	29.1	11	2	120	8.0	3	13.2	5
西部	日田市	270	12.6	5	23.0	5	9	414	19.3	7	35.3	7	1	50	2.3	13	4.2	13
	九重町	15	3.8	15	6.4	15	2	65	16.6	11	27.8	13	1	60	15.3	1	25.7	1
	玖珠町	42	7.6	11	13.8	11	3	135	24.7	4	44.5	3	0	0	0.0	16	0.0	16
北部	中津市	297	12.8	4	24.8	4	9	417	17.9	8	34.8	8	1	60	2.5	12	5.0	12
	豊後高田市	30	3.5	16	6.1	16	2	130	15.4	13	26.4	15	1	50	5.9	7	10.1	6
	宇佐市	271	14.3	2	25.9	2	6	300	15.9	12	28.7	12	1	65	3.4	11	6.2	11
県計		3,288	9.5		18.2		127	5,719	16.5		31.8		19	1,090	3.1		6.0	

資料：療養病床は厚生労働省「平成25年医療施設調査(平成25年10月1日現在)」その他の施設は大分県高齢者福祉課調(平成27年4月1日現在)。人口は大分県統計調査課「大分県の人口推計(平成26年10月1日現在)」。

療養病床数、介護保険施設等の施設数、定員数
(二次医療圏・市町村別、65歳以上人口、75歳以上人口千人あたり)

二次医療圏		軽費老人ホーム				介護老人保健施設				有料老人ホーム									
		施設数	定員数	65歳以上人口千人あたり定員数		施設数	定員数	65歳以上人口千人あたり定員数		施設数	定員数	65歳以上人口千人あたり定員数							
				順位	順位			順位	順位			順位	順位						
東部医療圏	6	300	4.4	1	8.2	1	15	923	13.5	4	25.4	3	47	1,607	23.5	4	44.2	4	
中部医療圏	9	500	3.4	2	7.1	2	28	1,771	12.2	6	25.4	3	157	4,485	31.0	1	64.5	1	
南部医療圏	1	50	1.9	3	3.4	4	5	358	13.6	3	25.0	5	26	775	29.4	2	54.1	2	
豊肥医療圏	0	0	0.0	6	0.0	6	12	491	19.7	1	32.2	1	20	572	22.9	5	37.5	5	
西部医療圏	1	50	1.6	5	2.9	5	4	411	13.3	5	24.0	6	10	375	12.2	6	21.9	6	
北部医療圏	2	100	1.9	3	3.6	3	9	709	14.0	2	25.9	2	33	1,358	26.9	3	49.7	3	
県計	19	1,000	2.9	2.9	5.5	5.5	73	4,663	13.5	13.5	25.9	25.9	293	9,172	26.6	26.6	51.0	51.0	
市町村		軽費老人ホーム				介護老人保健施設				有料老人ホーム									
		施設数	定員数	65歳以上人口千人あたり定員数		施設数	定員数	65歳以上人口千人あたり定員数		施設数	定員数	65歳以上人口千人あたり定員数							
				順位	順位			順位	順位			順位	順位						
東部	別府市	6	300	7.9	2	15.7	2	6	440	11.7	14	23.1	14	31	1,163	31.0	4	61.1	3
	杵築市	0	0	0	8	0	8	2	100	9.6	17	16.7	17	9	225	21.7	9	37.5	10
	国東市	0	0	0	8	0	8	4	192	16.5	6	27.7	7	0	0	0.0	17	0.0	17
	姫島村	0	0	0	8	0	8	0	0	0.0	18	0.0	18	0	0	0.0	17	0.0	17
	日出町	0	0	0	8	0	8	3	191	24.5	2	48.8	1	7	219	28.1	7	55.9	4
中部	大分市	8	400	3.5	3	7.6	3	20	1,235	11.0	15	23.7	13	127	3,837	34.2	2	73.7	1
	臼杵市	0	0	0	8	0	8	3	236	16.3	7	30.4	6	9	198	13.7	14	25.5	13
	津久見市	0	0	0	8	0	8	2	100	14.2	10	26.6	9	6	135	19.1	12	35.9	12
	由布市	1	100	9.3	1	16.8	1	3	200	18.7	5	33.6	5	15	315	29.4	5	53.0	7
南部	佐伯市	1	50	1.9	7	3.4	7	5	358	13.6	11	25.0	11	26	775	29.4	5	54.1	6
豊肥	竹田市	0	0	0	8	0	8	2	153	15.4	8	24.9	12	5	151	15.2	13	24.6	14
	豊後大野市	0	0	0	8	0	8	10	338	22.5	3	37.2	3	15	421	28.1	7	46.3	8
西部	日田市	1	50	2.3	5	4.2	5	2	215	10.0	16	18.3	16	6	198	9.2	15	16.8	15
	九重町	0	0	0	8	0	8	1	114	29.2	1	48.8	1	3	129	33.0	3	55.2	5
	玖珠町	0	0	0	8	0	8	1	82	15.0	9	27.0	8	1	48	8.7	16	15.8	16
北部	中津市	1	50	2.1	6	4.1	6	4	302	13.0	12	25.2	10	11	491	21.1	11	41.0	9
	豊後高田市	0	0	0	8	0	8	2	179	21.2	4	36.4	4	4	179	21.2	10	36.4	11
	宇佐市	1	50	2.6	4	4.7	4	3	228	12.1	13	21.8	15	18	688	36.5	1	65.8	2
県計	19	1,000	2.9	2.9	5.5	5.5	73	4,663	13.5	13.5	25.9	25.9	293	9,172	26.6	26.6	51.0	51.0	

注)軽費老人ホームには経過の軽費老人ホームを含む

療養病床数、介護保険施設等の施設数、定員数
(二次医療圏・市町村別、65歳以上人口、75歳以上人口千人あたり)

二次医療圏		サービス付き高齢者向け住宅				認知症対応型グループホーム				合計(療養病床数除く)									
		施設数	定員数	65歳以上人口千人あたり定員数		75歳以上人口千人あたり定員数		施設数	定員数	65歳以上人口千人あたり定員数		75歳以上人口千人あたり定員数							
				順位	順位	順位	順位			順位	順位								
東部医療圏	18	524	7.6	1	14.4	1	25	333	4.8	5	9.1	5	144	5,208	76.4	3	143	3	
中部医療圏	26	884	6.1	4	12.7	3	51	772	5.3	4	11.1	3	321	10,765	74.5	5	155	1	
南部医療圏	5	187	7.1	2	13.0	2	13	189	7.1	2	13.2	2	63	2,057	78.2	2	144	2	
豊肥医療圏	1	9	0.3	6	0.5	6	18	203	8.1	1	13.3	1	65	1,966	78.9	1	129	5	
西部医療圏	3	96	3.1	5	5.6	5	8	117	3.8	6	6.8	6	42	1,773	57.7	6	104	6	
北部医療圏	10	338	6.7	3	12.3	4	18	280	5.5	3	10.2	4	92	3,807	75.5	4	139	4	
県計	63	2,038	5.9	▲	11.3	▲	133	1,894	5.4	▲	10.5	▲	727	25,576	74.1	▲	142	▲	
市町村		サービス付き高齢者向け住宅				認知症対応型グループホーム				合計(療養病床数除く)									
		施設数	定員数	65歳以上人口千人あたり定員数		75歳以上人口千人あたり定員数		施設数	定員数	65歳以上人口千人あたり定員数		75歳以上人口千人あたり定員数							
				順位	順位	順位	順位			順位	順位								
東部	別府市	9	391	10.4	1	20.5	1	12	162	4.3	16	8.5	15	80	3,183	84.8	5	167.2	2
	杵築市	0	0	0.0	13	0.0	13	4	63	6.0	9	10.5	10	22	724	69.8	10	120.9	11
	国東市	8	115	9.8	2	16.6	2	6	63	5.4	11	9.1	13	27	752	64.7	14	108.6	15
	姫島村	0	0	0.0	13	0.0	13	1	9	10.3	1	18.5	1	1	9	10.3	18	18.5	18
	日出町	1	18	2.3	10	4.6	10	2	36	4.6	14	9.2	12	14	540	69.5	11	138.0	8
中部	大分市	23	800	7.1	6	15.3	4	38	556	4.9	12	10.6	8	249	8,321	74.1	7	159.9	4
	臼杵市	2	59	4.0	8	7.6	8	5	90	6.2	7	11.6	7	23	831	57.5	16	107.1	16
	津久見市	1	25	3.5	9	6.6	9	3	54	7.6	3	14.3	3	16	502	71.2	8	133.6	10
	由布市	0	0	0.0	13	0.0	13	5	72	6.7	5	12.1	6	33	1,111	103.9	1	186.9	1
南部	佐伯市	5	187	7.1	6	13.0	7	13	189	7.1	4	13.2	4	63	2,057	78.2	6	143.7	6
豊肥	竹田市	1	9	0.9	12	1.4	12	6	62	6.2	7	10.1	11	22	681	68.6	12	110.9	14
	豊後大野市	0	0	0.0	13	0.0	13	12	141	9.4	2	15.5	2	43	1,285	85.8	3	141.4	7
西部	日田市	2	47	2.2	11	4.0	11	5	72	3.3	17	6.1	17	26	1,046	48.9	17	89.2	17
	九重町	0	0	0.0	13	0.0	13	1	18	4.6	14	7.7	16	8	386	98.9	2	165.3	3
	玖珠町	1	49	8.9	3	16.1	3	2	27	4.9	12	8.9	14	8	341	62.4	15	112.5	13
北部	中津市	5	179	7.7	5	14.9	6	9	151	6.5	6	12.6	5	40	1,650	71.1	9	138.0	8
	豊後高田市	0	0	0.0	13	0.0	13	2	18	2.1	18	3.6	18	11	556	66.0	13	113.3	12
	宇佐市	5	159	8.4	4	15.2	5	7	111	5.8	10	10.6	8	41	1,601	85.0	4	153.2	5
県計	63	2,038	5.9	▲	11.3	▲	133	1,894	5.4	▲	10.5	▲	727	25,576	74.1	▲	142.2	▲	

療養病床数、介護保険施設等の施設数、定員数
 (二次医療圏・市町村別、65歳以上人口、75歳以上人口千人あたり)

二次医療圏		65歳以上人口	75歳以上人口
東部医療圏		68,116	36,335
中部医療圏		144,353	69,486
南部医療圏		26,290	14,314
豊肥医療圏		24,893	15,220
西部医療圏		30,707	17,080
北部医療圏		50,421	27,306
県計		344,780	179,741
市町村		65歳以上人口	75歳以上人口
東部	別府市	37,505	19,033
	杵築市	10,358	5,986
	国東市	11,620	6,919
	姫島村	866	484
	日出町	7,767	3,913
中部	大分市	112,192	52,036
	臼杵市	14,430	7,753
	津久見市	7,041	3,755
	由布市	10,690	5,942
南部	佐伯市	26,290	14,314
豊肥	竹田市	9,919	6,137
	豊後大野市	14,974	9,083
西部	日田市	21,347	11,717
	九重町	3,902	2,334
	玖珠町	5,458	3,029
北部	中津市	23,178	11,952
	豊後高田市	8,413	4,907
	宇佐市	18,830	10,447
県計		344,780	179,741

地域ケア会議の目的と内容

➤ 要支援・要介護者を元気に！

医療・リハ・栄養・口腔・
薬剤等に関する専門職種

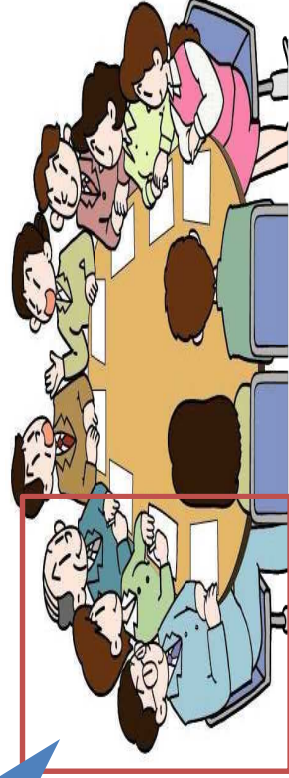
例

要支援



地域ケア会議

市町村
(保険者) 地域包括支援センター



ケアプラン作成者 サービス事業所 等

介護保険の基本理念 = 自立支援

- ◆ **第二条第二項 | 介護保険 |**
前項の保険給付は、要介護状態又は要支援状態の軽減又は悪化の防止に資するように行われるとともに、医療との連携に充分配慮して行われなければならない。
- ◆ **第四条 | 国民の努力及び義務 |**
国民は、自ら要介護状態となることを予防するため、加齢に伴って生ずる心身の変化を自覚して常に健康の保持増進に努めるとともに、要介護状態となった場合においても、進んでリハビリテーションその他の適切な保健医療サービス及び福祉サービスを利用することにより、その有する能力の維持向上に努めるものとする。

- ◆ 多職種協働による協議
- ◆ 自立を阻害する要因の追求
- ◆ 医療との連携
- ◆ インフォーマルサービスの活用
- ◆ 地域課題発見・解決策の検討
- ◆ 参加者のOJT

ケアプランの実行・評価・見直し

高齢者のQOLの向上

地域ケア会議等の実施状況

市町村名	開始時期	H26年度			H27年度		新しい総合事業 の実施状況
		開催頻度	開催回数	検討件数	参加総数	開催頻度	
姫島村	H24以前	月1回	12	4	312	月1回	H29.4～
豊後高田市	H24.2	月2回	17	66	322	月2回	H29.4～
杵築市	H24.2	週1回	46	194	1564	週1回	★ H27.4～
豊後大野市	H24.4	週1回	47	134	959	週1回	H28.4～
臼杵市	H25.4	週1回	45	148	741	週1回	★ H27.4～
津久見市	H25.4	月2回	30	137	609	月2回	☆ H27.10～
別府市	H25.4	週1回	24	144	747	週1回	★ H27.4～
宇佐市	H25.8	年6回	6	24	134	月1回	H28.4～
国東市	H25.9	週1回	36	130	785	週1回	★ H27.4～
九重町	H25.9	月1回	12	37	199	月2回	H28.4～
中津市	H25.10	週1回	42	186	972	週1回	★ H27.4～
日出町	H25.10	月2回	22	106	484	月2回	★ H27.4～
玖珠町	H25.10	月1回	12	34	240	月2回	☆ H28.3～
佐伯市	H25.11	週1回	43	169	1412	週1回	★ H27.4～
竹田市	H25.11	月2回	24	74	488	週1回	★ H27.4～
日田市	H26.1	月2回	22	63	667	月2回	H28.4～
由布市	H26.3	月2回	20	48	276	月2回	☆ H27.10～
大分市	H26.5	年8回	8	20	92	週2回	H29.4～

計 468回 1,718件 11,003名

第6期介護保険料の引上げ額、伸び率ともに低い方から全国1位

- ・第5期から保険料を引き下げた市町村：3市町村（全国：27市町村）
- ・第5期から保険料を据え置いた市町村：6市町村（全国：64市町村）

平成27年5月1日

平成27年度から29年度を期間とする第6期の第1号（65歳以上）介護保険料（基準月額）については、介護基盤サービスの充実等により、前期（第5期：平成24～26年度）と比べ、248円、率にして4.6%引き上げることとなりますが、金額、伸び率ともに、全国で一番低いものとなりました。

これは、県として、市町村と連携しながら、地域の実情に応じて介護サービス基盤の充実に努める一方、①「地域ケア会議」の開催等を通じた自立支援型ケアマネジメントの推進とともに、②介護予防体操の普及など介護予防の取組強化等を図ってきたことから、その効果が現れているものと考えています。

また、理学療法士、作業療法士、歯科衛生士、管理栄養士等、県内の専門職の方々の全面的なご協力・ご支援をいただいたことがこうした結果につながったものであり、引き続き、関係団体等と連携して取組を進めていきたいと考えています。

介護保険料（基準月額、第1号被保険者：65歳以上）

（単位：円、%）

区 分	第5期 (H24～26) ①	第6期 (H27～29) ②	差 引 (②-①)	
			金 額	伸 び 率
全 国	4,972	5,514	542	10.9
大分県	5,351	5,599	248	4.6

「第6期計画期間・平成37年度等における介護保険の第1号保険料及びサービス見込量等について」～平成27年4月28日 厚生労働省公表資料より

※参考1. 第5期から保険料を引き下げ、据え置いた市町村

- (1) 引き下げ：3市町村（豊後高田市、由布市、日出町）
- (2) 据え置き：6市町村（佐伯市、臼杵市、竹田市、杵築市、豊後大野市、国東市）

参考2. 地域ケア会議の開催

H24 : モデル3市（豊後高田市、杵築市、豊後大野市）
→ H26.5～：県内全市町村で実施

参考3. 介護保険認定率（速報値）

（大分県）H24.3：20.1% → H26.12：19.5%（△0.6%）
（全 国）H24.3：17.8% → H26.12：18.4%（+0.6%）

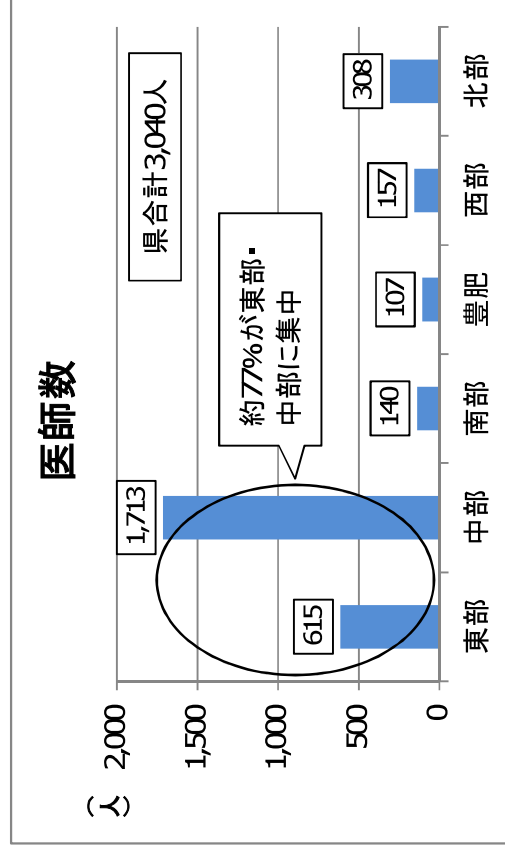
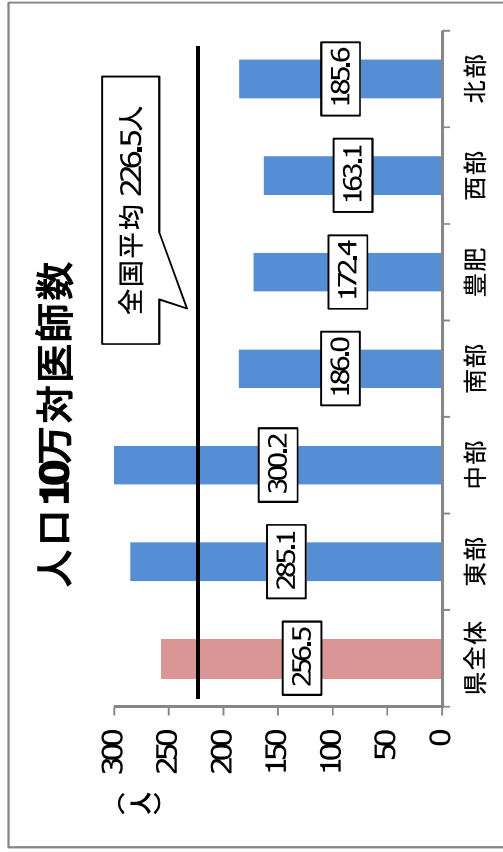
問合せ先：高齢者福祉課
介護保険推進班 阿部、渡邊
電話 506-2692

第6期計画期間における各都道府県平均保険料基準額
(厚生労働省の資料を基に作成)

(低 伸 い 順 率)		第5期保険料基準額 (月額) (前回公表数値) (円)	第6期保険料基準額 (月額) (円)	対5期	
				増加額	伸び率 (%)
	全国1,579保険者	4,972	5,514	542	10.9%
1	大分県	5,351	5,599	248	4.6%
2	新潟県	5,634	5,956	322	5.7%
3	長崎県	5,421	5,770	349	6.4%
4	沖縄県	5,880	6,267	387	6.6%
5	宮崎県	5,142	5,481	339	6.6%
6	山口県	4,978	5,331	353	7.1%
7	広島県	5,411	5,796	385	7.1%
8	埼玉県	4,506	4,835	329	7.3%
9	徳島県	5,282	5,681	399	7.6%
10	高知県	5,021	5,406	385	7.7%
11	富山県	5,513	5,975	462	8.4%
12	香川県	5,195	5,636	441	8.5%
13	佐賀県	5,129	5,570	441	8.6%
14	静岡県	4,714	5,124	410	8.7%
15	愛知県	4,768	5,191	423	8.9%
16	福岡県	5,165	5,632	467	9.0%
17	兵庫県	4,982	5,440	458	9.2%
18	三重県	5,314	5,808	494	9.3%
19	石川県	5,546	6,063	517	9.3%
20	山梨県	4,910	5,371	461	9.4%
21	長野県	4,920	5,399	479	9.7%
22	京都府	5,280	5,812	532	10.1%
23	熊本県	5,138	5,684	546	10.6%
24	島根県	5,343	5,912	569	10.6%
25	北海道	4,631	5,134	503	10.9%
26	東京都	4,992	5,538	546	10.9%
27	愛媛県	5,379	5,999	620	11.5%
28	千葉県	4,423	4,958	535	12.1%
29	福井県	5,266	5,903	637	12.1%
30	青森県	5,491	6,175	684	12.5%
31	宮城県	4,846	5,451	605	12.5%
32	栃木県	4,409	4,988	579	13.1%
33	岡山県	5,224	5,914	690	13.2%
34	鳥取県	5,420	6,144	724	13.4%
35	和歌山県	5,501	6,243	742	13.5%
36	大阪府	5,303	6,025	722	13.6%
37	岐阜県	4,749	5,406	657	13.8%
38	秋田県	5,338	6,078	740	13.9%
39	奈良県	4,592	5,231	639	13.9%
40	神奈川県	4,787	5,465	678	14.2%
41	岩手県	4,851	5,574	723	14.9%
42	茨城県	4,528	5,204	676	14.9%
43	鹿児島県	4,946	5,719	773	15.6%
44	滋賀県	4,796	5,563	767	16.0%
45	群馬県	4,893	5,749	856	17.5%
46	福島県	4,748	5,592	844	17.8%
47	山形県	4,784	5,644	860	18.0%

- ※ 5期の宮城県・福島県については、前回公表(平成24年3月)後に設定した被災保険者の保険料で再計算をしているため、前回公表額と一致しない。
 ※ 端数処理等の関係で、各自治体の公表している額と一致しない場合がある。

大分県内の地域(医療圏)ごとの医師数



医療圏名	市町村名
東部医療圏	別府市、杵築市、国東町、姫島村、日出町
中部医療圏	大分市、臼杵市、津久見市、由布市
南部医療圏	佐伯市
豊肥医療圏	竹田市、豊後大野市
西部医療圏	日田市、九重町、玖珠町
北部医療圏	中津市、宇佐市、豊後高田市

出典：平成24年医師・歯科医師・薬剤師調査(厚生労働省)
 ※医師数は医療施設(病院・診療所)に従事している者の数

大分県医師修学資金貸与制度の概要

区分	特別選抜(AO入試)地域枠 (H21～)	学士編入学地域枠 (H19～26)																																															
①対象者	県内出身者で、大分大学卒業後、県内医療機関での診療する意欲のある医学生																																																
②定員	13名 (H21～5名、H22～10名、H26～13名)	※H19～3名、H26～0名																																															
③貸与対象	入学科料＋授業料＋修学支援金																																																
④貸与金額	10,793,100円／1人当たり																																																
入学料	282,000円／年																																																
授業料	535,800円／年																																																
修学支援金	150,000円／月																																																
⑤貸与期間	最短 6年	最短 4.5年																																															
⑥返還の免除	貸与を受けた期間の2分の3を義務期間とし、県の指定する医療機関において医師として勤務した場合、全額を免除する。																																																
⑦指定医療機関	最短 9年 (6年 × 1.5倍)	最短 7年 (4.5年 × 1.5倍)																																															
	大分大学医学部附属病院、大分県立病院、へき地医療拠点病院、へき地診療所、その他知事が指定する医療機関																																																
⑧勤務パターン	【特別選抜(AO入試)地域枠】																																																
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2">貸与期間</th> <th colspan="7">勤務義務期間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">1</td><td style="text-align: center;">2</td><td style="text-align: center;">3</td><td style="text-align: center;">4</td><td style="text-align: center;">5</td><td style="text-align: center;">6</td><td style="text-align: center;">7</td><td style="text-align: center;">8</td><td style="text-align: center;">9</td> </tr> <tr> <td colspan="2">6年貸与を受けた場合 (大学病院)</td> <td colspan="7">後期研修(3年) (大学病院等)</td> </tr> </tbody> </table>	貸与期間		勤務義務期間							1	2	3	4	5	6	7	8	9	6年貸与を受けた場合 (大学病院)		後期研修(3年) (大学病院等)							<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2">貸与期間</th> <th colspan="4">勤務義務期間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">1</td><td style="text-align: center;">2</td><td style="text-align: center;">3</td><td style="text-align: center;">4</td><td style="text-align: center;">5</td><td style="text-align: center;">6</td><td style="text-align: center;">7</td> </tr> <tr> <td colspan="2">4.5年貸与を受けた場合 (大学病院)</td> <td colspan="4">後期研修(3年) (大学病院等)</td> <td colspan="2">地域勤務(2年) (指定医療機関)</td> </tr> </tbody> </table>	貸与期間		勤務義務期間				1	2	3	4	5	6	7	4.5年貸与を受けた場合 (大学病院)		後期研修(3年) (大学病院等)				地域勤務(2年) (指定医療機関)
貸与期間		勤務義務期間																																															
1	2	3	4	5	6	7	8	9																																									
6年貸与を受けた場合 (大学病院)		後期研修(3年) (大学病院等)																																															
貸与期間		勤務義務期間																																															
1	2	3	4	5	6	7																																											
4.5年貸与を受けた場合 (大学病院)		後期研修(3年) (大学病院等)				地域勤務(2年) (指定医療機関)																																											
	【学士編入学地域枠】																																																

大分大学地域卒業医師の推移(見込み)

(単位:人)

年度	初期研修	後期研修	地域勤務	計
27	9	3	—	12
28	19	7	—	26
29	26	11	1	38
30	27	23	3	53
31	27	31	6	64
32	24	41	9	74
33	25	39	20	84
34	26	39	31	96
35	26	37	41	104
36	21	38	47	106
37	16	39	47	102
38	11	34	45	90
39	6	29	49	84
40	6	19	53	78
41	6	14	51	71
42	6	9	43	58
43	6	9	32	47
44	6	9	22	37
45	6	9	17	32
46	6	9	12	27
47	6	9	12	27

※H27年4月時点での推計値

1 看護職員従事者数の推移 (隔年12月31日現在)

	12年	14年	16年	18年	20年	22年	24年	26年
保健師	487	514	564	539	562	567	642	672
助産師	255	256	263	247	252	253	313	338
看護師	8,106	8,635	9,444	10,014	10,665	11,743	12,720	13,482
准看護師	6,310	6,460	6,355	6,415	6,074	6,182	6,252	6,092
従事者数(実人員)計	15,158	15,865	16,626	17,215	17,553	18,745	19,927	20,584
増加数	1,074	707	761	589	338	1,192	1,182	657
増加率	7.63%	4.66%	4.80%	3.54%	1.96%	6.80%	6.30%	3.30%
需給見通し需要数	15,769	16,463	17,244	17,450	18,263	19,013	19,307	19,716
需給見通し供給数	15,411	15,837	16,971	16,827	17,690	18,842	19,027	19,484
需給見通し期間	H7~12年	H13年~17年		H18年~22年		H23年~27年		
従事者数(常勤換算)計						17,693.2	18,641	18,870
需給見通し需要数						19,013	19,307	19,716
差	0	0	0	0	-1,320	-666	-846	

2 離職率の推移

	大分県		全国	
	うち新人	計	うち新人	計
16年度	11.1	12.1		
17年度	11.6	9.4	12.3	9.3
18年度	10.6	8.2	12.4	9.2
19年度	11.6	8.2	12.6	9.2
20年度	10.6	15.7	11.9	8.9
21年度	10.0	11.3	11.2	8.6
22年度	8.8	5.9	11.0	8.1
23年度	9.7	4.8	10.9	7.5
24年度	10.0	5.1	11.0	7.9
25年度	9.6	5.0	11.0	7.5

3 卒業者の県内就業状況

	平成21年3月卒業		平成22年3月卒業		平成23年3月卒業		平成24年3月卒業		平成25年3月卒業		平成26年3月卒業		平成27年3月卒業	
	県内/就業者数	率(%)	県内/就業者数	率(%)	県内/就業者数	率(%)	県内/就業者数	率(%)	県内/就業者数	率(%)	県内/就業者数	率(%)	県内/就業者数	率(%)
大学(学部)	75/141	53.2	86/164	52.4	61/139	43.9	61/145	42.1	73/137	53.3	76/128	59.4	64/140	45.7
保健師課程(看護大)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2/2	100.0	-	-
助産師課程(看護大・専修)	-	-	14/18	77.8	9/21	42.9	10/20	50.0	11/19	57.9	7/20	35.0	11/23	47.8
3年課程	61/108	56.5	66/101	65.4	57/116	49.1	66/110	60.0	78/124	62.9	73/108	67.6	66/108	61.1
2年課程	156/209	74.6	164/199	82.4	176/227	77.5	150/190	78.9	148/182	81.3	153/181	84.5	166/192	86.5
高校5年一貫校	79/160	49.4	80/159	50.3	64/166	38.6	103/182	56.8	87/190	45.8	83/173	48.0	73/181	40.3
准看護師	141/152	92.8	136/149	91.3	156/171	91.2	163/182	89.6	174/187	93.1	109/120	90.8	111/122	91.0
総数	512/770	66.5	546/790	69.1	523/840	62.3	553/829	66.7	571/839	68.1	501/732	68.4	491/766	64.1
(再)大分大	37/63	58.7	43/72	59.7	27/55	49.1	40/66	60.6	40/60	66.7	38/55	69.1	34/65	52.3
(再)看護大(学部)	38/78	48.7	43/92	46.7	34/84	40.5	22/79	27.8	33/77	42.9	38/73	52.1	30/75	40.0
(再)看護大(保)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2/2	100.0	-	-
(再)看護大(助)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0/2	0.0	1/3	33.3

※助産師課程については、平成26年3月卒業から看護大を追加

(入学卒業状況調査)

医療政策課
平成27年8月作成

人口10万対看護職員就業者数(人)

26年末	保健師	助産師	看護師	准看護師
大分県	57.4	28.9	1151.3	520.2
全国順位	38.1	26.7	855.2	267.7
全国順位	6位	18位	8位	7位

24年末	保健師	助産師	看護師	准看護師
大分県	54.2	26.4	1073.4	527.6
全国順位	37.1	25.0	796.6	280.6
全国順位	6位	22位	7位	7位

22年末	保健師	助産師	看護師	准看護師
大分県	47.4	21.1	981.5	516.7
全国順位	35.1	23.2	744.6	286.3
全国順位	14位(仮)	36位(仮)	9位	8位

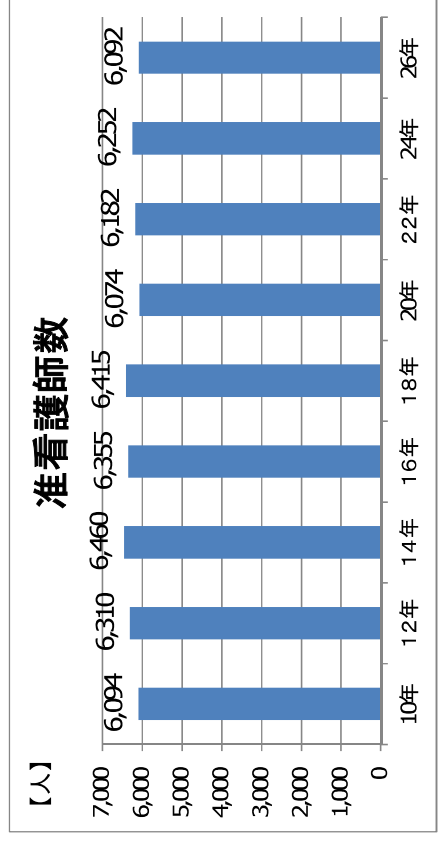
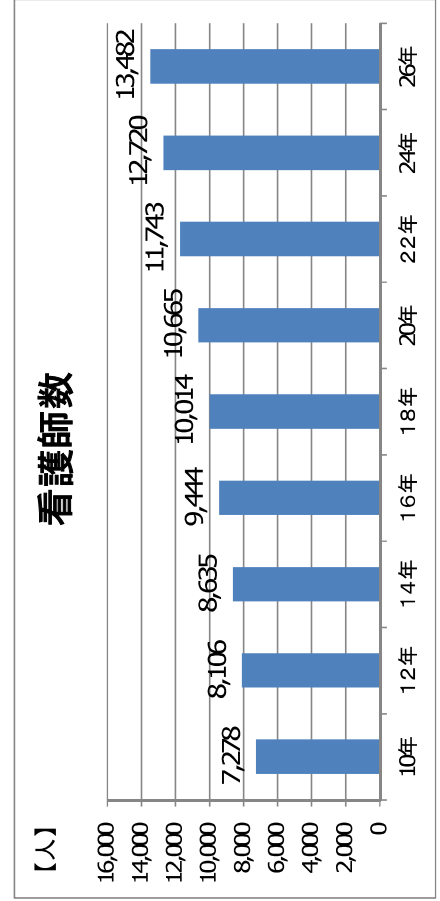
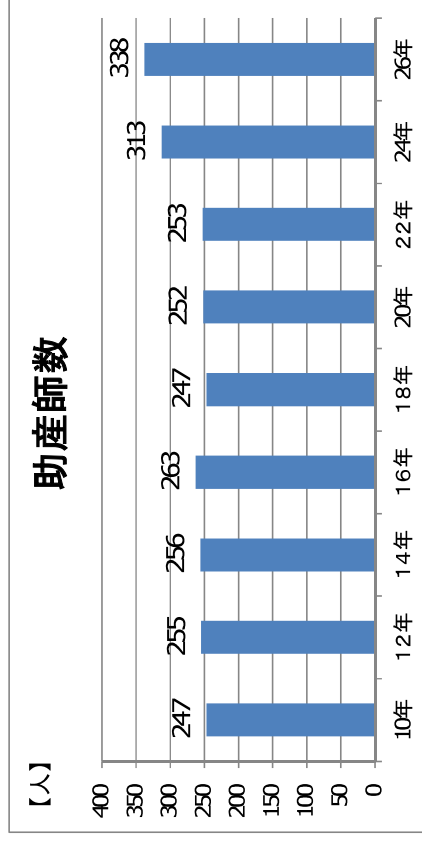
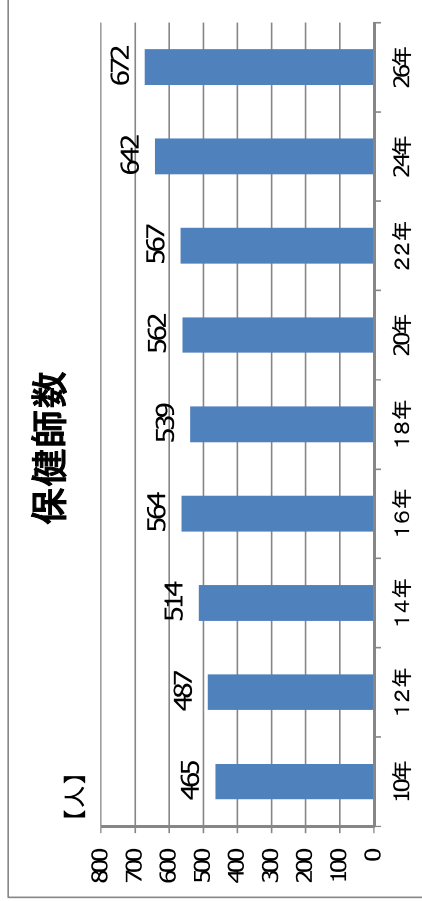
(厚生労働省:衛生行政報告例)
(需給見通し)

(日本看護協会:病院における看護職員需給状況調査)

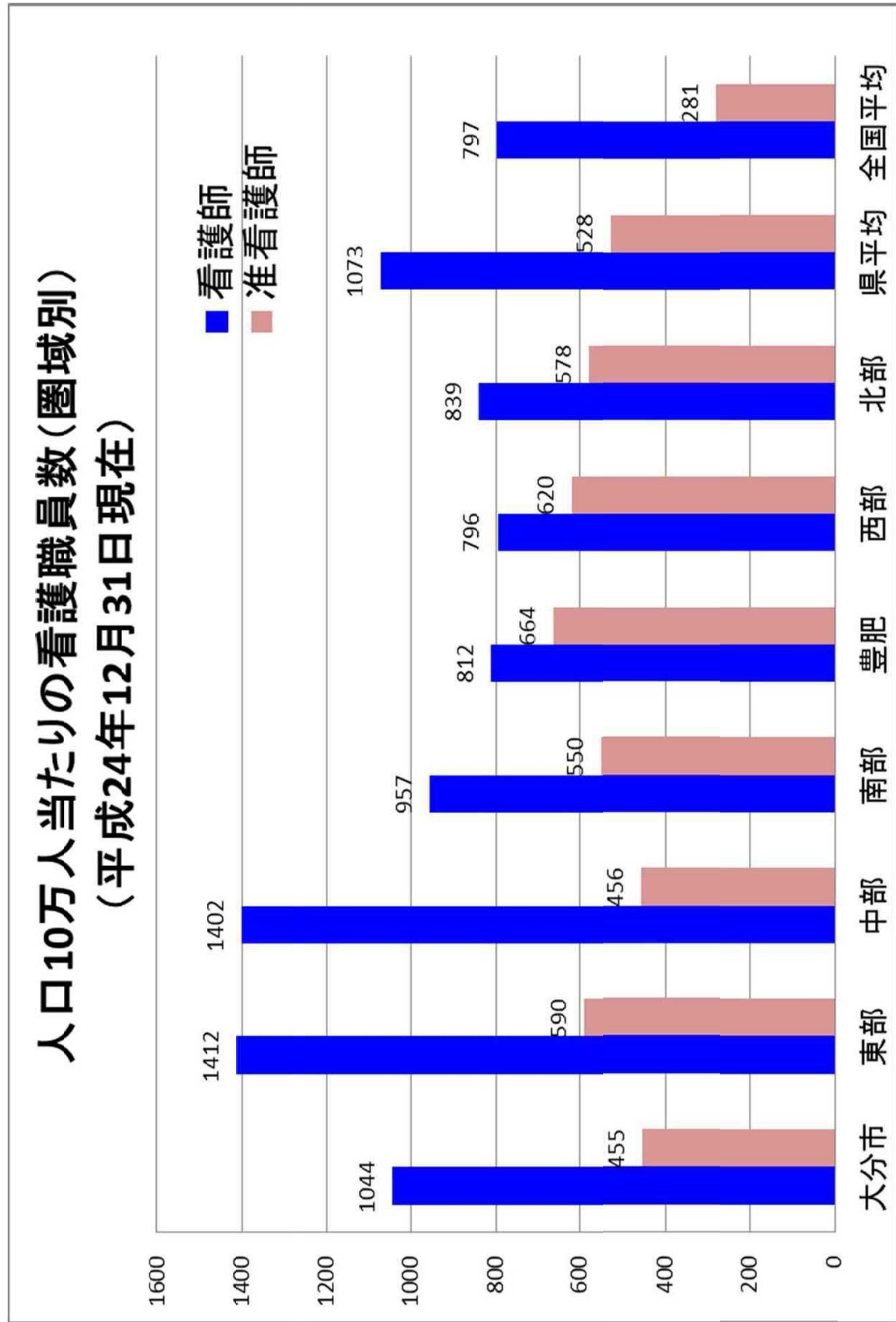
看護職員の従事者数の推移(大分県)

	10年	12年	14年	16年	18年	20年	22年	24年	26年
保健師数	465	487	514	564	539	562	567	642	672
助産師数	247	255	256	263	247	252	253	313	338
看護師数	7,278	8,106	8,635	9,444	10,014	10,665	11,743	12,720	13,482
准看護師数	6,094	6,310	6,460	6,355	6,415	6,074	6,182	6,252	6,092
合計	14,084	15,158	15,865	16,626	17,215	17,553	18,745	19,927	20,584
増加数	855	1,074	707	761	589	338	1,192	1,182	657
増加率	6.46%	7.63%	4.66%	4.80%	3.54%	1.96%	6.80%	6.30%	3.30%

出展：厚生労働省衛生行政報告例
(看護職員等業務従事者届)



地域別看護職員数(人口10万対)



衛生行政報告例：看護職員等業務従事者届

看護職員の就業場所：平成26年末20,584名内訳

数値：実人数

上段：H26年末

下段：H24年末

【保健】

保健所・市町村
513人(2.5%)
 510人(2.6%)

【医療】

病院・診療所
16,560人(80.5%)
 16,282人(81.7%)

【福祉】

介護保健施設等
1,942人(9.4%)
 1,836人(9.2%)

社会福祉施設
471人(2.3%)
 384人(1.9%)

訪問看護ステーション
389人(1.9%)
 327人(1.6%)

学校・事業所その他
709人(3.4%)
 588人(3.0%)

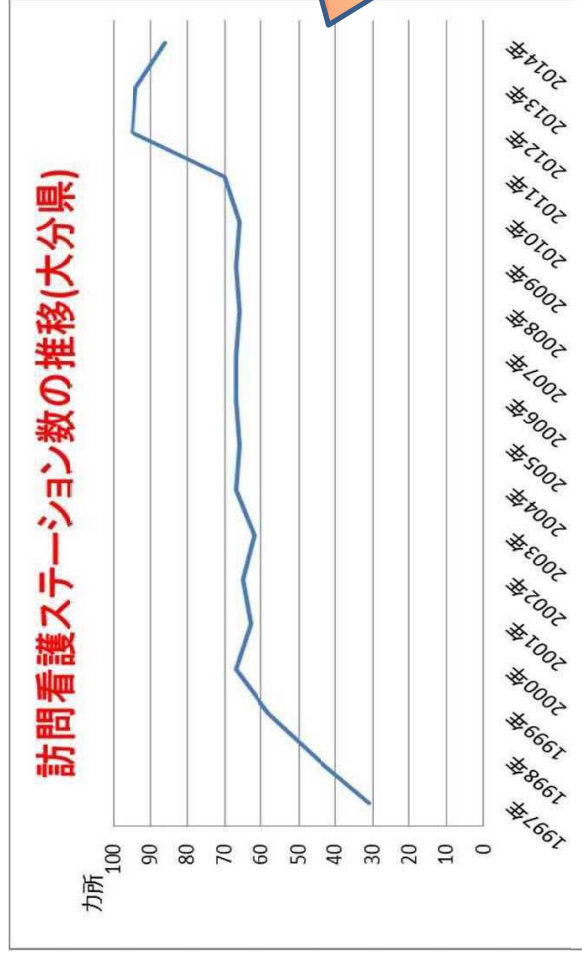
看護師養成所
 特別支援学校
 健診機関
 助産所
 他

離職率（H20年県調査）

病院：11.2%
 有床診療所：13.5%
 介護老人福祉施設：18.9%
 介護老人保健施設：13.9%
 訪問看護ステーション：16.0%
 看護師等養成所：15.9%

資料：衛生行政報告例
 平成26年12月31日現在

訪問看護ステーション事業所数と規模の現状(大分県)



＜訪問看護ステーション数の推移＞
(大分県)

- 2005年 66カ所
- 2014年 86カ所



＜看護職員数の規模＞

- 2010年 187人
- 2014年 389人

大分県保健師助産師看護師等業務従事者届より

看護職員の確保対策～ライフステージに応じた対策～

平成27年度

小学生
中学生
高校生

【看護学生の確保】

- ・小学生、中学生を対象とした「生命と看護の授業」
- ・中学生、高校生を対象とした「未来の看護職員のための進学相談会」
- ・高校生を対象とした「一日看護師ふれあい体験」等の看護の心普及啓発事業



看護学校
入学

【看護教育の充実強化】

- ・看護師等養成所運営費補助
- ・実習指導者講習会 ・専任教員継続研修会 ・看護師等養成所教務主任会議

卒業

【看護学校卒業生の県内就業促進】

- ・看護師等修学資金貸与 ・養成所に対する県内就業促進の指導
- ・就職ガイダンスでの相談

新任期

地域別

勤務環境

生涯教育

就職

【就業後の定着化支援(離職防止対策)】

- ・新人ナースサポート会議 ・新人看護職員研修 ・新人看護職員責任者研修会
- ・新人看護職員医療機関受入れ研修
- ・地域における看護ネットワーク推進事業(地区別確保定着化の推進)
- ・看護師勤務環境改善施設整備補助・看護師宿舍施設整備補助・病院内保育所運営費補助
- ・診療所看護職員研修会 ・介護施設看護職員研修会 ・准看護師研修会
- ・「災害と看護」研修事業 ・看護管理者育成事業
- ・専門看護師、認定看護師養成事業 ・病院看護管理者研修会
- ・訪問看護養成事業 ・訪問看護ステーション等看護職員定着促進事業
- ・訪問看護ステーション管理者育成研修 ・訪問看護専門分野講習会 ・訪問看護基礎研修

出産・育児
介護等で離職

【離職後の再就業促進】

- ・潜在看護師の就労支援のための看護力再開発講習会 ・ナースバンク事業
- ・潜在看護師就業促進事業 ・ナースセンター機能強化事業



病床機能報告による医療従事者の状況（平成26年度）

（単位：人）

所在地	No.	医療機関名	医師		看護師		准看護師		看護補助者		助産師		理学療法士		作業療法士		言語聴覚士		薬剤師		臨床工学士		
			合計	非常勤	合計	非常勤	合計	非常勤	合計	非常勤	合計	非常勤	合計	非常勤	合計	非常勤	合計	非常勤	合計	非常勤	合計	非常勤	
別府市	23	トヨタナ方医院	1		2	1	1		2	2													
	24	橋本産婦人科医院	2		3	3																	
	25	馬場医院	2	1	3.5	3	0.5		4	3	1												
	26	原嶋内科医院	1.1	1.5	1	0.5																	
	27	平島医院																					
	28	ヒロセ内科医院	1	1	6.9	6	0.9		0.5														
	29	福田内科医院	2	0.5	3	3																	
	30	松岡産婦人科医院	2	3	2	2			1	1		2.5	2	0.5							1	1	
	31	松本小児科医院	4	10	10																		
	32	石田眼科	2	8	5	3	2.5	2	0.5	3	3												
	33	宮崎クリニック																					
	34	宮崎内科医院	2	2	5	5			0.5														
	35	森澤医院	2	1.2	1	0.2	6.1	6	0.1														
	36	吉賀循環器内科	2	1.5	1	0.5	4.5	4	0.5														
	37	渡邊医院	2		7	7			1.4														
	38	金田耳鼻咽喉科医院	1	2	2	2	4	2	2	1	1												
	39	こまつ循環器内科クリニック	1	7	7		2	2															
	40	日出中央医院	1.5	2.8	2	0.8	3.8	3	0.8														6
	41	八重眼科医院	1	2	2					3	3												
	42	衛藤外科	1.2	4	4		2	2		3	3			1	1								
	43	きつき眼科	1	2	2		3.2	3	0.2														
	44	くりやまレディースクリニック	1	2.3	1	1.3	7.9	6	1.9	1.2	1.2	1.4	1	0.4									
	45	みやうちファミリークリニック	2	1.9	1	0.9	6.6	5	1.6			3.4	3	0.4									
46	あさひクリニック	1	2	2		6	6		1	1													
47	国東中央クリニック	1	3.5	3	0.5	9	8	1	0.5	0.5				3	3								
48	定村内科医院	1	1	1		5.7	5	0.7															
49	末綱クリニック	2	3	3		5	5		1	1			0.4					0.1					
50	福永胃腸科外科医院	4	5.5	5	0.5	5	5																
51	堀田医院	1.3	2	1	1	6	6							1	1								
52	姫島村国民健康保険診療所	3	11	11		2	2		1	1			2	2									
			75	134	116	18	242	194	48	60	42	18	26	17	9	11	10	1	1	3	3	0	
			494	2,216	2,053	163	603	491	112	676	515	161	45	36	9	236	221	15	127	122	5	59	
			366.5	628	610	18				25.8	3	22.8	23	23	9	9	6	6	7	7	36	36	
由布市	1	大分大学医学部附属病院	150	490.8	471	19.8				32.3		32.3	32	32	6	6	1	1	1	21.7	17	4.7	
2	大分県立病院	33.8	222.7	218	4.7	2.3		2.3	10.7	10.7		4	4	4	4				10	10	3		
3	大分医療センター	76.6	309.1	290	19.1				35.3	34	1.3	8	8	5	5	1	1	1	13	13	7		
4	大分赤十字病院	85	352.5	351	1.5	27.4	27	0.4	49.4	49	0.4	27.5	27	9	9	5	5	3	22	22	12		
5	アルメイダ病院	8.2	62.2	56	6.2	4.5	4	0.5	13.5	13	0.5			12	12	7	7	2	3	3	1		
6	明野中央病院	8.4	26	26		27	25	2	12.5	12	0.5												
7	有田胃腸病院	91	54.4	51	3.4	7	7		28	28		34	34	20	20				4.2	3	1.2		
8	井野辺病院	6.1	20	20		8.6	8	0.6	14.6	14	0.6	2	2	1	1				2	2			
9	今村病院	6.7	30.875	30	0.875	4	4		4.4	4	0.4	5.4	5	0.4	1	1			2	2			
10	えとう内科病院	7.3	31.85	36	1.85	16.6	16	0.6	15	15		2	2	1	1				2	2			
11	オアシス第一病院	4.5	13	13		12	12		11.8	11	0.8	1	1	1	1				1.7	1	0.7		
12	オアシス第二病院	45.6	189.7	181	8.7	23.8	23	0.8	39	39		17	17	11	11				10	10	15		
13	大分圏病院	13.8	70.4	70	0.4	6	6		12.2	11	1.2	9	9	6	6				7	7	9		
14	大分記念病院	7	24.7	20	4.7	20.3	17	3.3	17.5	16	1.5	3	3						2	2			
15	大分共立病院	4.9	25	25		5.5	5	0.5	6.87	6	0.87	3.2	2	1.2					3.6	2	1.6		
16	大分協和病院	13	87.7	82	5.7	11.6	10	1.6	14	14		18	18	15.3	15	0.3			6.8	6	0.8		
17	大分健生病院	14	85.7	85	0.7	17.6	6	11.6	4	0.9		4	4	8	8				1	1			
18	大分子ども病院	24	119.45	106	13.45	32.31	25	7.31	28.58	25	3.58	19	19						11	11			
19	大分三愛メディカルセンター	10.9	63.85	58	5.85	11	11		9	8	1												
20	大分循環器病院	10.5	63.1	62	1.1	4	4		8	8		9	9						1	1			
21	大分整形外科病院																						

病床機能報告による医療従事者の状況（平成26年度）

（単位：人）

所在地	No.	医療機関名	医師		看護師		准看護師		看護補助者		助産師		理学療法士		作業療法士		言語聴覚士		薬剤師		臨床工学士					
			合計	非常勤	合計	非常勤	合計	非常勤	合計	非常勤	合計	非常勤	合計	非常勤	合計	非常勤	合計	非常勤	合計	非常勤	合計	非常勤	合計	非常勤		
大分市	22	大分東部病院	16	47	43	4	11	9	2	18.7	18	0.7	3.1	10	10	9	9	7	7	2	2					
	23	大分中村病院	32.3	200.7	195	5.7	37.7	27	10.7	48.8	48	0.8		31	31	20	20	5	5	9	9	11	11			
	24	大分泌尿器科病院	3	14	14		7.4	5	2.4	1	1															
	25	大分ゆふいみ病院	4.8	22	22					1	1										1	1				
	26	大川産婦人科病院	3	22	21	1	3	3		6.9	1	5.9	0.5							3	2	1				
	27	織部病院	6.3	15	15		6.3	6	0.3	3	3									1	1					
	28	河野脳神経外科病院	5.6	35.6	34	1.6	3	3		7	7			6.5	6	0.5	4	0.5	4	0.5	1	1				
	29	小浜田消化器病院	3.8	13.5	13	0.5	17.5	17	0.5	4.5	4	0.5									1	1				
	30	佐賀院	7.2	34.2	32	2.2	17.9	15	2.9	14.7	13	1.7		7	7	6	6	4	4	1.2	1	0.2	6	6		
	31	仁医会病院	7	27	25	2	24	17	7	14.5	10	4.5		3	3	1	1			1	1					
	32	諏訪の杜病院	6.2	19.1	18	1.1	14.2	12	2.2	20.9	15	5.9		21	21	16	16	10	10	1	1					
	33	整形外科八木病院																								
	34	腫瘍病院	4.2	35.8	35	0.8	17.8	15	2.8	12.4	8	4.4									1	1				
	35	さいかく病院	7.8	19.5	16	3.5	10.5	10	0.5	5	5			9	9	10.9	10	0.9								
	36	塚川第一病院	5.4	38.31	37	1.31	8.6	8	0.6	18.3	18	0.3		5	5					2	2					
	37	天心堂へつぎ病院	19.4	141.6	133	8.6	11	11		20	16	4		70	70	24	24	16	16	9.2	9	0.2	11	11		
	38	永豊記念病院	3.3	15.1	14	1.1	6.5	6	0.5	4	4			7	7	1	1			1	1					
	39	永豊脳神経外科病院	13.1	67	67		21.5	21	0.5	34.5	34	0.5		16	16	14	14	11	11	4	4					
	40	藤島病院	3.5	10.5	10	0.5	4	4		0.6	0.6									1.5	1	0.5				
	41	明和記念病院	6.4	20.8	19	1.8	23.3	26	2.3	45.4	43	2.4		15	14	1	1	12.5	12	0.5	1	1				
	42	山口病院	2	7.8	6	1.8	6.7	6	0.7	13	13															
	43	コスモス病院	12.6	112.8	98	14.8	16.3	15	1.3	33.6	27	6.6		18	18	6.7	6	0.7	3	3	7.4	7	0.4			
	44	城下町病院	3	10	10		21	21		15.5	14	1.5								1	1					
	45	白川病院	6.4	27.8	25	2.8	26.5	23	3.3	21.3	20	1.3		1	1	2	2			2	2					
	46	恵の聖母の姿	4.9	71	67	4	11	11		54	52	2		2	2	3	3			3	3					
	47	津久井中央病院	13	73.6	71	2.6	18.4	16	2.4	18.1	16	2.1		8	8	3	3			1	1					
	48	津布院病院	15.8	159.75	152	7.75	1	1		55	39	16		58	58	21	21			5	5					
	49	岩男病院	4.3	13.8	13	0.8	10.8	10	0.8	10.1	8	2.1		1	1					1	1					
	50	上野病院	6.6	16.8	15	1.8	11.6	8	3.6	11	11			6	6					1.2	1	0.2	2	2		
			1,113	4,269	4,081	188	615	536	79	906	760	146	4	462	456	6	239	236	3	125	122	3	212	200	12	150
			中野医療圏（病院）																							
	大分市	1	安達産婦人科	1	2.6	2	0.6	2.3	2	0.3	0.8	0.8														
		2	阿部眼科医	1				2	2																	
		3	阿部循環器クリニック	1	4	3	1	6	5	1	1	1														
		4	アンジェリッククリニック																							
		5	安東循環器内科クリニック	1	3	2	1	8	8		2.5	2.5														
		6	石松内科																							
		7	市ヶ谷整形外科	1	3	3		4	4																	
		8	伊東レディースクリニック	1	1	1		4.5	3	1.5	0.5	0.5														
		9	井野辺府内クリニック	2.2	4	4		5	4	1	1	1			1	1	1	1								
		10	うえお乳癌外科	4	11.3	9	2.3	6	6		5.1	1	4.1													
		11	植田泌尿器科医	1																						
		12	上野病院	1				2	1	1	10	10														
		13	上野内科医	1				2	1	1																
		14	うちのう整形外科	4	14	14		5	5		4	4														
		15	宇都宮整形外科医	2	2.4	2	0.4	3.6	3	0.6	2	2			3	3										
		16	宇野内科医	3	5	2	3	5.5	5	0.5																
		17	えもと内科クリニック	1				3	3																	
		18	オアシス外科乳癌外科	1.4	1.6	1	0.6	7	7		1	1														
		19	大分消化器内科	2	6	6		4	4		2	2														
20		大樽医	1	1.3	1.3		7.6	7	0.6	1.5	1.5															
21		おおつかりニッ																								
22		大塚眼科医	3	4	4		6	6						8.9	8	0.9										
23		大場整形外科	7	5	5		4.7	3	1.7	2	2															

病床機能報告による医療従事者の状況（平成26年度）

（単位：人）

所在地	No.	医療機関名	医師		看護師		准看護師		看護補助者		助産師		理学療法士		作業療法士		言語聴覚士		薬剤師		臨床工学士	
			合計	非常勤	合計	非常勤	合計	非常勤	合計	非常勤	合計	非常勤	合計	非常勤	合計	非常勤	合計	非常勤	合計	非常勤	合計	非常勤
	24	おかた眼科	1	2	2	2	2	2	6.5	5	1.5											
	25	岡本胃腸科内科	2	5.9	3	2.9	9.9	5	4.9	2	1											
	26	織部消化器科	2.8	3	3	4	6	4	2	1	1											
	27	かく医院	1	4	2	2			2													
	28	蔭山眼科	2	3	3																	
	29	かさぎ泌尿器科医院	1	6.5	6	0.5	7.2	6	1.2	2	2											
	30	梶本医院	1	4	4		3	3													0.3	8
	31	かやしま内科	6	2.9	2	0.9																
	32	辛島内科クリニック																				
	33	辛島内科・消化器内科	1	6.9	5	1.9	4.5	3	1.5	8	4	4	2	2								
	34	岸眼科	1	2	2																	
	35	本村医院	2	0.5	1	0.5	1	1														
	36	草津胃腸科・外科	1	1	1		6	6	3													
	37	工藤医院																				
	38	国東循環器クリニック	3	3.5	3	0.5	8.5	8	0.5	1												
	39	国東整形外科医院	2	1.3		1.3	9.5	9	0.5	1	1											
	40	くまがい産婦人科																				
	41	玄同内科医院	3.3	2.8	2	0.8	4.4	3	1.4	2	2	18	9	9								
	42	河野泌尿器科医院	1	1.5	1	0.5																
	43	心葉消化器外科	1	12	6	6	16	8	8	2	1											
	44	近藤整形外科	1.1	2	2		5.9	5	0.9	0.5												
	45	在志支様クリニックすばる																				
	46	さかき眼科	2	5.5	4	1.5	2	2														
	47	坂ノ市クリニック	2	10	8	2	6	6	1	1												
	48	佐々木医院	2	2	2		3	3														
	49	貞永産婦人科医院	1	1	1		3	3	1	1												
	50	佐藤クリニック	1	3	3		6	4	2													
	51	佐藤耳鼻咽喉科	1																			
	52	シーサイドクリニックオオイタ	1	4	4		4	4	2.5	2	0.5											
	53	椎迫泌尿器科クリニック																				
	54	嶋田循環器科内科	2	4	4		11	11	4.5	4	0.5											
	55	正内科医院	1				7	6	1													
	56	セントラル産婦人科	3	9	9		7	7	1													
	57	仙波外科																				
	58	曽根産婦人科医院	4	7	7		5	5	2	2												
	59	園田医院	1				1	1	1	1												
	60	ソフィアクリニック	2	3.3	1	2.3	7.5	6	1.5	3.3	3	3.8	2	1.8								
	61	たかはし泌尿器科医院	2	9	8		5	5														
	62	多田胃腸科医院	1.2	4.5	4	0.5	10.5	8	2.5	5	5											
	63	谷川泌尿器科医院	1	2	2		6	6														
	64	たねだ内科	1	4.3	3	1.3	8.5	5	3.5	1.3	1.3											
	65	田村眼科医院	2	2	2		2	2														
	66	千代田レディースクリニック	1																			
	67	利根内科医院	2	1	1		5	4	1	1												
	68	葉の花クリニック	1	1	1		8.3	5	3.3													
	69	いのみや内科	1	2	1		6.5	6	0.5	3.5	3											
	70	野田眼科	2	3	3		6	6	14	13	1											
	71	のつはる診療所	1.1	6	6		6.5	6	0.5	6	6											
	72	ハートクリニック	2	16	16		7	7	3	3												
	73	博愛診療所	2.3	9	9		3	3	4.4	3	1.4											
	74	東九州泌尿器科	1	1.8		1.8	2.3	2	0.3													
	75	日野医院	2				8.8	8	0.8	0.2												
	76	平岡外科医院	1.1	6	3	3	8	7	1	5	3											

大分市

病床機能報告による医療従事者の状況（平成26年度）

（単位：人）

所在地	No.	医療機関名	医師		看護師		准看護師		看護補助者		助産師		理学療法士		作業療法士		言語聴覚士		薬剤師		臨床工学士			
			合計	非常勤	合計	非常勤	合計	非常勤	合計	非常勤	合計	非常勤	合計	非常勤	合計	非常勤	合計	非常勤	合計	非常勤	合計	非常勤		
大分市	77	福光医院	2	1	4	3	1																	
	78	藤本整形外科医院	12	2	5	5			3	3														
	79	ヘレネ婦人クリニック	1		3	2	1																	
	80	朋友診療所	1	1	5	5	0.9		1.3															
	81	星野整形外科	1		8	8																		
	82	堀耳鼻咽喉科クリニック	1	16.8	9	7.8	1.8																	
	83	堀永産婦人科医院	1	1	4.5	4	0.5		1	1														
	84	松岡メテイルクリニック	2.7	5.4	4	1.4	3.9	3	0.9	3	3			3	3	1	1					3.5	3	0.5
	85	松坂さとう消化器内科	2	2.5	2	0.5	3	3		1	1													
	86	松橋医院	2	12.9	11	1.9	4	3	1	5.6	3	2.6												
	87	松山医院大分腎臓内科	1	6	6		6	6		1	1										1	1		
	88	丸井整形外科医院	1	3	2		8	8		2	2													
	89	みそぐち産婦人科医院	1	2	3	2	0.7	0.7																
	90	みやむらレディースクリニック	1	1.8	1	0.8	0.8	0.8																
	91	宮本クリニック	1	2	2		6.5	6	0.5	1	1													
	92	三好医院	1	3	2	1	13	8	5	10	7	3												
	93	三好内科循環器科医院	1	2	2																			
	94	むねむら大腸肛門クリニック	2				5.8	5	0.8															
95	安武クリニック	2																						
96	矢野内科医院	1	4	3	1																			
97	山下循環器科内科	1																						
98	吉田胃腸科・外科・肛門科	1	2.5	2	0.5	6.5	6	0.5	8.3	4	4.3													
99	米満内科医院	1	1.75	1	0.75	5.8	5	0.8	3	3														
100	渡辺クリニック	2	4	4		5	5		2	2														
101	渡辺内科医院	2.3	5	5		4	4		1	1														
102	川崎内科	1.3	9.3	7	2.3	18	1	0.8	2.5	2	0.5													
103	ごとう医院	1	3.5	2	1.5	14	7	7	6	3	3													
104	佐藤医院	1	6.7	5	1.7	1	1		0.5	0.5														
105	さとう消化器・大腸肛門クリニック	1	10.5	5	5.5	8	4	4	6	3	3													
106	庄内診療所	2	2	1	1	9.5	7	2.5	6.5	5	1.5													
107	何松内科循環器科	3	3.6	3	0.6	4.8	4	0.8	1.3	1.3														
108	宮崎医院	2																						
109	市兵医院	2																						
110	岩田医院	2																						
111	岩田リハビリクリニック	1	2	2		5	5																	
112	うきまてイカルクリニック	2	2	2		4.2	3	1.2	7.2	6	1.2													
113	後藤眼科医院	1	2	2		0.6	0.6																	
114	さら産婦人科医院	1.5	9	9		18	18		6	6														
115	野津第一内科医院	1.2	3	2	1	4	4		6	5	1													
116	藤整形外科	1	9.6	2	7.6	4.6	2	2.6	1.1	1.1														
117	池邊整形外科	1	2.5	2	0.5	1.5	1	0.5																
118	大石医院	172	394	313	81	527	442	85	213	132	81	15	44	37	7	5	5	0	5	5	0	34	31	
中部医療圏（診療所）			1,285	4,663	4,394	2,69	1,142	978	1,64	1,119	892	227	190	171	19	507	493	14	244	241	3	127	124	3
中部医療圏 合計			301	1,541	1,46	81	2	2	20	20														
津久見市	1	南海医療センター	10	84.8	80	4.8	33.2	30	3.2	45.4	39	6.4												
	2	佐伯中央病院	8.5	20.8	20	0.8	29.6	28	1.6	16.4	14	2.4												
	3	豊根病院	5	9.8	9	0.8	24.4	21	3.4	3.1	1	2.1												
	4	渡町台病院	16.1	144.7	128	16.7	22.1	18	4.1	51.7	46	5.7												
	5	長門記念病院	25	118.3	110	8.3	47.3	38	9.3	43.2	35	8.2												
	6	西田病院	4	8.9	8	0.9	14.1	12	2.1	5.9	3	2.9												
	7	御手洗病院	99	541	501	40	173	149	24	186	158	28	5	4	1	56	56		33	32	1	13	13	
南部医療圏（病院）																								
合計																								

病床機能報告による医療従事者の状況（平成26年度）

（単位：人）

所在地	No.	医療機関名	医師		看護師		准看護師		看護補助者		助産師		理学療法士		作業療法士		言語聴覚士		薬剤師		臨床工学士			
			合計	非常勤	合計	非常勤	合計	非常勤	合計	非常勤	合計	非常勤	合計	非常勤	合計	非常勤	合計	非常勤	合計	非常勤	合計	非常勤		
佐伯市	1	池田医院	1	1			4	4																
	2	石田外科医院			3	3																		
	3	岡本医院	1	2	2	2	1	1	4	4														
	4	からし井医院	1	3.5	3	0.5	1.5	1	0.5															
	5	近藤医院	1	1	3	3																		
	6	塩月内科小児科医院	2	9	7	2	6	6	2	2														
	7	神宮医院	1	2	1	2	2	2																
	8	すかのワイメンズクリニック	1	3.5	3	0.5			2	2														
	9	中浦循環器クリニック	1				3	2	1															
	10	東内科医院	2				4	3	1															
	11	ミタライクリニック	1				3	3		1	1													
	12	やつか眼科医院	2	4	4																			
豊後大野市	15	南部医療圏（診療所）	19	25	21	4	33	29	4	9	5	4												
	114	南部医療圏 合計	114	566	522	44	205	178	27	195	163	32	11	9	2	56	56	8	7	1	4	3	1	
	1	豊後大野市民病院	25.6	100.5	100	0.5	13	13		42	42		5.5	5	0.5	8	7	1	4	4	2	2	0.1	
	2	竹田医師会病院	7.5	34.5	34	0.5	29	27	2	26	22	4				4	4				1	1		
	3	大久保病院	10.2	41	37	4	21.5	20	1.5	30.5	27	3.5			11.7	11	0.7				2	2		
	4	婦塚みえ病院	9.1	42.1	38	4.1	21.5	18	3.5	10.8	8	2.8			21	21					6	6		
豊後大野市	5	福島病院	9.3	38.3	36	2.3	25	21	4	15.8	12	3.8			6	6					2	2		
	6	みえ記念病院	4.5	16.09	15	1.09	9	9		5	4	1			2	2					1	1		
	66	豊肥医療圏（病院）	66	272	260	12	119	108	11	130	115	15	6	5	1	53	51	2	9	9	0	12	12	
	1	おぐり胃腸・肛門科					7.4	6	1.4															
	2	ごとう消化器科内科クリニック	2	2	2		12	12				2	2											
	3	佐藤産婦人科医院	1	1.5	1	0.5	2.5	2	0.5						3	3								
豊後大野市	5	壬生医院					6.4	6	0.4															
	6	ふじま内科	2	1	1																			
	7	松谷診療所	1	2	2		6	6																
	8	伊藤医院	1.2	3	3		5.3	5	0.3	2.4	2.4													
	9	久住加藤医院	2				8	8																
	10	志賀内科	3	3	3		7	7		3	3													
	11	養医院	1.2	1	1		6	6																
	12	文分記念病院竹田クリニック	1	33	32	1	4	4		6	6													
	13	道全内科	2.3	2	2		6.5	6	0.5	1.8	1.8													
	14	古島眼科	1.3				8	8																
日田市	19	豊肥医療圏（診療所）	19	49	47	2	79	76	3	16	12	4	2	2	4	4								
	85	豊肥医療圏 合計	85	321	307	14	198	184	14	146	127	19	8	7	1	57	55	2	10	10	0	12	12	
	1	済生会日田病院	35.2	187.2	180	7.2				23	23				16	16					9	9		
	2	秋吉病院	5.5	16.4	14	2.4	17.9	13	4.9	8.72	6	2.72			3	3					1	1		
	3	天瀬温泉病院	4	4.5	4	0.5	11.8	10	1.8	7.5	7	0.5			3	3					1	1		
	4	一ノ宮脳神経外科病院	12.7	46	46		5	5		7	7				3	3					1	1		
	5	岩尾病院	4.8	24.3	23	1.3	8.5	8	0.5	6	6				8	8					5.5	5	0.5	
	6	岩尾整形外科病院	6.9	27	27		10.3	9	1.3	7	7				8	8					2	2		
	7	大河原病院	3	8	8		13	13		7	7										1	1		
	8	桂林病院	3	9.2	6	3.2	10.3	8	2.3	13.9	13	0.9			9	9					1	1		
	9	五反田胃腸科外科病院	2.2	16	16		10	10		7.4	7	0.4			1	1					1	1		
	10	城台病院	2.2	3	3		6	6		9	9													
	11	聖陵岩里病院	5.3	35.4	33	2.4	6.9	6	0.9	8.9	8	0.9			7	7					2	2		
	12	原病院	3.4	13	13		11	11		10	10											1	1	
	13	日田中央病院	10.6	54.8	53	1.8	20	20		11	11				2.8	2	0.8				3	3		
14	日田リハビリテーション病院	3.8	22	18	4	3	3		6.3	6	0.3			2.74	2.7	0.4				4	4			
15	若宮病院	3	9	7	2	10.6	9	1.6	12.3	8	4.3			5	5					1	1			

病床機能報告による医療従事者の状況（平成26年度）

（単位：人）

所在地	No.	医療機関名	医師		看護師		准看護師		看護補助者		助産師		理学療法士		作業療法士		言語聴覚士		薬剤師		臨床工学士		
			合計	非常勤	合計	非常勤	合計	非常勤	合計	非常勤	合計	非常勤	合計	非常勤	合計	非常勤	合計	非常勤	合計	非常勤	合計	非常勤	
玖珠町	16	玖珠記念病院	4.3	13.4	12	1.4	11	11		6.3	6	0.3								1	1		
	17	小中病院	2.7	13.1	12	1.1	8	6	2	5	5									0.6	0.6		
	18	高田病院	4	15	15		14	14		12.73	10	2.73								1	1		
日田市	西部医療圏（病院）		11.9	51.7	49.0	27	177	162	15	169	156	13								8	8		
	1	石井産婦人科	1.1	5	5		2	2					1	1						32	31		
	2	上野眼科医院																					
	3	上野耳鼻咽喉科医院																					
	4	河津内科呼吸器科	3	1	1		15.7	9	6.7														
	5	隠診療所	1	1		1	1	1															
	6	功能整形外科医院	1				2.5	2	0.5														
	7	讀井眼科医院	1	4	4		1	1															
	8	新聞内科医院	1.2	4.3	4	0.3	6.9	6	0.9	3	1	2											
	9	聖花月クリニック	1.1	1	1		2	1	1														
	10	膳所医院	1	8.3	7	1.3	4.8	4	0.8	2	1	1								1	1		
	11	高村泌尿器科・麻酔科医院	1				2.5	1	1.5														
	12	田中眼科医院	1				3	3															
	13	中川泌尿器科医院	2	7	7		14	14															
	14	原整形外科医院																					
	15	日田市立上津江診療所	1	3	2	1	1	1															
	16	堀田クリニック	1	2	2	2	12	9	3														
	17	宮原レディースクリニック	1	14.5	13	1.5	3	3		1.5	1.5												
	18	みよクリニック	1	3	3		4	4															
	19	医療法人善隆々々会速辺医院	3	4	4		4	4															
	20	友成医院	1	3	3		6	6															
	21	矢原医院	3	1	1		1	1															
	22	小野眼科医院					3.2	3	0.2														
	23	長内科小児科胃腸科医院	1.2																				
24	友光会友成医院	1	7	6	1	10	10		2.5	2	0.5												
玖珠町	西部医療圏（診療所）		28	69	61	8	100	85	15	9	4	5	9	8	1								
	146	西都医療圏 合計	586	551	35	277	247	30	178	160	18	9	8	1	94	93	1	28	28				
	1	中津市民病院	48	216.5	200	16.5	5	3	2	27.2	26	1.2	18	18									
	2	榎原病院	6.5	19.6	19	0.6	30	30		14.8	14	0.8			4	4							
	3	川島整形外科病院	11.7	80	79	1	13.5	11	2.5	14.5	12	2.5											
	4	酒井病院	7.8	232	19	4.2	27.7	25	2.7	7.5	6	1.5			3	3							
	5	つくし園	2.5	10	10		10	10		10	10				3	3							
	6	中津胃腸病院	6.6	53.47	48	5.47	9.95	5	4.95	19.97	13	6.97											
	7	中津第一病院	12.8	49.4	48	1.4	31.4	25	6.4	22.4	20	2.4											
	8	中津脳神経外科病院	4	25.5	25	0.5	12	11	1	8	8				6	3	3						
	9	松永循環器病院	4.5	20.3	16	4.3	12.7	8	4.7	4.8	3	1.8											
	10	村上記念病院	9.1	61.69	57	4.69	34.34	27	7.34	54.23	45	9.23			6	6							
	11	宇佐高田医師会病院	9.8	80	74	6	9.1	4	5.1	12.2	10	2.2											
	12	宇佐胃腸病院	4.2	56.9	29	27.9	35.7	18	17.7	8	4	4											
	13	宇佐中央内科病院	6.3	27	26	1	9	7	2	4	4				1	1							
	14	小野内科病院	4.8	16.8	15	1.8	11.3	11	0.3	4.1	3	1.1			5	5							
	15	桑尾病院	2	6.5	6	0.5	12.4	11	1.4	14.8	14	0.8											
	16	佐藤第一病院	17.1	107	95	12	16.6	16	0.6	24.3	21	3.3			40.4	38	2.4	20.2	17	3.2	7	7	
	17	佐藤第二病院	4.2	9	9		13	13		10	10												
	18	轟木整形外科病院	4.5	6.6	5	1.6	13.63	13	0.63	1.8	1	0.8											
	19	和田病院	4	31.6	29	2.6	18.6	17	1.6	29.4	28	1.4			4	4							
	20	豊田中央病院	14.7	64.6	61	3.6	25.8	23	2.8	29.1	27	2.1			9	9							
	21	玄々堂高田病院	5.6	19.5	17	2.5	11.2	9	2.2	10.7	8	2.7			8	8							
		北部医療圏（病院）	191	985	887	98	363	297	66	332	287	45	18	18	89	84	5	45	39	6	28	28	23

疾患別医療需要の推計

		(ページ)
0	全疾患（疾病別に分類しないデータを含む）	35
1	MDC01 神経系疾患	36
2	MDC02 眼科系疾患	37
3	MDC03 耳鼻咽喉科系疾患	38
4	MDC04 呼吸器系疾患	39
5	MDC05 循環器系疾患	40
6	MDC06 消化器系疾患、肝臓・胆道・膵臓系疾患	41
7	MDC07 筋骨格系疾患	42
8	MDC08 皮膚・皮下組織の疾患	43
9	MDC09 乳房の疾患	44
10	MDC10 内分泌・栄養・代謝に関する疾患	45
11	MDC11 腎・尿路系疾患及び男性生殖器系疾患	46
12	MDC12 女性生殖器系疾患及び産褥期疾患・異常妊娠分娩	47
13	MDC13 血液・造血器・免疫臓器の疾患	48
14	MDC14 新生児疾患・先天性奇形	49
15	MDC15 小児疾患	50
16	MDC16 外傷・熱傷・中毒	51
17	MDC17 精神疾患	52
18	MDC18 その他の疾患	53
19	その他のMDC分類できない疾患	54
20	疾患分類不能なデータ	55
21	がん（MDC01～18全分類）	56
22	がん（MDC04 呼吸器系疾患）	57
23	がん（MDC06のうち上部消化管疾患）	58
24	がん（MDC06のうち下部消化管疾患）	59
25	がん（MDC06のうち肝臓・胆道・膵臓疾患）	60
26	がん（MDC09 乳房の疾患）	61
27	がん（MDC12 女性生殖器系疾患及び産褥期疾患・異常妊娠分娩）	62
28	MDC05のうち急性心筋梗塞	63
29	MDC01のうち脳卒中	64
30	MDC04のうち成人肺炎	65
31	MDC16のうち大腿骨頸部骨折	66

(注)

- ・「MDC18 その他の疾患」……敗血症、性感染症、その他感染症(真菌を除く)、その他の真菌感染症、手術・処置の合併症、移植臓器及び組織の不全及び拒絶反応、その他の悪性腫瘍、その他の新生物。
- ・「その他のMDC分類できない疾患」……平成25年度内に入退院が完結しているNDBデータのうち、DPCコーディング(※)が不可能であったもの。
- ・「疾患分類不能なデータ」……NDBデータのうち平成25年度以前の入院、もしくは、平成25年度以降も継続して入院している場合、入院期間全ての情報がそろっておらず、「最も医療資源を投入した傷病名」の判断ができず、DPCコーディング(※)が不可能となったもの。

※必要病床数等推計ツールにおけるDPCコーディング

DPCコード化されていないNDBデータを用いる場合、東北大学とニッセイ情報テクノロジー株式会社で共同開発した「傷病名分配ロジック」を用いて「最も医療資源を投入した傷病名」を決定し、DPCコード化。「傷病名分配ロジック」は、合計医療費を、診療行為や処方薬剤の適応傷病の情報をもとにレセプトに記載された複数の傷病名に傾斜分配し、「最も多くの医療費を分配された傷病名」を「最も医療資源を投入した傷病名」として推定している。

疾病別の医療需要及び必要病床数 (0) 全疾患(疾病別に分類しないデータを含む)

< 厚生労働省の必要病床数推計ツールによる推計(東部、中部、南部、豊肥はパターンB、西部、北部はパターンC(特例)を適用した場合) >

	医療機能	2013年の	2025年の	2025年の	2013年の	2025年の	2025年の	(充足率)	(伸び率)
		医療需要 (人/日)	医療需要 (医療機関 所在地) (人/日)	医療需要 (患者住所地) (人/日)	必要病床数 (床)	必要病床数 (医療機関 所在地) (床)	必要病床数 (患者住所地) (床)		
		A	B	C	X	Y	Z	Y/Z	B/A
東部	高度急性期	197.0	198.6	189.6	262.7	264.8	252.9	104.7%	100.8%
	急性期	736.4	776.6	737.1	944.1	995.6	945.0	105.4%	105.5%
	回復期	1,022.2	1,101.2	1,024.9	1,135.7	1,223.5	1,138.8	107.4%	107.7%
	慢性期	896.5	729.6	595.6	974.5	793.1	647.3	122.5%	81.4%
	在宅医療等 (再掲)うち訪問診療分	1,760.0	2,034.6	1,954.2					
	小計	6,385.8	7,037.5	6,589.8	3,317.0	3,277.0	2,984.0	109.8%	110.2%
中部	高度急性期	531.0	568.9	478.1	708.0	758.6	637.4	119.0%	107.1%
	急性期	1,707.5	1,984.6	1,745.5	2,189.1	2,544.4	2,237.9	113.7%	116.2%
	回復期	1,920.5	2,314.3	2,012.5	2,133.9	2,571.5	2,236.1	115.0%	120.5%
	慢性期	1,065.2	1,345.6	1,365.1	1,157.8	1,462.6	1,483.8	98.6%	126.3%
	在宅医療等 (再掲)うち訪問診療分	6,809.2	9,298.5	9,114.1					
	小計	12,033.4	15,511.9	14,715.3	6,188.8	7,337.0	6,595.2	111.2%	128.9%
南部	高度急性期	43.1	44.6	60.3	57.4	59.5	80.4	74.0%	103.6%
	急性期	223.8	237.7	272.7	286.9	304.7	349.6	87.2%	106.2%
	回復期	369.2	401.8	435.6	410.3	446.4	484.0	92.2%	108.8%
	慢性期	108.3	117.9	112.5	117.7	128.1	122.3	104.8%	108.9%
	在宅医療等 (再掲)うち訪問診療分	483.0	556.7	566.3					
	小計	1,728.3	1,929.5	2,034.1	872.3	938.8	1,036.3	90.6%	111.6%
豊肥	高度急性期	26.2	24.9	61.6	35.0	33.2	82.1	40.5%	95.1%
	急性期	141.2	138.1	236.7	181.0	177.0	303.4	58.3%	97.8%
	回復期	203.5	201.2	295.2	226.1	223.5	328.0	68.1%	98.9%
	慢性期	167.3	160.7	203.3	181.9	174.6	221.0	79.0%	96.0%
	在宅医療等 (再掲)うち訪問診療分	1,110.7	1,118.3	1,188.5					
	小計	1,649.0	1,643.2	1,985.2	624.0	608.4	934.5	65.1%	99.6%
西部	高度急性期	40.9	40.6	66.1	54.5	54.1	88.1	61.4%	99.3%
	急性期	186.5	190.6	267.1	239.1	244.4	342.5	71.4%	102.2%
	回復期	318.6	332.1	428.6	354.0	369.0	476.2	77.5%	104.3%
	慢性期	187.9	129.5	209.4	204.3	140.8	227.6	61.9%	68.9%
	在宅医療等 (再掲)うち訪問診療分	1,123.9	1,284.9	1,336.9					
	小計	418.4	458.1	472.2					
北部	高度急性期	1,857.8	1,977.8	2,308.2	851.9	808.4	1,134.5	71.3%	106.5%
	急性期	93.9	91.7	126.3	125.2	122.3	168.4	72.7%	97.7%
	回復期	483.9	499.0	526.9	620.4	639.8	675.5	94.7%	103.1%
	慢性期	475.2	502.5	573.2	528.0	558.3	636.9	87.7%	105.7%
	在宅医療等 (再掲)うち訪問診療分	475.3	327.4	347.9	516.6	355.8	378.2	94.1%	68.9%
	小計	2,128.7	2,456.7	2,545.0					
県計	高度急性期	922.3	992.8	1,059.7					
	急性期	3,656.9	3,877.3	4,119.3	1,790.1	1,676.3	1,858.9	90.2%	106.0%
	回復期	932.0	969.4	981.9	1,242.7	1,292.6	1,309.3	98.7%	104.0%
	慢性期	3,479.3	3,826.6	3,786.1	4,460.6	4,906.0	4,853.9	101.1%	110.0%
	在宅医療等 (再掲)うち訪問診療分	4,309.2	4,853.0	4,770.0	4,788.0	5,392.2	5,300.0	101.7%	112.6%
	小計	2,900.5	2,810.6	2,833.8	3,152.7	3,055.0	3,080.3	99.2%	96.9%
県計	在宅医療等 (再掲)うち訪問診療分	7,904.4	9,830.0	9,767.6					
	小計	27,311.2	31,977.2	31,751.9	13,644.0	14,645.8	14,543.5	100.7%	117.1%

< 凡例 >

- A …… 2013年度の医療需要実績 (医療機関所在地ベース)
- B …… 2025年度の推計人口で算出した医療需要(現行の流出入により算定した、医療機関所在地ベース)
- C …… 2025年度の推計人口で算出した医療需要(現行の流出入を算定しない、患者住所地ベース)
- X …… 2013年度の医療需要実績から、病床稼働率(※)により割り戻した必要病床数
- Y …… 2025年度の医療需要(医療機関ベース)から病床稼働率(※)により割り戻した必要病床数
- Z …… 2025年度の医療需要(患者住所地ベース)から、病床稼働率(※)により割り戻した必要病床数

※ 病床稼働率 高度急性期：75%、急性期：78%、回復期：90%、慢性期：92%

※ 数値が「0.0」のうち、網掛けがかかっているものは、実際には10.0未満の数値があるが、特定の個人が第三者に識別されることを防ぐために非表示とされている。

※ 「小計」欄は網掛けの掛かった数値(10.0未満)を含めずに計算されているため、本来の合計数と一致しない。
「充足率」及び「伸び率」の「小計」欄を見るときには注意が必要。

疾病別の医療需要及び必要病床数（1）MDC01神経系疾患

＜厚生労働省の必要病床数推計ツールによる推計（東部、中部、南部、豊肥はパターンB、西部、北部はパターンC（特例）を適用した場合）＞

医療機能	2013年の医療需要	2025年の医療需要 (医療機関所在地)	2025年の医療需要 (患者住所地)	2013年の必要病床数	2025年の必要病床数 (医療機関所在地)	2025年の必要病床数 (患者住所地)	(充足率) Y / Z	(伸び率) B / A	
	(人/日) A	(人/日) B	(人/日) C	(床) X	(床) Y	(床) Z			
東部	高度急性期	11.7	11.8	12.2	15.5	15.8	16.2	97.4%	101.6%
	急性期	57.2	60.4	60.7	73.3	77.4	77.8	99.6%	105.6%
	回復期	57.6	61.4	59.7	64.0	68.2	66.4	102.8%	106.5%
	慢性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	在宅医療等	30.3	32.8	31.7					108.3%
	(再掲)うち訪問診療分	0.0	0.0	0.0					
	小計	156.7	166.4	164.2	152.9	161.4	160.4	100.7%	106.2%
中部	高度急性期	36.7	40.5	34.6	48.9	53.9	46.1	117.0%	110.3%
	急性期	144.4	168.4	146.1	185.2	215.9	187.3	115.3%	116.6%
	回復期	107.1	129.4	113.3	119.0	143.8	125.9	114.2%	120.8%
	慢性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	在宅医療等	47.2	59.8	55.5					126.6%
	(再掲)うち訪問診療分	0.0	0.0	0.0					
	小計	335.4	398.0	349.4	353.1	413.6	359.2	115.1%	118.7%
南部	高度急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	急性期	27.6	29.2	30.3	35.4	37.5	38.8	96.6%	105.8%
	回復期	27.5	29.9	30.3	30.5	33.2	33.6	98.7%	108.8%
	慢性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	在宅医療等	10.1	10.6	11.4					105.7%
	(再掲)うち訪問診療分	0.0	0.0	0.0					
	小計	65.2	69.7	71.9	65.9	70.7	72.4	97.6%	107.0%
豊肥	高度急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	急性期	0.0	0.0	18.0	0.0	0.0	23.0	0.0%	
	回復期	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	18.5	0.0%	
	慢性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	在宅医療等	0.0	0.0	0.0					
	(再掲)うち訪問診療分	0.0	0.0	0.0					
	小計	0.0	0.0	34.7	0.0	0.0	41.6	0.0%	
西部	高度急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	急性期	19.3	20.3	22.2	24.8	26.1	28.4	91.8%	105.4%
	回復期	21.1	22.4	22.5	23.5	24.9	25.0	99.7%	106.3%
	慢性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	在宅医療等	19.1	20.0	18.4					104.6%
	(再掲)うち訪問診療分	0.0	0.0	0.0					
	小計	59.5	62.8	63.0	48.2	51.0	53.4	95.5%	105.4%
北部	高度急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	急性期	39.5	41.2	45.1	50.6	52.9	57.8	91.5%	104.4%
	回復期	29.2	31.3	31.8	32.5	34.8	35.3	98.7%	107.1%
	慢性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	在宅医療等	17.3	18.3	18.1					105.8%
	(再掲)うち訪問診療分	0.0	0.0	0.0					
	小計	86.0	90.9	94.9	83.1	87.7	93.1	94.2%	105.6%
県計	高度急性期	48.3	52.3	46.7	64.4	69.7	62.3	111.9%	108.2%
	急性期	288.1	319.6	322.2	369.3	409.7	413.1	99.2%	110.9%
	回復期	242.5	274.4	274.2	269.5	304.9	304.7	100.1%	113.1%
	慢性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	在宅医療等	123.9	141.5	135.0					114.1%
	(再掲)うち訪問診療分	0.0	0.0	0.0					
	小計	702.8	787.8	778.1	703.2	784.4	780.1	100.5%	112.1%

＜凡例＞

- A …… 2013年度の医療需要実績（医療機関所在地ベース）
- B …… 2025年度の推計人口で算出した医療需要（現行の流出入により算定した、医療機関所在地ベース）
- C …… 2025年度の推計人口で算出した医療需要（現行の流出入を算定しない、患者住所地ベース）
- X …… 2013年度の医療需要実績から、病床稼働率(※)により割り戻した必要病床数
- Y …… 2025年度の医療需要(医療機関ベース)から病床稼働率(※)により割り戻した必要病床数
- Z …… 2025年度の医療需要(患者住所地ベース)から、病床稼働率(※)により割り戻した必要病床数

※ 病床稼働率 高度急性期：75%、急性期：78%、回復期：90%、慢性期：92%

※ 数値が「0.0」のうち、網掛けがかかっているものは、実際には10.0未満の数値があるが、特定の個人が第三者に識別されることを防ぐために非表示とされている。

※ 「小計」欄は網掛けの掛かった数値(10.0未満)を含めずに計算されているため、本来の合計数と一致しない。
「充足率」及び「伸び率」の「小計」欄を見るときには注意が必要。

疾病別の医療需要及び必要病床数（2）MDC02 眼科系疾患

< 厚生労働省の必要病床数推計ツールによる推計（東部、中部、南部、豊肥はパターンB、西部、北部はパターンC（特例）を適用した場合） >

	医療機能	2013年の医療需要	2025年の医療需要 (医療機関所在地)	2025年の医療需要 (患者住所地)	2013年の必要病床数	2025年の必要病床数 (医療機関所在地)	2025年の必要病床数 (患者住所地)	(充足率) Y / Z	(伸び率) B / A
		(人/日) A	(人/日) B	(人/日) C	(床) X	(床) Y	(床) Z		
東部	高度急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	回復期	0.0	10.1	11.2	0.0	11.2	12.5	89.7%	
	慢性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	在宅医療等 (再掲)うち訪問診療分	0.0	0.0	0.0					
	小計	0.0	10.1	11.2	0.0	11.2	12.5	89.7%	
中部	高度急性期	10.1	10.9	0.0	13.5	14.5	0.0		107.5%
	急性期	10.9	11.2	0.0	13.9	14.3	0.0		102.9%
	回復期	19.2	19.9	13.4	21.3	22.1	14.9	148.5%	103.7%
	慢性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	在宅医療等 (再掲)うち訪問診療分	0.0	0.0	0.0					
	小計	40.2	41.9	13.4	48.7	50.9	14.9	342.1%	104.4%
南部	高度急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	回復期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	慢性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	在宅医療等 (再掲)うち訪問診療分	0.0	0.0	0.0					
	小計	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
豊肥	高度急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	回復期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	慢性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	在宅医療等 (再掲)うち訪問診療分	0.0	0.0	0.0					
	小計	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
西部	高度急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	回復期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	慢性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	在宅医療等 (再掲)うち訪問診療分	0.0	0.0	0.0					
	小計	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
北部	高度急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	回復期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	慢性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	在宅医療等 (再掲)うち訪問診療分	0.0	0.0	0.0					
	小計	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
県計	高度急性期	10.1	10.9	0.0	13.5	14.5	0.0		107.5%
	急性期	10.9	11.2	0.0	13.9	14.3	0.0		102.9%
	回復期	19.2	30.0	24.6	21.3	33.3	27.4	121.7%	156.2%
	慢性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	在宅医療等 (再掲)うち訪問診療分	0.0	0.0	0.0					
	小計	40.2	52.0	24.6	48.7	62.1	27.4	227.0%	129.5%

< 凡例 >

- A …… 2013年度の医療需要実績（医療機関所在地ベース）
- B …… 2025年度の推計人口で算出した医療需要（現行の流出入により算定した、医療機関所在地ベース）
- C …… 2025年度の推計人口で算出した医療需要（現行の流出入を算定しない、患者住所地ベース）
- X …… 2013年度の医療需要実績から、病床稼働率(※)により割り戻した必要病床数
- Y …… 2025年度の医療需要(医療機関ベース)から病床稼働率(※)により割り戻した必要病床数
- Z …… 2025年度の医療需要(患者住所地ベース)から、病床稼働率(※)により割り戻した必要病床数

※ 病床稼働率 高度急性期：75%、急性期：78%、回復期：90%、慢性期：92%

※ 数値が「0.0」のうち、網掛けがかかっているものは、実際には10.0未満の数値があるが、特定の個人が第三者に識別されることを防ぐために非表示とされている。

※ 「小計」欄は網掛けの掛かった数値(10.0未満)を含めずに計算されているため、本来の合計数と一致しない。
「充足率」及び「伸び率」の「小計」欄を見るときには注意が必要。

疾病別の医療需要及び必要病床数 (3)MDC03 耳鼻咽喉科系疾患

< 厚生労働省の必要病床数推計ツールによる推計(東部、中部、南部、豊肥はパターンB、西部、北部はパターンC(特例)を適用した場合) >

医療機能	2013年の医療需要	2025年の医療需要(医療機関所在地)	2025年の医療需要(患者住所地)	2013年の必要病床数	2025年の必要病床数(医療機関所在地)	2025年の必要病床数(患者住所地)	(充足率)	(伸び率)
	(人/日)	(人/日)	(人/日)	(床)	(床)	(床)		
	A	B	C	X	Y	Z	Y/Z	B/A
東部	高度急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	回復期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	慢性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	在宅医療等	0.0	0.0	0.0				
	(再掲)うち訪問診療分	0.0	0.0	0.0				
小計	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
中部	高度急性期	12.4	12.3	0.0	16.5	16.4	0.0	99.4%
	急性期	27.4	27.2	20.3	35.2	34.9	26.1	134.0%
	回復期	21.8	22.1	16.7	24.2	24.6	18.5	132.8%
	慢性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	在宅医療等	10.8	11.5	0.0				106.1%
	(再掲)うち訪問診療分	0.0	0.0	0.0				
小計	72.4	73.1	37.0	75.9	75.9	44.6	170.3%	101.0%
南部	高度急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	回復期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	慢性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	在宅医療等	0.0	0.0	0.0				
	(再掲)うち訪問診療分	0.0	0.0	0.0				
小計	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
豊肥	高度急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	回復期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	慢性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	在宅医療等	0.0	0.0	0.0				
	(再掲)うち訪問診療分	0.0	0.0	0.0				
小計	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
西部	高度急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	回復期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	慢性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	在宅医療等	0.0	0.0	0.0				
	(再掲)うち訪問診療分	0.0	0.0	0.0				
小計	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
北部	高度急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	回復期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	慢性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	在宅医療等	0.0	0.0	0.0				
	(再掲)うち訪問診療分	0.0	0.0	0.0				
小計	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
県計	高度急性期	12.4	12.3	0.0	16.5	16.4	0.0	99.4%
	急性期	27.4	27.2	20.3	35.2	34.9	26.1	99.3%
	回復期	21.8	22.1	16.7	24.2	24.6	18.5	132.8%
	慢性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	在宅医療等	10.8	11.5	0.0				106.1%
	(再掲)うち訪問診療分	0.0	0.0	0.0				
小計	72.4	73.1	37.0	75.9	75.9	44.6	170.3%	101.0%

< 凡例 >

- A …… 2013年度の医療需要実績 (医療機関所在地ベース)
- B …… 2025年度の推計人口で算出した医療需要(現行の流出入により算定した、医療機関所在地ベース)
- C …… 2025年度の推計人口で算出した医療需要(現行の流出入を算定しない、患者住所地ベース)
- X …… 2013年度の医療需要実績から、病床稼働率(※)により割り戻した必要病床数
- Y …… 2025年度の医療需要(医療機関ベース)から病床稼働率(※)により割り戻した必要病床数
- Z …… 2025年度の医療需要(患者住所地ベース)から、病床稼働率(※)により割り戻した必要病床数

※ 病床稼働率 高度急性期：75%、急性期：78%、回復期：90%、慢性期：92%

※ 数値が「0.0」のうち、網掛けがかかっているものは、実際には10.0未満の数値があるが、特定の個人が第三者に識別されることを防ぐために非表示とされている。

※ 「小計」欄は網掛けの掛かった数値(10.0未満)を含めずに計算されているため、本来の合計数と一致しない。
「充足率」及び「伸び率」の「小計」欄を見るときには注意が必要。

疾病別の医療需要及び必要病床数 (4)MDC04 呼吸器系疾患

< 厚生労働省の必要病床数推計ツールによる推計(東部、中部、南部、豊肥はパターンB、西部、北部はパターンC(特例)を適用した場合) >

医療機能	2013年の 医療需要 (人/日)	2025年の 医療需要 (医療機関 所在地) (人/日)	2025年の 医療需要 (患者住所地) (人/日)	2013年の 必要病床数 (床)	2025年の 必要病床数 (医療機関 所在地) (床)	2025年の 必要病床数 (患者住所地) (床)	(充足率)	(伸び率)	
	A	B	C	X	Y	Z	Y / Z	B / A	
東 部	高度急性期	18.3	19.1	17.3	24.5	25.5	23.1	110.6%	104.3%
	急性期	92.3	100.3	94.1	118.4	128.6	120.7	106.6%	108.7%
	回復期	87.0	97.8	91.3	96.7	108.7	101.4	107.2%	112.4%
	慢性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	在宅医療等 (再掲)うち訪問診療分	43.2	47.2	42.2					109.4%
		0.0	0.0	0.0					
	小計	240.9	264.5	245.0	239.5	262.9	245.2	107.2%	109.8%
中 部	高度急性期	48.9	54.9	48.8	65.2	73.3	65.1	112.6%	112.4%
	急性期	219.0	271.9	252.8	280.8	348.6	324.1	107.5%	124.1%
	回復期	148.3	194.5	186.5	164.7	216.1	207.2	104.3%	131.2%
	慢性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	在宅医療等 (再掲)うち訪問診療分	80.2	105.6	102.7					131.8%
		0.0	0.0	0.0					
	小計	496.3	627.0	590.8	510.7	637.9	596.3	107.0%	126.3%
南 部	高度急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	急性期	29.3	31.2	33.5	37.5	40.0	43.0	93.1%	106.7%
	回復期	33.2	36.7	38.5	36.9	40.8	42.8	95.3%	110.3%
	慢性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	在宅医療等 (再掲)うち訪問診療分	13.1	14.4	15.7					109.5%
		0.0	0.0	0.0					
	小計	75.6	82.3	87.7	74.5	80.8	85.8	94.2%	108.8%
豊 肥	高度急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	急性期	17.2	17.2	28.2	22.1	22.0	36.1	61.0%	99.6%
	回復期	23.0	23.1	26.6	25.6	25.7	29.6	86.8%	100.5%
	慢性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	在宅医療等 (再掲)うち訪問診療分	15.8	15.4	16.8					98.0%
		0.0	0.0	0.0					
	小計	56.0	55.7	71.6	47.7	47.7	65.7	72.6%	99.5%
西 部	高度急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	急性期	24.6	25.2	29.0	31.6	32.3	37.1	87.1%	102.4%
	回復期	31.0	32.7	34.2	34.4	36.4	38.0	95.8%	105.7%
	慢性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	在宅医療等 (再掲)うち訪問診療分	24.7	26.0	25.6					105.4%
		0.0	0.0	0.0					
	小計	80.3	84.0	88.8	66.0	68.7	75.1	91.5%	104.6%
北 部	高度急性期	15.6	14.2	15.9	20.8	19.0	21.2	89.4%	91.1%
	急性期	64.4	68.1	71.4	82.6	87.3	91.5	95.4%	105.7%
	回復期	56.7	62.5	61.5	63.0	69.4	68.4	101.5%	110.1%
	慢性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	在宅医療等 (再掲)うち訪問診療分	33.6	37.0	36.5					110.2%
		0.0	0.0	0.0					
	小計	170.3	181.8	185.4	166.4	175.7	181.1	97.0%	106.7%
県 計	高度急性期	82.9	88.3	82.0	110.5	117.7	109.3	107.7%	106.6%
	急性期	446.9	513.9	509.0	572.9	658.9	652.6	101.0%	115.0%
	回復期	379.3	447.3	438.6	421.4	497.1	487.3	102.0%	118.0%
	慢性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	在宅医療等 (再掲)うち訪問診療分	210.5	245.7	239.6					116.7%
		0.0	0.0	0.0					
	小計	1,119.5	1,295.3	1,269.2	1,104.8	1,273.7	1,249.3	102.0%	115.7%

< 凡例 >

- A …… 2013年度の医療需要実績 (医療機関所在地ベース)
- B …… 2025年度の推計人口で算出した医療需要(現行の流出入により算定した、医療機関所在地ベース)
- C …… 2025年度の推計人口で算出した医療需要(現行の流出入を算定しない、患者住所地ベース)
- X …… 2013年度の医療需要実績から、病床稼働率(※)により割り戻した必要病床数
- Y …… 2025年度の医療需要(医療機関ベース)から病床稼働率(※)により割り戻した必要病床数
- Z …… 2025年度の医療需要(患者住所地ベース)から、病床稼働率(※)により割り戻した必要病床数

※ 病床稼働率 高度急性期 : 75%、急性期 : 78%、回復期 : 90%、慢性期 : 92%

※ 数値が「0.0」のうち、網掛けがかかっているものは、実際には10.0未満の数値があるが、特定の個人が第三者に識別されることを防ぐために非表示とされている。

※ 「小計」欄は網掛けの掛かった数値(10.0未満)を含めずに計算されているため、本来の合計数と一致しない。
「充足率」及び「伸び率」の「小計」欄を見るときには注意が必要。

疾病別の医療需要及び必要病床数 (5)MDC05 循環器系疾患

< 厚生労働省の必要病床数推計ツールによる推計(東部、中部、南部、豊肥はパターンB、西部、北部はパターンC(特例)を適用した場合) >

	医療機能	2013年の	2025年の	2025年の	2013年の	2025年の	2025年の	(充足率)	(伸び率)
		医療需要 (人/日)	医療需要 (医療機関 所在地) (人/日)	医療需要 (患者住所地) (人/日)	必要病床数 (床)	必要病床数 (医療機関 所在地) (床)	必要病床数 (患者住所地) (床)		
		A	B	C	X	Y	Z	Y/Z	B/A
東 部	高度急性期	22.9	23.8	22.5	30.5	31.7	30.0	105.7%	104.0%
	急性期	60.2	64.8	61.8	77.1	83.1	79.2	104.8%	107.7%
	回復期	46.8	51.4	48.9	52.0	57.1	54.3	105.1%	109.8%
	慢性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	在宅医療等 (再掲)うち訪問診療分	45.2	49.9	45.9					110.5%
	小計	175.0	189.8	179.0	159.6	171.8	163.5	105.1%	108.5%
中 部	高度急性期	54.7	62.6	51.8	73.0	83.5	69.1	120.9%	114.5%
	急性期	132.6	161.6	137.6	170.0	207.1	176.4	117.4%	121.8%
	回復期	102.9	127.0	107.3	114.4	141.1	119.2	118.3%	123.4%
	慢性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	在宅医療等 (再掲)うち訪問診療分	71.7	93.4	86.1					130.2%
	小計	362.0	444.6	382.8	357.4	431.8	364.8	118.4%	122.8%
南 部	高度急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	急性期	15.6	16.9	21.4	20.0	21.6	27.4	78.9%	108.3%
	回復期	14.3	15.8	19.1	15.9	17.6	21.2	83.0%	110.7%
	慢性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	在宅医療等 (再掲)うち訪問診療分	10.2	10.8	11.4					106.5%
	小計	40.0	43.5	51.8	35.8	39.2	48.6	80.7%	108.7%
豊 肥	高度急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	急性期	0.0	0.0	18.7	0.0	0.0	24.0	0.0%	
	回復期	0.0	0.0	18.5	0.0	0.0	20.6	0.0%	
	慢性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	在宅医療等 (再掲)うち訪問診療分	15.1	14.9	20.7					98.5%
	小計	15.1	14.9	57.9	0.0	0.0	44.6	0.0%	98.5%
西 部	高度急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	急性期	16.9	17.9	23.7	21.6	22.9	30.4	75.2%	106.0%
	回復期	15.9	16.9	21.5	17.7	18.8	23.9	78.7%	106.2%
	慢性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	在宅医療等 (再掲)うち訪問診療分	21.4	23.0	23.7					107.6%
	小計	54.1	57.7	68.9	39.3	41.7	54.3	76.7%	106.7%
北 部	高度急性期	0.0	0.0	12.2	0.0	0.0	16.3	0.0%	
	急性期	32.4	35.3	42.2	41.6	45.2	54.1	83.6%	108.8%
	回復期	33.3	36.6	41.1	37.0	40.6	45.7	88.9%	109.7%
	慢性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	在宅医療等 (再掲)うち訪問診療分	25.5	27.5	28.1					107.9%
	小計	91.2	99.4	123.6	78.6	85.9	116.1	74.0%	108.9%
県 計	高度急性期	77.6	86.4	86.5	103.4	115.2	115.3	99.9%	111.4%
	急性期	257.7	296.4	305.4	330.3	379.9	391.6	97.0%	115.0%
	回復期	213.2	247.6	256.4	236.9	275.2	284.9	96.6%	116.1%
	慢性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	在宅医療等 (再掲)うち訪問診療分	189.0	219.4	215.8					116.1%
	小計	737.5	849.8	864.1	670.7	770.3	791.8	97.3%	115.2%

< 凡例 >

- A …… 2013年度の医療需要実績 (医療機関所在地ベース)
- B …… 2025年度の推計人口で算出した医療需要(現行の流出入により算定した、医療機関所在地ベース)
- C …… 2025年度の推計人口で算出した医療需要(現行の流出入を算定しない、患者住所地ベース)
- X …… 2013年度の医療需要実績から、病床稼働率(※)により割り戻した必要病床数
- Y …… 2025年度の医療需要(医療機関ベース)から病床稼働率(※)により割り戻した必要病床数
- Z …… 2025年度の医療需要(患者住所地ベース)から、病床稼働率(※)により割り戻した必要病床数

※ 病床稼働率 高度急性期：75%、急性期：78%、回復期：90%、慢性期：92%

※ 数値が「0.0」のうち、網掛けがかかっているものは、実際には10.0未満の数値があるが、特定の個人が第三者に識別されることを防ぐために非表示とされている。

※ 「小計」欄は網掛けの掛かった数値(10.0未満)を含めずに計算されているため、本来の合計数と一致しない。
「充足率」及び「伸び率」の「小計」欄を見るときには注意が必要。

疾病別の医療需要及び必要病床数 (6)MDC06 消化器系疾患、肝臓・胆道・膵臓系疾患

< 厚生労働省の必要病床数推計ツールによる推計(東部、中部、南部、豊肥はパターンB、西部、北部はパターンC(特例)を適用した場合) >

医療機能	2013年の医療需要	2025年の医療需要(医療機関所在地)	2025年の医療需要(患者住所地)	2013年の必要病床数	2025年の必要病床数(医療機関所在地)	2025年の必要病床数(患者住所地)	(充足率)	(伸び率)	
	(人/日)	(人/日)	(人/日)	(床)	(床)	(床)			
	A	B	C	X	Y	Z	Y/Z	B/A	
東部	高度急性期	40.6	40.8	40.9	54.2	54.4	54.5	99.8%	100.4%
	急性期	83.6	85.6	85.7	107.1	109.7	109.9	99.8%	102.4%
	回復期	77.0	78.8	80.0	85.5	87.6	88.9	98.6%	102.4%
	慢性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	在宅医療等	58.2	60.5	57.5					104.0%
	(再掲)うち訪問診療分	0.0	0.0	0.0					
小計	259.4	265.7	264.1	246.9	251.7	253.3	99.4%	102.4%	
中部	高度急性期	113.4	124.4	104.9	151.2	165.9	139.9	118.6%	109.7%
	急性期	218.7	250.9	213.9	280.4	321.7	274.2	117.3%	114.7%
	回復期	183.8	210.5	178.2	204.2	233.9	198.0	118.1%	114.5%
	慢性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	在宅医療等	172.8	199.7	180.7					115.6%
	(再掲)うち訪問診療分	0.0	0.0	0.0					
小計	688.7	785.5	677.6	635.9	721.5	612.0	117.9%	114.1%	
南部	高度急性期	0.0	0.0	13.0	0.0	0.0	17.3	0.0%	
	急性期	24.5	25.3	31.2	31.5	32.5	39.9	81.3%	103.2%
	回復期	25.1	26.3	31.6	27.9	29.2	35.1	83.2%	104.5%
	慢性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	在宅医療等	17.4	17.6	21.1					101.3%
	(再掲)うち訪問診療分	0.0	0.0	0.0					
小計	67.1	69.2	96.8	59.4	61.6	92.3	66.7%	103.2%	
豊肥	高度急性期	0.0	0.0	12.7	0.0	0.0	16.9	0.0%	
	急性期	11.7	11.1	27.4	14.9	14.2	35.1	40.4%	94.9%
	回復期	12.2	11.6	23.1	13.5	12.8	25.7	50.1%	94.8%
	慢性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	在宅医療等	17.2	16.2	22.6					94.3%
	(再掲)うち訪問診療分	0.0	0.0	0.0					
小計	41.0	38.8	85.7	28.5	27.0	77.7	34.8%	94.6%	
西部	高度急性期	0.0	0.0	14.8	0.0	0.0	19.7	0.0%	
	急性期	30.2	30.3	40.7	38.7	38.8	52.2	74.4%	100.3%
	回復期	30.3	30.8	39.5	33.7	34.2	43.8	78.0%	101.5%
	慢性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	在宅医療等	32.0	32.4	35.1					101.3%
	(再掲)うち訪問診療分	0.0	0.0	0.0					
小計	92.5	93.5	130.0	72.4	73.0	115.7	63.1%	101.0%	
北部	高度急性期	20.1	20.2	23.2	26.8	26.9	30.9	87.0%	100.2%
	急性期	60.4	62.0	61.0	77.4	79.4	78.2	101.6%	102.6%
	回復期	62.9	65.3	64.0	69.9	72.6	71.2	102.0%	103.8%
	慢性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	在宅医療等	48.2	49.3	49.4					102.4%
	(再掲)うち訪問診療分	0.0	0.0	0.0					
小計	191.6	196.8	197.7	174.2	178.9	180.3	99.2%	102.7%	
県計	高度急性期	174.2	185.4	209.5	232.3	247.2	279.3	88.5%	106.4%
	急性期	429.1	465.1	459.8	550.1	596.3	589.5	101.1%	108.4%
	回復期	391.3	423.2	416.3	434.8	470.3	462.5	101.7%	108.2%
	慢性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	在宅医療等	345.6	375.6	366.3					108.7%
	(再掲)うち訪問診療分	0.0	0.0	0.0					
小計	1,340.2	1,449.4	1,451.9	1,217.2	1,313.8	1,331.4	98.7%	108.1%	

< 凡例 >

- A …… 2013年度の医療需要実績 (医療機関所在地ベース)
- B …… 2025年度の推計人口で算出した医療需要(現行の流出入により算定した、医療機関所在地ベース)
- C …… 2025年度の推計人口で算出した医療需要(現行の流出入を算定しない、患者住所地ベース)
- X …… 2013年度の医療需要実績から、病床稼働率(※)により割り戻した必要病床数
- Y …… 2025年度の医療需要(医療機関ベース)から病床稼働率(※)により割り戻した必要病床数
- Z …… 2025年度の医療需要(患者住所地ベース)から、病床稼働率(※)により割り戻した必要病床数

※ 病床稼働率 高度急性期：75%、急性期：78%、回復期：90%、慢性期：92%

※ 数値が「0.0」のうち、網掛けがかかっているものは、実際には10.0未満の数値があるが、特定の個人が第三者に識別されることを防ぐために非表示とされている。

※ 「小計」欄は網掛けの掛かった数値(10.0未満)を含めずに計算されているため、本来の合計数と一致しない。
「充足率」及び「伸び率」の「小計」欄を見るときには注意が必要。

疾病別の医療需要及び必要病床数（7）MDC07 筋骨格系疾患

< 厚生労働省の必要病床数推計ツールによる推計（東部、中部、南部、豊肥はパターンB、西部、北部はパターンC（特例）を適用した場合） >

	医療機能	2013年の	2025年の	2025年の	2013年の	2025年の	2025年の	(充足率)	(伸び率)
		医療需要 (人/日)	医療需要 (医療機関 所在地) (人/日)	医療需要 (患者住所地) (人/日)	必要病床数 (床)	必要病床数 (医療機関 所在地) (床)	必要病床数 (患者住所地) (床)		
		A	B	C	X	Y	Z	Y / Z	B / A
東部	高度急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	急性期	51.6	55.0	50.1	66.2	70.5	64.3	109.6%	106.5%
	回復期	62.7	67.0	61.0	69.6	74.4	67.7	109.9%	106.9%
	慢性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	在宅医療等 (再掲)うち訪問診療分	42.9	46.3	39.5					108.0%
	小計	157.2	168.3	150.7	135.8	144.9	132.0	109.7%	107.0%
中部	高度急性期	25.7	27.1	20.8	34.2	36.1	27.7	130.2%	105.5%
	急性期	145.0	162.4	127.7	186.0	208.2	163.7	127.1%	112.0%
	回復期	154.9	179.3	146.1	172.1	199.2	162.3	122.7%	115.7%
	慢性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	在宅医療等 (再掲)うち訪問診療分	98.8	119.3	107.1					120.8%
	小計	424.4	488.0	401.7	392.3	443.5	353.8	125.3%	115.0%
南部	高度急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	急性期	11.9	12.9	20.7	15.3	16.6	26.6	62.3%	108.5%
	回復期	20.8	22.4	29.5	23.1	24.9	32.8	76.0%	107.8%
	慢性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	在宅医療等 (再掲)うち訪問診療分	0.0	10.8	14.8					
	小計	32.7	46.2	65.1	38.4	41.5	59.4	69.9%	141.1%
豊肥	高度急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	急性期	11.4	11.0	19.8	14.6	14.2	25.4	55.8%	97.0%
	回復期	19.1	18.8	25.4	21.2	20.8	28.2	73.8%	98.4%
	慢性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	在宅医療等 (再掲)うち訪問診療分	15.4	15.2	17.8					98.5%
	小計	45.8	45.0	63.0	35.8	35.0	53.6	65.3%	98.1%
西部	高度急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	急性期	10.5	10.9	29.9	13.5	14.0	38.3	36.5%	103.4%
	回復期	13.8	14.2	28.5	15.3	15.7	31.7	49.7%	102.9%
	慢性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	在宅医療等 (再掲)うち訪問診療分	12.1	12.5	16.8					103.9%
	小計	36.4	37.6	75.1	28.8	29.7	69.9	42.5%	103.4%
北部	高度急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	急性期	47.0	48.0	50.9	60.2	61.6	65.3	94.3%	102.3%
	回復期	33.9	35.7	45.0	37.7	39.6	50.0	79.3%	105.2%
	慢性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	在宅医療等 (再掲)うち訪問診療分	22.0	23.1	27.6					105.0%
	小計	102.9	106.8	123.5	97.9	101.2	115.3	87.8%	103.8%
県計	高度急性期	25.7	27.1	20.8	34.2	36.1	27.7	130.2%	105.5%
	急性期	277.4	300.2	299.1	355.7	384.9	383.5	100.4%	108.2%
	回復期	305.2	337.3	335.5	339.1	374.8	372.7	100.5%	110.5%
	慢性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	在宅医療等 (再掲)うち訪問診療分	191.1	227.2	223.7					118.9%
	小計	799.4	891.8	879.1	728.9	795.8	784.0	101.5%	111.6%

< 凡例 >

- A …… 2013年度の医療需要実績（医療機関所在地ベース）
- B …… 2025年度の推計人口で算出した医療需要（現行の流出入により算定した、医療機関所在地ベース）
- C …… 2025年度の推計人口で算出した医療需要（現行の流出入を算定しない、患者住所地ベース）
- X …… 2013年度の医療需要実績から、病床稼働率(※)により割り戻した必要病床数
- Y …… 2025年度の医療需要(医療機関ベース)から病床稼働率(※)により割り戻した必要病床数
- Z …… 2025年度の医療需要(患者住所地ベース)から、病床稼働率(※)により割り戻した必要病床数

※ 病床稼働率 高度急性期：75%、急性期：78%、回復期：90%、慢性期：92%

※ 数値が「0.0」のうち、網掛けがかかっているものは、実際には10.0未満の数値があるが、特定の個人が第三者に識別されることを防ぐために非表示とされている。

※ 「小計」欄は網掛けの掛かった数値(10.0未満)を含めずに計算されているため、本来の合計数と一致しない。
「充足率」及び「伸び率」の「小計」欄を見るときには注意が必要。

疾病別の医療需要及び必要病床数 (8)MDC08 皮膚・皮下組織の疾患

< 厚生労働省の必要病床数推計ツールによる推計(東部、中部、南部、豊肥はパターンB、西部、北部はパターンC(特例)を適用した場合) >

	医療機能	2013年の医療需要	2025年の医療需要(医療機関所在地)	2025年の医療需要(患者住所地)	2013年の必要病床数	2025年の必要病床数(医療機関所在地)	2025年の必要病床数(患者住所地)	(充足率) Y/Z	(伸び率) B/A
		(人/日) A	(人/日) B	(人/日) C	(床) X	(床) Y	(床) Z		
東部	高度急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	回復期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	慢性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	在宅医療等 (再掲)うち訪問診療分	0.0	0.0	0.0					
	小計	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
中部	高度急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	急性期	18.2	20.5	17.9	23.3	26.2	22.9	114.6%	112.6%
	回復期	17.0	20.3	17.8	18.9	22.5	19.8	113.7%	118.9%
	慢性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	在宅医療等 (再掲)うち訪問診療分	0.0	12.1	11.6					
	小計	35.2	52.8	47.3	42.2	48.7	42.7	114.2%	149.9%
南部	高度急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	回復期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	慢性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	在宅医療等 (再掲)うち訪問診療分	0.0	0.0	0.0					
	小計	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
豊肥	高度急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	回復期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	慢性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	在宅医療等 (再掲)うち訪問診療分	0.0	0.0	0.0					
	小計	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
西部	高度急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	回復期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	慢性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	在宅医療等 (再掲)うち訪問診療分	0.0	0.0	0.0					
	小計	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
北部	高度急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	回復期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	慢性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	在宅医療等 (再掲)うち訪問診療分	0.0	0.0	0.0					
	小計	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
県計	高度急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	急性期	18.2	20.5	17.9	23.3	26.2	22.9	114.6%	112.6%
	回復期	17.0	20.3	17.8	18.9	22.5	19.8	113.7%	118.9%
	慢性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	在宅医療等 (再掲)うち訪問診療分	0.0	12.1	11.6					
	小計	35.2	52.8	47.3	42.2	48.7	42.7	114.2%	149.9%

< 凡例 >

- A …… 2013年度の医療需要実績 (医療機関所在地ベース)
- B …… 2025年度の推計人口で算出した医療需要(現行の流出入により算定した、医療機関所在地ベース)
- C …… 2025年度の推計人口で算出した医療需要(現行の流出入を算定しない、患者住所地ベース)
- X …… 2013年度の医療需要実績から、病床稼働率(※)により割り戻した必要病床数
- Y …… 2025年度の医療需要(医療機関ベース)から病床稼働率(※)により割り戻した必要病床数
- Z …… 2025年度の医療需要(患者住所地ベース)から、病床稼働率(※)により割り戻した必要病床数

※ 病床稼働率 高度急性期：75%、急性期：78%、回復期：90%、慢性期：92%

※ 数値が「0.0」のうち、網掛けがかかっているものは、実際には10.0未満の数値があるが、特定の個人が第三者に識別されることを防ぐために非表示とされている。

※ 「小計」欄は網掛けの掛かった数値(10.0未満)を含めずに計算されているため、本来の合計数と一致しない。
「充足率」及び「伸び率」の「小計」欄を見るときには注意が必要。

疾病別の医療需要及び必要病床数 (9)MDC09 乳房の疾患

< 厚生労働省の必要病床数推計ツールによる推計(東部、中部、南部、豊肥はパターンB、西部、北部はパターンC(特例)を適用した場合) >

医療機能	2013年の医療需要	2025年の医療需要(医療機関所在地)	2025年の医療需要(患者住所地)	2013年の必要病床数	2025年の必要病床数(医療機関所在地)	2025年の必要病床数(患者住所地)	(充足率) Y / Z	(伸び率) B / A
	(人/日) A	(人/日) B	(人/日) C	(床) X	(床) Y	(床) Z		
東部	高度急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	回復期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	慢性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	在宅医療等 (再掲)うち訪問診療分	0.0	0.0	0.0				
	小計	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
中部	高度急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	急性期	11.9	11.6	0.0	15.2	14.9		98.1%
	回復期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	慢性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	在宅医療等 (再掲)うち訪問診療分	16.3	15.7	12.4				96.5%
	小計	28.2	27.4	12.4	15.2	14.9	0.0	97.1%
南部	高度急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	回復期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	慢性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	在宅医療等 (再掲)うち訪問診療分	0.0	0.0	0.0				
	小計	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
豊肥	高度急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	回復期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	慢性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	在宅医療等 (再掲)うち訪問診療分	0.0	0.0	0.0				
	小計	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
西部	高度急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	回復期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	慢性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	在宅医療等 (再掲)うち訪問診療分	0.0	0.0	0.0				
	小計	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
北部	高度急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	回復期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	慢性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	在宅医療等 (再掲)うち訪問診療分	0.0	0.0	0.0				
	小計	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
県計	高度急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	急性期	11.9	11.6	0.0	15.2	14.9		98.1%
	回復期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	慢性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	在宅医療等 (再掲)うち訪問診療分	16.3	15.7	12.4				96.5%
	小計	28.2	27.4	12.4	15.2	14.9	0.0	97.1%

< 凡例 >

- A …… 2013年度の医療需要実績 (医療機関所在地ベース)
- B …… 2025年度の推計人口で算出した医療需要(現行の流出入により算定した、医療機関所在地ベース)
- C …… 2025年度の推計人口で算出した医療需要(現行の流出入を算定しない、患者住所地ベース)
- X …… 2013年度の医療需要実績から、病床稼働率(※)により割り戻した必要病床数
- Y …… 2025年度の医療需要(医療機関ベース)から病床稼働率(※)により割り戻した必要病床数
- Z …… 2025年度の医療需要(患者住所地ベース)から、病床稼働率(※)により割り戻した必要病床数

※ 病床稼働率 高度急性期 : 75%、急性期 : 78%、回復期 : 90%、慢性期 : 92%

※ 数値が「0.0」のうち、網掛けがかかっているものは、実際には10.0未満の数値があるが、特定の個人が第三者に識別されることを防ぐために非表示とされている。

※ 「小計」欄は網掛けの掛かった数値(10.0未満)を含めずに計算されているため、本来の合計数と一致しない。
「充足率」及び「伸び率」の「小計」欄を見るときには注意が必要。

疾病別の医療需要及び必要病床数（10）内分泌・栄養・代謝に関する疾患

< 厚生労働省の必要病床数推計ツールによる推計（東部、中部、南部、豊肥はパターンB、西部、北部はパターンC（特例）を適用した場合） >

	医療機能	2013年の医療需要	2025年の医療需要 (医療機関所在地)	2025年の医療需要 (患者住所地)	2013年の必要病床数	2025年の必要病床数 (医療機関所在地)	2025年の必要病床数 (患者住所地)	(充足率) Y / Z	(伸び率) B / A
		(人/日) A	(人/日) B	(人/日) C	(床) X	(床) Y	(床) Z		
東部	高度急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	急性期	28.1	26.2	15.7	36.0	33.5	20.1	166.7%	93.1%
	回復期	21.0	20.6	16.7	23.4	22.8	18.6	122.9%	97.8%
	慢性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	在宅医療等 (再掲)うち訪問診療分	32.7	31.2	18.1					95.5%
	小計	81.8	77.9	50.5	59.4	56.4	38.7	145.7%	95.3%
中部	高度急性期	0.0	10.0	0.0	0.0	13.4	0.0		
	急性期	39.3	42.1	38.6	50.3	53.9	49.5	108.9%	107.1%
	回復期	37.6	42.2	38.6	41.8	46.9	42.9	109.4%	112.3%
	慢性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	在宅医療等 (再掲)うち訪問診療分	36.7	45.0	46.0					122.5%
	小計	113.6	139.3	123.2	92.1	114.2	92.4	123.6%	122.6%
南部	高度急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	回復期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	慢性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	在宅医療等 (再掲)うち訪問診療分	0.0	0.0	0.0					
	小計	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
豊肥	高度急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	回復期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	慢性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	在宅医療等 (再掲)うち訪問診療分	0.0	0.0	0.0					
	小計	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
西部	高度急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	回復期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	慢性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	在宅医療等 (再掲)うち訪問診療分	0.0	0.0	0.0					
	小計	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
北部	高度急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	急性期	11.9	11.7	12.0	15.2	15.0	15.4	97.6%	98.8%
	回復期	12.9	13.1	13.3	14.3	14.6	14.7	99.0%	102.1%
	慢性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	在宅医療等 (再掲)うち訪問診療分	0.0	0.0	11.4					
	小計	24.7	24.9	36.6	29.5	29.6	30.1	98.3%	100.5%
県計	高度急性期	0.0	10.0	0.0	0.0	13.4	0.0		
	急性期	79.2	79.9	66.3	101.6	102.5	85.0	120.5%	100.9%
	回復期	71.5	75.9	68.6	79.5	84.4	76.2	110.7%	106.2%
	慢性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	在宅医療等 (再掲)うち訪問診療分	69.4	76.2	75.5					109.8%
	小計	220.1	242.1	210.4	181.0	200.2	161.2	124.2%	110.0%

< 凡例 >

- A …… 2013年度の医療需要実績（医療機関所在地ベース）
- B …… 2025年度の推計人口で算出した医療需要（現行の流出入により算定した、医療機関所在地ベース）
- C …… 2025年度の推計人口で算出した医療需要（現行の流出入を算定しない、患者住所地ベース）
- X …… 2013年度の医療需要実績から、病床稼働率(※)により割り戻した必要病床数
- Y …… 2025年度の医療需要(医療機関ベース)から病床稼働率(※)により割り戻した必要病床数
- Z …… 2025年度の医療需要(患者住所地ベース)から、病床稼働率(※)により割り戻した必要病床数

※ 病床稼働率 高度急性期：75%、急性期：78%、回復期：90%、慢性期：92%

※ 数値が「0.0」のうち、網掛けがかかっているものは、実際には10.0未満の数値があるが、特定の個人が第三者に識別されることを防ぐために非表示とされている。

※ 「小計」欄は網掛けの掛かった数値(10.0未満)を含めずに計算されているため、本来の合計数と一致しない。
「充足率」及び「伸び率」の「小計」欄を見るときには注意が必要。

疾病別の医療需要及び必要病床数（11）MDC11 腎・尿路系疾患及び男性生殖器系疾患

< 厚生労働省の必要病床数推計ツールによる推計（東部、中部、南部、豊肥はパターンB、西部、北部はパターンC（特例）を適用した場合） >

医療機能	2013年の 医療需要 (人/日)	2025年の 医療需要 (医療機関 所在地) (人/日)	2025年の 医療需要 (患者住所地) (人/日)	2013年の 必要病床数 (床)	2025年の 必要病床数 (医療機関 所在地) (床)	2025年の 必要病床数 (患者住所地) (床)	(充足率)	(伸び率)	
	A	B	C	X	Y	Z	Y / Z	B / A	
東 部	高度急性期	16.1	16.5	14.3	21.4	22.0	19.1	115.1%	102.8%
	急性期	40.2	41.7	37.5	51.6	53.4	48.0	111.2%	103.5%
	回復期	37.6	39.9	36.5	41.8	44.4	40.5	109.5%	106.1%
	慢性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	在宅医療等 (再掲)うち訪問診療分	28.1	30.0	27.6					106.5%
		0.0	0.0	0.0					
	小計	122.0	128.0	115.8	114.8	119.8	107.7	111.2%	104.9%
中 部	高度急性期	32.6	36.6	33.2	43.4	48.8	44.3	110.1%	112.5%
	急性期	88.8	104.2	94.7	113.8	133.5	121.4	110.0%	117.4%
	回復期	70.1	83.0	74.9	77.9	92.2	83.2	110.7%	118.4%
	慢性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	在宅医療等 (再掲)うち訪問診療分	56.4	70.5	66.0					124.9%
		0.0	0.0	0.0					
	小計	247.8	294.2	268.8	235.1	274.5	248.9	110.3%	118.7%
南 部	高度急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	急性期	0.0	0.0	10.9	0.0	0.0	13.9	0.0%	
	回復期	0.0	0.0	11.9	0.0	0.0	13.2	0.0%	
	慢性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	在宅医療等 (再掲)うち訪問診療分	0.0	0.0	0.0					
		0.0	0.0	0.0					
	小計	0.0	0.0	22.7	0.0	0.0	27.1	0.0%	
豊 肥	高度急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	急性期	0.0	0.0	12.3	0.0	0.0	15.8	0.0%	
	回復期	0.0	0.0	11.6	0.0	0.0	12.9	0.0%	
	慢性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	在宅医療等 (再掲)うち訪問診療分	0.0	0.0	0.0					
		0.0	0.0	0.0					
	小計	0.0	0.0	24.0	0.0	0.0	28.7	0.0%	
西 部	高度急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	急性期	0.0	0.0	11.6	0.0	0.0	14.9	0.0%	
	回復期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	慢性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	在宅医療等 (再掲)うち訪問診療分	0.0	10.2	11.3					
		0.0	0.0	0.0					
	小計	0.0	10.2	22.9	0.0	0.0	14.9	0.0%	
北 部	高度急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	急性期	22.6	23.7	25.5	29.0	30.4	32.6	93.2%	104.9%
	回復期	21.2	22.6	22.6	23.5	25.1	25.1	100.0%	106.7%
	慢性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	在宅医療等 (再掲)うち訪問診療分	27.5	28.6	27.2					104.0%
		0.0	0.0	0.0					
	小計	71.3	74.9	75.3	52.5	55.5	57.7	96.2%	105.1%
県 計	高度急性期	48.6	53.1	47.6	64.8	70.8	63.5	111.6%	109.3%
	急性期	151.6	169.5	192.4	194.4	217.4	246.6	88.1%	111.8%
	回復期	128.9	145.5	157.5	143.2	161.6	175.0	92.4%	112.9%
	慢性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	在宅医療等 (再掲)うち訪問診療分	112.1	139.2	132.1					124.3%
		0.0	0.0	0.0					
	小計	441.2	507.4	529.5	402.4	449.8	485.1	92.7%	115.0%

< 凡例 >

- A …… 2013年度の医療需要実績（医療機関所在地ベース）
- B …… 2025年度の推計人口で算出した医療需要（現行の流出入により算定した、医療機関所在地ベース）
- C …… 2025年度の推計人口で算出した医療需要（現行の流出入を算定しない、患者住所地ベース）
- X …… 2013年度の医療需要実績から、病床稼働率(※)により割り戻した必要病床数
- Y …… 2025年度の医療需要(医療機関ベース)から病床稼働率(※)により割り戻した必要病床数
- Z …… 2025年度の医療需要(患者住所地ベース)から、病床稼働率(※)により割り戻した必要病床数

※ 病床稼働率 高度急性期：75%、急性期：78%、回復期：90%、慢性期：92%

※ 数値が「0.0」のうち、網掛けがかかっているものは、実際には10.0未満の数値があるが、特定の個人が第三者に識別されることを防ぐために非表示とされている。

※ 「小計」欄は網掛けの掛かった数値(10.0未満)を含めずに計算されているため、本来の合計数と一致しない。
「充足率」及び「伸び率」の「小計」欄を見るときには注意が必要。

疾病別の医療需要及び必要病床数(12)MDC12 女性生殖器系疾患及び産褥期疾患・異常妊娠分娩

< 厚生労働省の必要病床数推計ツールによる推計(東部、中部、南部、豊肥はパターンB、西部、北部はパターンC(特例)を適用した場合) >

	医療機能	2013年の	2025年の	2025年の	2013年の	2025年の	2025年の	(充足率)	(伸び率)
		医療需要 (人/日)	医療需要 (医療機関 所在地) (人/日)	医療需要 (患者住所地) (人/日)	必要病床数 (床)	必要病床数 (医療機関 所在地) (床)	必要病床数 (患者住所地) (床)		
		A	B	C	X	Y	Z	Y / Z	B / A
東 部	高度急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	急性期	27.3	26.2	28.6	34.9	33.6	36.6	91.9%	96.2%
	回復期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	慢性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	在宅医療等 (再掲)うち訪問診療分	0.0	0.0	0.0					
	小計	27.3	26.2	28.6	34.9	33.6	36.6	91.9%	96.2%
中 部	高度急性期	20.1	17.1	13.0	26.8	22.8	17.4	131.1%	84.8%
	急性期	110.1	104.3	94.5	141.1	133.7	121.2	110.3%	94.7%
	回復期	37.3	31.7	23.1	41.4	35.3	25.7	137.4%	85.1%
	慢性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	在宅医療等 (再掲)うち訪問診療分	24.8	20.7	16.5					83.7%
	小計	192.3	173.8	147.1	209.4	191.7	164.2	116.8%	90.4%
南 部	高度急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	回復期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	慢性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	在宅医療等 (再掲)うち訪問診療分	0.0	0.0	0.0					
	小計	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
豊 肥	高度急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	回復期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	慢性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	在宅医療等 (再掲)うち訪問診療分	0.0	0.0	0.0					
	小計	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
西 部	高度急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	急性期	10.2	0.0	11.4	13.1	0.0	14.6	0.0%	0.0%
	回復期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	慢性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	在宅医療等 (再掲)うち訪問診療分	0.0	0.0	0.0					
	小計	10.2	0.0	11.4	13.1	0.0	14.6	0.0%	0.0%
北 部	高度急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	急性期	26.0	24.7	26.0	33.3	31.7	33.4	95.1%	95.1%
	回復期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	慢性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	在宅医療等 (再掲)うち訪問診療分	0.0	0.0	0.0					
	小計	26.0	24.7	26.0	33.3	31.7	33.4	95.1%	95.1%
県 計	高度急性期	20.1	17.1	13.0	26.8	22.8	17.4	131.1%	84.8%
	急性期	173.6	155.2	160.5	222.5	199.0	205.7	96.7%	89.4%
	回復期	37.3	31.7	23.1	41.4	35.3	25.7	137.4%	85.1%
	慢性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	在宅医療等 (再掲)うち訪問診療分	24.8	20.7	16.5					83.7%
	小計	255.8	224.8	213.1	290.8	257.1	248.8	103.3%	87.9%

< 凡例 >

- A …… 2013年度の医療需要実績 (医療機関所在地ベース)
- B …… 2025年度の推計人口で算出した医療需要(現行の流出入により算定した、医療機関所在地ベース)
- C …… 2025年度の推計人口で算出した医療需要(現行の流出入を算定しない、患者住所地ベース)
- X …… 2013年度の医療需要実績から、病床稼働率(※)により割り戻した必要病床数
- Y …… 2025年度の医療需要(医療機関ベース)から病床稼働率(※)により割り戻した必要病床数
- Z …… 2025年度の医療需要(患者住所地ベース)から、病床稼働率(※)により割り戻した必要病床数

※ 病床稼働率 高度急性期：75%、急性期：78%、回復期：90%、慢性期：92%

※ 数値が「0.0」のうち、網掛けがかかっているものは、実際には10.0未満の数値があるが、特定の個人が第三者に識別されることを防ぐために非表示とされている。

※ 「小計」欄は網掛けの掛かった数値(10.0未満)を含めずに計算されているため、本来の合計数と一致しない。
「充足率」及び「伸び率」の「小計」欄を見るときには注意が必要。

疾病別の医療需要及び必要病床数 (13)MDC13 血液・造血器・免疫臓器の疾患

< 厚生労働省の必要病床数推計ツールによる推計(東部、中部、南部、豊肥はパターンB、西部、北部はパターンC(特例)を適用した場合) >

	医療機能	2013年の医療需要	2025年の医療需要(医療機関所在地)	2025年の医療需要(患者住所地)	2013年の必要病床数	2025年の必要病床数(医療機関所在地)	2025年の必要病床数(患者住所地)	(充足率) Y/Z	(伸び率) B/A
		(人/日) A	(人/日) B	(人/日) C	(床) X	(床) Y	(床) Z		
東部	高度急性期	15.9	15.9	12.9	21.2	21.1	17.2	123.1%	99.6%
	急性期	25.6	26.4	21.8	32.8	33.9	27.9	121.3%	103.3%
	回復期	18.1	19.4	15.8	20.1	21.6	17.5	123.1%	107.4%
	慢性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	在宅医療等	0.0	10.2	0.0					
	(再掲)うち訪問診療分	0.0	0.0	0.0					
	小計	59.6	71.9	50.5	74.1	76.6	62.7	122.3%	120.7%
中部	高度急性期	36.9	36.3	29.3	49.2	48.4	39.1	123.6%	98.3%
	急性期	44.2	48.6	40.3	56.7	62.3	51.6	120.7%	109.9%
	回復期	26.1	30.1	25.7	29.0	33.5	28.6	117.1%	115.5%
	慢性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	在宅医療等	13.9	16.5	14.9					118.6%
	(再掲)うち訪問診療分	0.0	0.0	0.0					
	小計	121.1	131.5	110.2	134.9	144.2	119.3	120.8%	108.6%
南部	高度急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	回復期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	慢性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	在宅医療等	0.0	0.0	0.0					
	(再掲)うち訪問診療分	0.0	0.0	0.0					
	小計	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
豊肥	高度急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	回復期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	慢性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	在宅医療等	0.0	0.0	0.0					
	(再掲)うち訪問診療分	0.0	0.0	0.0					
	小計	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
西部	高度急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	回復期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	慢性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	在宅医療等	0.0	0.0	0.0					
	(再掲)うち訪問診療分	0.0	0.0	0.0					
	小計	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
北部	高度急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	急性期	0.0	0.0	13.1	0.0	0.0	16.9	0.0%	
	回復期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	慢性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	在宅医療等	0.0	0.0	0.0					
	(再掲)うち訪問診療分	0.0	0.0	0.0					
	小計	0.0	0.0	13.1	0.0	0.0	16.9	0.0%	
県計	高度急性期	52.8	52.1	42.2	70.4	69.5	56.3	123.5%	98.7%
	急性期	69.8	75.1	75.2	89.5	96.2	96.4	99.8%	107.5%
	回復期	44.2	49.5	41.5	49.1	55.0	46.1	119.4%	112.2%
	慢性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	在宅医療等	13.9	26.7	14.9					192.0%
	(再掲)うち訪問診療分	0.0	0.0	0.0					
	小計	180.7	203.5	173.8	209.0	220.8	198.8	111.0%	112.6%

< 凡例 >

- A …… 2013年度の医療需要実績 (医療機関所在地ベース)
- B …… 2025年度の推計人口で算出した医療需要(現行の流出入により算定した、医療機関所在地ベース)
- C …… 2025年度の推計人口で算出した医療需要(現行の流出入を算定しない、患者住所地ベース)
- X …… 2013年度の医療需要実績から、病床稼働率(※)により割り戻した必要病床数
- Y …… 2025年度の医療需要(医療機関ベース)から病床稼働率(※)により割り戻した必要病床数
- Z …… 2025年度の医療需要(患者住所地ベース)から、病床稼働率(※)により割り戻した必要病床数

※ 病床稼働率 高度急性期：75%、急性期：78%、回復期：90%、慢性期：92%

※ 数値が「0.0」のうち、網掛けがかかっているものは、実際には10.0未満の数値があるが、特定の個人が第三者に識別されることを防ぐために非表示とされている。

※ 「小計」欄は網掛けの掛かった数値(10.0未満)を含めずに計算されているため、本来の合計数と一致しない。
「充足率」及び「伸び率」の「小計」欄を見るときには注意が必要。

疾病別の医療需要及び必要病床数 (14)MDC14 新生児疾患、先天性奇形

< 厚生労働省の必要病床数推計ツールによる推計(東部、中部、南部、豊肥はパターンB、西部、北部はパターンC(特例)を適用した場合) >

	医療機能	2013年の医療需要	2025年の医療需要(医療機関所在地)	2025年の医療需要(患者住所地)	2013年の必要病床数	2025年の必要病床数(医療機関所在地)	2025年の必要病床数(患者住所地)	(充足率) Y / Z	(伸び率) B / A
		(人/日) A	(人/日) B	(人/日) C	(床) X	(床) Y	(床) Z		
東部	高度急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	回復期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	慢性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	在宅医療等	0.0	0.0	0.0					
	(再掲)うち訪問診療分	0.0	0.0	0.0					
	小計	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
中部	高度急性期	17.6	13.3	11.4	23.4	17.8	15.1	117.3%	75.7%
	急性期	15.5	12.0	0.0	19.9	15.4	0.0		77.2%
	回復期	10.6	0.0	0.0	11.8	0.0	0.0		0.0%
	慢性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	在宅医療等	0.0	0.0	0.0					
	(再掲)うち訪問診療分	0.0	0.0	0.0					
	小計	43.7	25.3	11.4	55.1	33.2	15.1	218.9%	57.9%
南部	高度急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	回復期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	慢性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	在宅医療等	0.0	0.0	0.0					
	(再掲)うち訪問診療分	0.0	0.0	0.0					
	小計	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
豊肥	高度急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	回復期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	慢性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	在宅医療等	0.0	0.0	0.0					
	(再掲)うち訪問診療分	0.0	0.0	0.0					
	小計	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
西部	高度急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	回復期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	慢性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	在宅医療等	0.0	0.0	0.0					
	(再掲)うち訪問診療分	0.0	0.0	0.0					
	小計	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
北部	高度急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	回復期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	慢性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	在宅医療等	0.0	0.0	0.0					
	(再掲)うち訪問診療分	0.0	0.0	0.0					
	小計	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
県計	高度急性期	17.6	13.3	11.4	23.4	17.8	15.1	117.3%	75.7%
	急性期	15.5	12.0	0.0	19.9	15.4	0.0		77.2%
	回復期	10.6	0.0	0.0	11.8	0.0	0.0		0.0%
	慢性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	在宅医療等	0.0	0.0	0.0					
	(再掲)うち訪問診療分	0.0	0.0	0.0					
	小計	43.7	25.3	11.4	55.1	33.2	15.1	218.9%	57.9%

< 凡例 >

- A …… 2013年度の医療需要実績 (医療機関所在地ベース)
- B …… 2025年度の推計人口で算出した医療需要(現行の流出入により算定した、医療機関所在地ベース)
- C …… 2025年度の推計人口で算出した医療需要(現行の流出入を算定しない、患者住所地ベース)
- X …… 2013年度の医療需要実績から、病床稼働率(※)により割り戻した必要病床数
- Y …… 2025年度の医療需要(医療機関ベース)から病床稼働率(※)により割り戻した必要病床数
- Z …… 2025年度の医療需要(患者住所地ベース)から、病床稼働率(※)により割り戻した必要病床数

※ 病床稼働率 高度急性期 : 75%、急性期 : 78%、回復期 : 90%、慢性期 : 92%

※ 数値が「0.0」のうち、網掛けがかかっているものは、実際には10.0未満の数値があるが、特定の個人が第三者に識別されることを防ぐために非表示とされている。

※ 「小計」欄は網掛けの掛かった数値(10.0未満)を含めずに計算されているため、本来の合計数と一致しない。
「充足率」及び「伸び率」の「小計」欄を見るときには注意が必要。

疾病別の医療需要及び必要病床数（15）MDC15 小児疾患

< 厚生労働省の必要病床数推計ツールによる推計（東部、中部、南部、豊肥はパターンB、西部、北部はパターンC（特例）を適用した場合） >

	医療機能	2013年の	2025年の	2025年の	2013年の	2025年の	2025年の	(充足率)	(伸び率)
		医療需要 (人/日)	医療需要 (医療機関 所在地) (人/日)	医療需要 (患者住所地) (人/日)	必要病床数 (床)	必要病床数 (医療機関 所在地) (床)	必要病床数 (患者住所地) (床)		
		A	B	C	X	Y	Z	Y / Z	B / A
東 部	高度急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	回復期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	慢性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	在宅医療等 (再掲)うち訪問診療分	0.0	0.0	0.0					
	小計	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
中 部	高度急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	急性期	12.0	12.2	11.0	15.4	15.7	14.1	110.8%	101.5%
	回復期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	慢性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	在宅医療等 (再掲)うち訪問診療分	0.0	0.0	0.0					
	小計	12.0	12.2	11.0	15.4	15.7	14.1	110.8%	101.5%
南 部	高度急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	回復期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	慢性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	在宅医療等 (再掲)うち訪問診療分	0.0	0.0	0.0					
	小計	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
豊 肥	高度急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	回復期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	慢性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	在宅医療等 (再掲)うち訪問診療分	0.0	0.0	0.0					
	小計	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
西 部	高度急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	回復期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	慢性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	在宅医療等 (再掲)うち訪問診療分	0.0	0.0	0.0					
	小計	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
北 部	高度急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	回復期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	慢性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	在宅医療等 (再掲)うち訪問診療分	0.0	0.0	0.0					
	小計	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
県 計	高度急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	急性期	12.0	12.2	11.0	15.4	15.7	14.1	110.8%	101.5%
	回復期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	慢性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	在宅医療等 (再掲)うち訪問診療分	0.0	0.0	0.0					
	小計	12.0	12.2	11.0	15.4	15.7	14.1	110.8%	101.5%

< 凡例 >

- A …… 2013年度の医療需要実績（医療機関所在地ベース）
- B …… 2025年度の推計人口で算出した医療需要（現行の流出入により算定した、医療機関所在地ベース）
- C …… 2025年度の推計人口で算出した医療需要（現行の流出入を算定しない、患者住所地ベース）
- X …… 2013年度の医療需要実績から、病床稼働率(※)により割り戻した必要病床数
- Y …… 2025年度の医療需要（医療機関ベース）から病床稼働率(※)により割り戻した必要病床数
- Z …… 2025年度の医療需要（患者住所地ベース）から、病床稼働率(※)により割り戻した必要病床数

※ 病床稼働率 高度急性期：75%、急性期：78%、回復期：90%、慢性期：92%

※ 数値が「0.0」のうち、網掛けがかかっているものは、実際には10.0未満の数値があるが、特定の個人が第三者に識別されることを防ぐために非表示とされている。

※ 「小計」欄は網掛けの掛かった数値(10.0未満)を含めずに計算されているため、本来の合計数と一致しない。
「充足率」及び「伸び率」の「小計」欄を見るときには注意が必要。

疾病別の医療需要及び必要病床数 (16)MDC16 外傷・熱傷・中毒

< 厚生労働省の必要病床数推計ツールによる推計(東部、中部、南部、豊肥はパターンB、西部、北部はパターンC(特例)を適用した場合) >

医療機能	2013年の医療需要	2025年の医療需要(医療機関所在地)	2025年の医療需要(患者住所地)	2013年の必要病床数	2025年の必要病床数(医療機関所在地)	2025年の必要病床数(患者住所地)	(充足率)	(伸び率)	
	(人/日) A	(人/日) B	(人/日) C	(床) X	(床) Y	(床) Z	Y/Z	B/A	
東部	高度急性期	12.7	13.3	13.0	16.9	17.8	17.4	102.5%	105.5%
	急性期	90.4	98.4	95.0	115.9	126.1	121.8	103.5%	108.8%
	回復期	99.6	110.0	105.5	110.7	122.2	117.2	104.2%	110.4%
	慢性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	在宅医療等	43.1	47.2	43.9					109.4%
	(再掲)うち訪問診療分	0.0	0.0	0.0					
	小計	245.8	268.8	257.5	243.5	266.1	256.4	103.8%	109.3%
中部	高度急性期	33.8	39.2	33.3	45.0	52.3	44.3	118.0%	116.2%
	急性期	190.4	239.1	218.9	244.0	306.5	280.7	109.2%	125.6%
	回復期	177.4	225.4	212.1	197.1	250.4	235.6	106.3%	127.1%
	慢性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	在宅医療等	75.6	96.4	93.9					127.5%
	(再掲)うち訪問診療分	0.0	0.0	0.0					
	小計	477.1	600.1	558.1	486.2	609.3	560.6	108.7%	125.8%
南部	高度急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	急性期	26.9	29.3	31.0	34.4	37.6	39.7	94.7%	109.2%
	回復期	34.7	37.3	37.6	38.5	41.4	41.8	99.1%	107.6%
	慢性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	在宅医療等	13.4	14.3	14.4					106.9%
	(再掲)うち訪問診療分	0.0	0.0	0.0					
	小計	74.9	80.9	83.0	72.9	79.0	81.5	97.0%	108.0%
豊肥	高度急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	急性期	23.3	23.0	32.7	29.9	29.5	42.0	70.3%	98.8%
	回復期	30.7	30.7	35.9	34.1	34.2	39.9	85.6%	100.1%
	慢性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	在宅医療等	14.3	14.1	15.7					98.2%
	(再掲)うち訪問診療分	0.0	0.0	0.0					
	小計	68.3	67.9	84.4	64.0	63.7	81.9	77.7%	99.3%
西部	高度急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	急性期	26.5	27.2	33.8	34.0	34.8	43.3	80.3%	102.3%
	回復期	38.8	40.2	43.7	43.1	44.7	48.6	92.1%	103.6%
	慢性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	在宅医療等	20.0	20.8	20.9					103.7%
	(再掲)うち訪問診療分	0.0	0.0	0.0					
	小計	85.4	88.2	98.4	77.2	79.5	91.9	86.5%	103.2%
北部	高度急性期	0.0	10.0	10.6	0.0	13.3	14.1	94.6%	
	急性期	84.8	87.5	77.3	108.8	112.1	99.0	113.2%	103.1%
	回復期	51.4	54.1	55.4	57.1	60.1	61.5	97.8%	105.2%
	慢性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	在宅医療等	30.0	31.6	31.9					105.5%
	(再掲)うち訪問診療分	0.0	0.0	0.0					
	小計	166.2	183.2	175.1	165.9	185.6	174.7	106.3%	110.2%
県計	高度急性期	46.4	62.6	56.9	61.9	83.5	75.8	110.1%	134.8%
	急性期	442.3	504.4	488.7	567.0	646.7	626.6	103.2%	114.0%
	回復期	432.7	497.7	490.2	480.7	553.0	544.7	101.5%	115.0%
	慢性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	在宅医療等	196.5	224.3	220.7					114.2%
	(再掲)うち訪問診療分	0.0	0.0	0.0					
	小計	1,117.8	1,289.1	1,256.5	1,109.6	1,283.2	1,247.1	102.9%	115.3%

< 凡例 >

- A …… 2013年度の医療需要実績 (医療機関所在地ベース)
- B …… 2025年度の推計人口で算出した医療需要(現行の流出入により算定した、医療機関所在地ベース)
- C …… 2025年度の推計人口で算出した医療需要(現行の流出入を算定しない、患者住所地ベース)
- X …… 2013年度の医療需要実績から、病床稼働率(※)により割り戻した必要病床数
- Y …… 2025年度の医療需要(医療機関ベース)から病床稼働率(※)により割り戻した必要病床数
- Z …… 2025年度の医療需要(患者住所地ベース)から、病床稼働率(※)により割り戻した必要病床数

※ 病床稼働率 高度急性期：75%、急性期：78%、回復期：90%、慢性期：92%

※ 数値が「0.0」のうち、網掛けがかかっているものは、実際には10.0未満の数値があるが、特定の個人が第三者に識別されることを防ぐために非表示とされている。

※ 「小計」欄は網掛けの掛かった数値(10.0未満)を含めずに計算されているため、本来の合計数と一致しない。
「充足率」及び「伸び率」の「小計」欄を見るときには注意が必要。

疾病別の医療需要及び必要病床数（17）MDC17 精神疾患

< 厚生労働省の必要病床数推計ツールによる推計（東部、中部、南部、豊肥はパターンB、西部、北部はパターンC（特例）を適用した場合） >

	医療機能	2013年の	2025年の	2025年の	2013年の	2025年の	2025年の	(充足率)	(伸び率)
		医療需要 (人/日)	医療需要 (医療機関 所在地) (人/日)	医療需要 (患者住所地) (人/日)	必要病床数 (床)	必要病床数 (医療機関 所在地) (床)	必要病床数 (患者住所地) (床)		
		A	B	C	X	Y	Z	Y / Z	B / A
東部	高度急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	回復期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	慢性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	在宅医療等	0.0	0.0	0.0					
	(再掲)うち訪問診療分	0.0	0.0	0.0					
	小計	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
中部	高度急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	回復期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	慢性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	在宅医療等	0.0	0.0	0.0					
	(再掲)うち訪問診療分	0.0	0.0	0.0					
	小計	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
南部	高度急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	回復期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	慢性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	在宅医療等	0.0	0.0	0.0					
	(再掲)うち訪問診療分	0.0	0.0	0.0					
	小計	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
豊肥	高度急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	回復期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	慢性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	在宅医療等	0.0	0.0	0.0					
	(再掲)うち訪問診療分	0.0	0.0	0.0					
	小計	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
西部	高度急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	回復期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	慢性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	在宅医療等	0.0	0.0	0.0					
	(再掲)うち訪問診療分	0.0	0.0	0.0					
	小計	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
北部	高度急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	回復期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	慢性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	在宅医療等	0.0	0.0	0.0					
	(再掲)うち訪問診療分	0.0	0.0	0.0					
	小計	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
県計	高度急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	回復期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	慢性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	在宅医療等	0.0	0.0	0.0					
	(再掲)うち訪問診療分	0.0	0.0	0.0					
	小計	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

< 凡例 >

- A …… 2013年度の医療需要実績（医療機関所在地ベース）
- B …… 2025年度の推計人口で算出した医療需要（現行の流出入により算定した、医療機関所在地ベース）
- C …… 2025年度の推計人口で算出した医療需要（現行の流出入を算定しない、患者住所地ベース）
- X …… 2013年度の医療需要実績から、病床稼働率(※)により割り戻した必要病床数
- Y …… 2025年度の医療需要（医療機関ベース）から病床稼働率(※)により割り戻した必要病床数
- Z …… 2025年度の医療需要（患者住所地ベース）から、病床稼働率(※)により割り戻した必要病床数

※ 病床稼働率 高度急性期：75%、急性期：78%、回復期：90%、慢性期：92%

※ 数値が「0.0」のうち、網掛けがかかっているものは、実際には10.0未満の数値があるが、特定の個人が第三者に識別されることを防ぐために非表示とされている。

※ 「小計」欄は網掛けの掛かった数値(10.0未満)を含めずに計算されているため、本来の合計数と一致しない。
「充足率」及び「伸び率」の「小計」欄を見るときには注意が必要。

疾病別の医療需要及び必要病床数 (18)MDC18 その他の疾患

< 厚生労働省の必要病床数推計ツールによる推計(東部、中部、南部、豊肥はパターンB、西部、北部はパターンC(特例)を適用した場合) >

	医療機能	2013年の	2025年の	2025年の	2013年の	2025年の	2025年の	(充足率)	(伸び率)
		医療需要 (人/日)	医療需要 (医療機関 所在地) (人/日)	医療需要 (患者住所地) (人/日)	必要病床数 (床)	必要病床数 (医療機関 所在地) (床)	必要病床数 (患者住所地) (床)		
		A	B	C	X	Y	Z	Y / Z	B / A
東 部	高度急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	急性期	13.8	14.5	13.7	17.6	18.7	17.5	106.5%	105.7%
	回復期	0.0	10.4	0.0	0.0	11.5	0.0		
	慢性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	在宅医療等 (再掲)うち訪問診療分	0.0	0.0	0.0					
	小計	13.8	24.9	13.7	17.6	30.2	17.5	172.2%	181.0%
中 部	高度急性期	12.9	14.5	12.0	17.3	19.3	16.0	120.9%	111.9%
	急性期	25.2	29.8	25.6	32.3	38.2	32.8	116.3%	118.3%
	回復期	17.0	21.0	19.5	18.9	23.3	21.7	107.7%	123.6%
	慢性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	在宅医療等 (再掲)うち訪問診療分	0.0	0.0	0.0					
	小計	55.1	65.3	57.1	68.4	80.8	70.4	114.7%	118.4%
南 部	高度急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	回復期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	慢性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	在宅医療等 (再掲)うち訪問診療分	0.0	0.0	0.0					
	小計	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
豊 肥	高度急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	回復期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	慢性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	在宅医療等 (再掲)うち訪問診療分	0.0	0.0	0.0					
	小計	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
西 部	高度急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	回復期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	慢性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	在宅医療等 (再掲)うち訪問診療分	0.0	0.0	0.0					
	小計	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
北 部	高度急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	回復期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	慢性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	在宅医療等 (再掲)うち訪問診療分	0.0	0.0	0.0					
	小計	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
県 計	高度急性期	12.9	14.5	12.0	17.3	19.3	16.0	120.9%	111.9%
	急性期	38.9	44.3	39.3	49.9	56.8	50.3	112.9%	113.8%
	回復期	17.0	31.4	19.5	18.9	34.8	21.7	160.9%	184.5%
	慢性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	在宅医療等 (再掲)うち訪問診療分	0.0	0.0	0.0					
	小計	68.9	90.2	70.7	86.1	111.0	88.0	126.2%	130.9%

< 凡例 >

- A …… 2013年度の医療需要実績 (医療機関所在地ベース)
- B …… 2025年度の推計人口で算出した医療需要(現行の流出入により算定した、医療機関所在地ベース)
- C …… 2025年度の推計人口で算出した医療需要(現行の流出入を算定しない、患者住所地ベース)
- X …… 2013年度の医療需要実績から、病床稼働率(※)により割り戻した必要病床数
- Y …… 2025年度の医療需要(医療機関ベース)から病床稼働率(※)により割り戻した必要病床数
- Z …… 2025年度の医療需要(患者住所地ベース)から、病床稼働率(※)により割り戻した必要病床数

※ 病床稼働率 高度急性期 : 75%、急性期 : 78%、回復期 : 90%、慢性期 : 92%

※ 数値が「0.0」のうち、網掛けがかかっているものは、実際には10.0未満の数値があるが、特定の個人が第三者に識別されることを防ぐために非表示とされている。

※ 「小計」欄は網掛けの掛かった数値(10.0未満)を含めずに計算されているため、本来の合計数と一致しない。
「充足率」及び「伸び率」の「小計」欄を見るときには注意が必要。

疾病別の医療需要及び必要病床数（19）その他のMDC分類できない疾患

< 厚生労働省の必要病床数推計ツールによる推計（東部、中部、南部、豊肥はパターンB、西部、北部はパターンC（特例）を適用した場合） >

	医療機能	2013年の	2025年の	2025年の	2013年の	2025年の	2025年の	(充足率)	(伸び率)
		医療需要 (人/日)	医療需要 (医療機関 所在地) (人/日)	医療需要 (患者住所地) (人/日)	必要病床数 (床)	必要病床数 (医療機関 所在地) (床)	必要病床数 (患者住所地) (床)		
		A	B	C	X	Y	Z	Y / Z	B / A
東 部	高度急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	急性期	26.3	29.1	27.6	33.8	37.3	35.3	105.5%	110.4%
	回復期	31.3	34.9	32.9	34.7	38.7	36.6	105.9%	111.6%
	慢性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	在宅医療等 (再掲)うち訪問診療分	18.1	20.0	18.6					110.3%
	小計	75.7	83.9	79.1	68.5	76.0	71.9	105.7%	110.9%
中 部	高度急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	急性期	36.0	44.7	40.9	46.1	57.3	52.5	109.1%	124.2%
	回復期	44.8	57.0	51.3	49.8	63.3	57.1	111.0%	127.1%
	慢性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	在宅医療等 (再掲)うち訪問診療分	35.4	44.4	41.4					125.4%
	小計	116.2	146.1	133.7	95.9	120.6	109.6	110.1%	125.7%
南 部	高度急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	回復期	0.0	10.1	10.8	0.0	11.3	12.0	93.8%	
	慢性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	在宅医療等 (再掲)うち訪問診療分	0.0	0.0	0.0					
	小計	0.0	10.1	10.8	0.0	11.3	12.0	93.8%	
豊 肥	高度急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	回復期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	慢性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	在宅医療等 (再掲)うち訪問診療分	0.0	0.0	0.0					
	小計	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
西 部	高度急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	回復期	13.8	14.7	15.7	15.3	16.3	17.5	93.5%	106.5%
	慢性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	在宅医療等 (再掲)うち訪問診療分	10.3	10.6	10.6					103.8%
	小計	24.1	25.3	26.3	15.3	16.3	17.5	93.5%	105.3%
北 部	高度急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	急性期	11.0	11.6	11.0	14.1	14.8	14.2	104.6%	104.9%
	回復期	21.1	21.8	20.5	23.4	24.2	22.8	106.1%	103.4%
	慢性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	在宅医療等 (再掲)うち訪問診療分	10.3	11.1	11.3					107.0%
	小計	42.4	44.4	42.9	37.5	39.0	37.0	105.5%	104.7%
県 計	高度急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	急性期	73.3	85.3	79.6	94.0	109.4	102.0	107.2%	116.4%
	回復期	111.0	138.5	131.4	123.3	153.9	146.0	105.4%	124.8%
	慢性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	在宅医療等 (再掲)うち訪問診療分	74.1	86.1	81.9					116.1%
	小計	258.4	309.9	292.8	217.3	263.3	248.0	106.2%	119.9%

< 凡例 >

- A …… 2013年度の医療需要実績（医療機関所在地ベース）
- B …… 2025年度の推計人口で算出した医療需要（現行の流出入により算定した、医療機関所在地ベース）
- C …… 2025年度の推計人口で算出した医療需要（現行の流出入を算定しない、患者住所地ベース）
- X …… 2013年度の医療需要実績から、病床稼働率(※)により割り戻した必要病床数
- Y …… 2025年度の医療需要（医療機関ベース）から病床稼働率(※)により割り戻した必要病床数
- Z …… 2025年度の医療需要（患者住所地ベース）から、病床稼働率(※)により割り戻した必要病床数

※ 病床稼働率 高度急性期：75%、急性期：78%、回復期：90%、慢性期：92%

※ 数値が「0.0」のうち、網掛けがかかっているものは、実際には10.0未満の数値があるが、特定の個人が第三者に識別されることを防ぐために非表示とされている。

※ 「小計」欄は網掛けの掛かった数値(10.0未満)を含めずに計算されているため、本来の合計数と一致しない。
「充足率」及び「伸び率」の「小計」欄を見るときには注意が必要。

疾病別の医療需要及び必要病床数 (20)疾患分類不能なデータ

< 厚生労働省の必要病床数推計ツールによる推計(東部、中部、南部、豊肥はパターンB、西部、北部はパターンC(特例)を適用した場合) >

医療機能	2013年の医療需要	2025年の医療需要(医療機関所在地)	2025年の医療需要(患者住所地)	2013年の必要病床数	2025年の必要病床数(医療機関所在地)	2025年の必要病床数(患者住所地)	(充足率)	(伸び率)	
	(人/日)	(人/日)	(人/日)	(床)	(床)	(床)			
	A	B	C	X	Y	Z	Y/Z	B/A	
東部	高度急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
	急性期	81.4	91.1	87.1	104.4	116.8	104.7%	112.0%	
	回復期	120.0	135.7	130.6	133.3	150.8	103.9%	113.1%	
	慢性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
	在宅医療等	211.3	240.0	231.7				113.6%	
	(再掲)うち訪問診療分	0.0	0.0	0.0					
小計	412.7	466.9	449.4	237.6	267.6	256.8	104.2%	113.1%	
中部	高度急性期	14.5	17.7	16.5	19.3	23.6	107.3%	122.5%	
	急性期	140.9	180.3	169.9	180.7	231.1	106.1%	127.9%	
	回復期	188.0	246.6	234.5	208.9	274.0	105.2%	131.2%	
	慢性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
	在宅医療等	327.4	436.5	422.8				133.3%	
	(再掲)うち訪問診療分	0.0	0.0	0.0					
小計	670.8	881.1	843.7	408.8	528.7	500.4	105.7%	131.4%	
南部	高度急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
	急性期	35.4	39.9	37.9	45.4	51.2	105.2%	112.6%	
	回復期	47.5	52.3	51.9	52.8	58.1	100.8%	110.0%	
	慢性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
	在宅医療等	21.6	23.7	24.0				109.8%	
	(再掲)うち訪問診療分	0.0	0.0	0.0					
小計	104.6	115.9	113.8	98.3	109.3	106.3	102.8%	110.8%	
豊肥	高度急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
	急性期	33.4	32.9	37.4	42.9	42.2	88.0%	98.5%	
	回復期	42.3	42.0	47.6	47.0	46.6	88.1%	99.2%	
	慢性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
	在宅医療等	47.3	46.0	55.9				97.1%	
	(再掲)うち訪問診療分	0.0	0.0	0.0					
小計	123.0	120.9	140.9	89.8	88.8	100.9	88.1%	98.2%	
西部	高度急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
	急性期	14.3	15.4	22.6	18.3	19.7	29.0	68.0%	107.8%
	回復期	38.2	40.9	46.7	42.4	45.4	51.9	87.5%	107.2%
	慢性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	在宅医療等	33.0	35.6	37.0					108.0%
	(再掲)うち訪問診療分	0.0	0.0	0.0					
小計	85.4	91.9	106.3	60.7	65.1	80.9	80.5%	107.6%	
北部	高度急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
	急性期	41.1	43.7	44.5	52.7	56.0	57.1	98.2%	106.3%
	回復期	70.2	75.6	72.1	77.9	84.0	80.1	104.9%	107.8%
	慢性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	在宅医療等	79.1	84.9	83.4					107.4%
	(再掲)うち訪問診療分	0.0	0.0	0.0					
小計	190.3	204.3	200.0	130.7	140.1	137.2	102.1%	107.3%	
県計	高度急性期	14.5	17.7	16.5	19.3	23.6	22.0	107.3%	122.5%
	急性期	346.6	403.4	399.4	444.3	517.1	512.1	101.0%	116.4%
	回復期	506.1	593.1	583.5	562.3	659.0	648.3	101.6%	117.2%
	慢性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	在宅医療等	719.7	866.7	854.8					120.4%
	(再掲)うち訪問診療分	0.0	0.0	0.0					
小計	1,586.8	1,880.9	1,854.2	1,025.9	1,199.7	1,182.4	101.5%	118.5%	

< 凡例 >

- A …… 2013年度の医療需要実績 (医療機関所在地ベース)
- B …… 2025年度の推計人口で算出した医療需要(現行の流出入により算定した、医療機関所在地ベース)
- C …… 2025年度の推計人口で算出した医療需要(現行の流出入を算定しない、患者住所地ベース)
- X …… 2013年度の医療需要実績から、病床稼働率(※)により割り戻した必要病床数
- Y …… 2025年度の医療需要(医療機関ベース)から病床稼働率(※)により割り戻した必要病床数
- Z …… 2025年度の医療需要(患者住所地ベース)から、病床稼働率(※)により割り戻した必要病床数

※ 病床稼働率 高度急性期：75%、急性期：78%、回復期：90%、慢性期：92%

※ 数値が「0.0」のうち、網掛けがかかっているものは、実際には10.0未満の数値があるが、特定の個人が第三者に識別されることを防ぐために非表示とされている。

※ 「小計」欄は網掛けの掛かった数値(10.0未満)を含めずに計算されているため、本来の合計数と一致しない。
「充足率」及び「伸び率」の「小計」欄を見るときには注意が必要。

疾病別の医療需要及び必要病床数 (21)がん(MDC01～18 全分類)

< 厚生労働省の必要病床数推計ツールによる推計(東部、中部、南部、豊肥はパターンB、西部、北部はパターンC(特例)を適用した場合) >

医療機能	2013年の医療需要	2025年の医療需要(医療機関所在地)	2025年の医療需要(患者住所地)	2013年の必要病床数	2025年の必要病床数(医療機関所在地)	2025年の必要病床数(患者住所地)	(充足率)	(伸び率)	
	(人/日)	(人/日)	(人/日)	(床)	(床)	(床)			
	A	B	C	X	Y	Z	Y/Z	B/A	
東部	高度急性期	47.8	47.0	42.6	63.7	62.7	56.8	110.4%	98.3%
	急性期	99.9	99.0	89.3	128.1	126.9	114.5	110.8%	99.1%
	回復期	86.4	87.0	82.2	96.0	96.7	91.3	105.9%	100.7%
	慢性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	在宅医療等	67.5	66.9	52.8					99.1%
	(再掲)うち訪問診療分	0.0	0.0	0.0					
	小計	301.6	299.9	266.9	287.8	286.2	262.6	109.0%	99.4%
中部	高度急性期	117.9	124.1	99.7	157.2	165.4	133.0	124.4%	105.2%
	急性期	240.3	264.5	212.5	308.0	339.1	272.4	124.5%	110.1%
	回復期	192.2	214.2	173.3	213.5	237.9	192.6	123.6%	111.4%
	慢性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	在宅医療等	124.3	139.7	121.0					112.4%
	(再掲)うち訪問診療分	0.0	0.0	0.0					
	小計	674.6	742.3	606.5	678.7	742.4	597.9	124.2%	110.0%
南部	高度急性期	0.0	0.0	13.5	0.0	0.0	18.0	0.0%	
	急性期	18.9	19.5	30.6	24.3	25.0	39.2	63.6%	102.8%
	回復期	17.6	18.4	27.6	19.5	20.4	30.7	66.4%	104.5%
	慢性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	在宅医療等	13.2	13.3	18.2					101.2%
	(再掲)うち訪問診療分	0.0	0.0	0.0					
	小計	49.7	51.1	89.9	43.8	45.4	87.9	51.6%	103.0%
豊肥	高度急性期	0.0	0.0	10.2	0.0	0.0	13.6	0.0%	
	急性期	0.0	0.0	22.3	0.0	0.0	28.6	0.0%	
	回復期	0.0	0.0	18.6	0.0	0.0	20.6	0.0%	
	慢性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	在宅医療等	0.0	0.0	14.1					
	(再掲)うち訪問診療分	0.0	0.0	0.0					
	小計	0.0	0.0	65.2	0.0	0.0	62.9	0.0%	
西部	高度急性期	0.0	0.0	15.2	0.0	0.0	20.2	0.0%	
	急性期	23.5	23.3	39.6	30.2	29.8	50.8	58.8%	98.9%
	回復期	21.0	21.0	34.0	23.3	23.3	37.7	61.8%	99.9%
	慢性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	在宅医療等	19.9	20.1	25.2					100.7%
	(再掲)うち訪問診療分	0.0	0.0	0.0					
	小計	64.4	64.3	113.9	53.5	53.2	108.7	48.9%	99.8%
北部	高度急性期	14.5	14.6	27.4	19.4	19.4	36.5	53.2%	100.3%
	急性期	43.3	44.6	64.1	55.5	57.2	82.2	69.5%	103.0%
	回復期	47.1	48.8	60.9	52.3	54.2	67.7	80.1%	103.6%
	慢性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	在宅医療等	43.8	44.9	52.0					102.6%
	(再掲)うち訪問診療分	0.0	0.0	0.0					
	小計	148.7	152.8	204.4	127.2	130.8	186.4	70.1%	102.8%
県計	高度急性期	180.2	185.6	208.6	240.3	247.5	278.1	89.0%	103.0%
	急性期	425.9	450.8	458.5	546.1	577.9	587.8	98.3%	105.8%
	回復期	364.2	389.3	396.6	404.7	432.5	440.6	98.2%	106.9%
	慢性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	在宅医療等	268.6	284.8	283.1					106.0%
	(再掲)うち訪問診療分	0.0	0.0	0.0					
	小計	1,239.0	1,310.5	1,346.8	1,191.0	1,257.9	1,306.5	96.3%	105.8%

< 凡例 >

- A …… 2013年度の医療需要実績 (医療機関所在地ベース)
- B …… 2025年度の推計人口で算出した医療需要(現行の流出入により算定した、医療機関所在地ベース)
- C …… 2025年度の推計人口で算出した医療需要(現行の流出入を算定しない、患者住所地ベース)
- X …… 2013年度の医療需要実績から、病床稼働率(※)により割り戻した必要病床数
- Y …… 2025年度の医療需要(医療機関ベース)から病床稼働率(※)により割り戻した必要病床数
- Z …… 2025年度の医療需要(患者住所地ベース)から、病床稼働率(※)により割り戻した必要病床数

※ 病床稼働率 高度急性期：75%、急性期：78%、回復期：90%、慢性期：92%

※ 数値が「0.0」のうち、網掛けがかかっているものは、実際には10.0未満の数値があるが、特定の個人が第三者に識別されることを防ぐために非表示とされている。

※ 「小計」欄は網掛けの掛かった数値(10.0未満)を含めずに計算されているため、本来の合計数と一致しない。
「充足率」及び「伸び率」の「小計」欄を見るときには注意が必要。

疾病別の医療需要及び必要病床数 (22) がん (MDC04呼吸器系疾患)

< 厚生労働省の必要病床数推計ツールによる推計(東部、中部、南部、豊肥はパターンB、西部、北部はパターンC(特例)を適用した場合) >

医療機能	2013年の医療需要	2025年の医療需要(医療機関所在地)	2025年の医療需要(患者住所地)	2013年の必要病床数	2025年の必要病床数(医療機関所在地)	2025年の必要病床数(患者住所地)	(充足率) Y / Z	(伸び率) B / A	
	(人/日) A	(人/日) B	(人/日) C	(床) X	(床) Y	(床) Z			
東部	高度急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
	急性期	15.8	15.9	13.1	20.2	20.4	121.6%	100.9%	
	回復期	12.2	12.1	10.3	13.6	13.4	117.3%	99.0%	
	慢性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
	在宅医療等 (再掲)うち訪問診療分	0.0	0.0	0.0					
	小計	28.0	28.0	23.4	33.8	33.9	28.3	119.9%	100.1%
中部	高度急性期	12.2	13.2	11.7	16.2	17.6	112.9%	108.4%	
	急性期	34.8	39.0	33.7	44.6	50.0	115.6%	112.0%	
	回復期	24.9	27.8	23.7	27.7	30.9	26.4	117.1%	111.7%
	慢性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	在宅医療等 (再掲)うち訪問診療分	13.9	15.9	14.8					114.1%
	小計	85.8	95.8	84.0	88.5	98.4	85.2	115.6%	111.7%
南部	高度急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	回復期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	慢性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	在宅医療等 (再掲)うち訪問診療分	0.0	0.0	0.0					
	小計	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
豊肥	高度急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	回復期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	慢性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	在宅医療等 (再掲)うち訪問診療分	0.0	0.0	0.0					
	小計	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
西部	高度急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	回復期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	慢性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	在宅医療等 (再掲)うち訪問診療分	0.0	0.0	0.0					
	小計	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
北部	高度急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	回復期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	慢性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	在宅医療等 (再掲)うち訪問診療分	0.0	0.0	0.0					
	小計	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
県計	高度急性期	12.2	13.2	11.7	16.2	17.6	15.6	112.9%	108.4%
	急性期	50.6	54.9	46.8	64.8	70.4	60.1	117.2%	108.6%
	回復期	37.1	39.9	34.1	41.2	44.3	37.8	117.2%	107.5%
	慢性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	在宅医療等 (再掲)うち訪問診療分	13.9	15.9	14.8					114.1%
	小計	113.8	123.9	107.4	122.3	132.3	113.5	116.6%	108.9%

< 凡例 >

- A …… 2013年度の医療需要実績 (医療機関所在地ベース)
- B …… 2025年度の推計人口で算出した医療需要(現行の流出入により算定した、医療機関所在地ベース)
- C …… 2025年度の推計人口で算出した医療需要(現行の流出入を算定しない、患者住所地ベース)
- X …… 2013年度の医療需要実績から、病床稼働率(※)により割り戻した必要病床数
- Y …… 2025年度の医療需要(医療機関ベース)から病床稼働率(※)により割り戻した必要病床数
- Z …… 2025年度の医療需要(患者住所地ベース)から、病床稼働率(※)により割り戻した必要病床数

※ 病床稼働率 高度急性期：75%、急性期：78%、回復期：90%、慢性期：92%

※ 数値が「0.0」のうち、網掛けがかかっているものは、実際には10.0未満の数値があるが、特定の個人が第三者に識別されることを防ぐために非表示とされている。

※ 「小計」欄は網掛けの掛かった数値(10.0未満)を含めずに計算されているため、本来の合計数と一致しない。
「充足率」及び「伸び率」の「小計」欄を見るときには注意が必要。

疾病別の医療需要及び必要病床数 (23)がん(MDC06のうち上部消化管疾患)

< 厚生労働省の必要病床数推計ツールによる推計(東部、中部、南部、豊肥はパターンB、西部、北部はパターンC(特例)を適用した場合) >

	医療機能	2013年の	2025年の	2025年の	2013年の	2025年の	2025年の	(充足率)	(伸び率)
		医療需要 (人/日)	医療需要 (医療機関 所在地) (人/日)	医療需要 (患者住所地) (人/日)	必要病床数 (床)	必要病床数 (医療機関 所在地) (床)	必要病床数 (患者住所地) (床)		
		A	B	C	X	Y	Z	Y / Z	B / A
東 部	高度急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	急性期	10.5	10.9	10.7	13.5	13.9	13.8	101.0%	103.2%
	回復期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	慢性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	在宅医療等 (再掲)うち訪問診療分	0.0	0.0	0.0					
	小計	10.5	10.9	10.7	13.5	13.9	13.8	101.0%	103.2%
中 部	高度急性期	11.8	13.2	10.9	15.7	17.6	14.5	121.2%	111.8%
	急性期	27.4	30.7	25.5	35.1	39.4	32.7	120.4%	112.3%
	回復期	23.5	26.9	22.9	26.2	29.9	25.4	117.8%	114.4%
	慢性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	在宅医療等 (再掲)うち訪問診療分	0.0	0.0	0.0					118.0%
	小計	77.5	88.3	75.2	77.0	86.9	72.6	119.7%	113.9%
南 部	高度急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	回復期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	慢性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	在宅医療等 (再掲)うち訪問診療分	0.0	0.0	0.0					
	小計	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
豊 肥	高度急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	回復期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	慢性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	在宅医療等 (再掲)うち訪問診療分	0.0	0.0	0.0					
	小計	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
西 部	高度急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	回復期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	慢性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	在宅医療等 (再掲)うち訪問診療分	0.0	0.0	0.0					
	小計	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
北 部	高度急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	回復期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	慢性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	在宅医療等 (再掲)うち訪問診療分	0.0	0.0	0.0					
	小計	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
県 計	高度急性期	11.8	13.2	10.9	15.7	17.6	14.5	121.2%	111.8%
	急性期	37.9	41.6	36.2	48.6	53.3	46.5	114.7%	109.7%
	回復期	23.5	26.9	22.9	26.2	29.9	25.4	117.8%	114.4%
	慢性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	在宅医療等 (再掲)うち訪問診療分	0.0	0.0	0.0					118.0%
	小計	88.0	99.1	85.9	90.5	100.8	86.4	116.7%	112.6%

< 凡例 >

- A …… 2013年度の医療需要実績 (医療機関所在地ベース)
- B …… 2025年度の推計人口で算出した医療需要(現行の流出入により算定した、医療機関所在地ベース)
- C …… 2025年度の推計人口で算出した医療需要(現行の流出入を算定しない、患者住所地ベース)
- X …… 2013年度の医療需要実績から、病床稼働率(※)により割り戻した必要病床数
- Y …… 2025年度の医療需要(医療機関ベース)から病床稼働率(※)により割り戻した必要病床数
- Z …… 2025年度の医療需要(患者住所地ベース)から、病床稼働率(※)により割り戻した必要病床数

※ 病床稼働率 高度急性期：75%、急性期：78%、回復期：90%、慢性期：92%

※ 数値が「0.0」のうち、網掛けがかかっているものは、実際には10.0未満の数値があるが、特定の個人が第三者に識別されることを防ぐために非表示とされている。

※ 「小計」欄は網掛けの掛かった数値(10.0未満)を含めずに計算されているため、本来の合計数と一致しない。
「充足率」及び「伸び率」の「小計」欄を見るときには注意が必要。

疾病別の医療需要及び必要病床数 (24)がん(MDC06のうち下部消化管疾患)

< 厚生労働省の必要病床数推計ツールによる推計(東部、中部、南部、豊肥はパターンB、西部、北部はパターンC(特例)を適用した場合) >

	医療機能	2013年の	2025年の	2025年の	2013年の	2025年の	2025年の	(充足率)	(伸び率)
		医療需要 (人/日)	医療需要 (医療機関 所在地) (人/日)	医療需要 (患者住所地) (人/日)	必要病床数 (床)	必要病床数 (医療機関 所在地) (床)	必要病床数 (患者住所地) (床)		
		A	B	C	X	Y	Z	Y / Z	B / A
東 部	高度急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	急性期	11.2	11.2	10.9	14.4	14.4	14.0	103.0%	99.8%
	回復期	11.4	11.4	11.0	12.7	12.6	12.2	103.9%	99.4%
	慢性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	在宅医療等 (再掲)うち訪問診療分	0.0	0.0	0.0					
	小計	22.7	22.6	21.8	27.1	27.0	26.1	103.4%	99.6%
中 部	高度急性期	13.2	14.4	12.3	17.5	19.1	16.5	116.3%	109.2%
	急性期	28.2	32.5	28.3	36.2	41.7	36.3	114.9%	115.2%
	回復期	20.8	23.4	20.5	23.2	26.0	22.7	114.4%	112.2%
	慢性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	在宅医療等 (再掲)うち訪問診療分	0.0	0.0	0.0					111.7%
	小計	79.8	89.9	78.6	76.9	86.8	75.5	115.1%	112.7%
南 部	高度急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	回復期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	慢性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	在宅医療等 (再掲)うち訪問診療分	0.0	0.0	0.0					
	小計	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
豊 肥	高度急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	回復期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	慢性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	在宅医療等 (再掲)うち訪問診療分	0.0	0.0	0.0					
	小計	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
西 部	高度急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	回復期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	慢性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	在宅医療等 (再掲)うち訪問診療分	0.0	0.0	0.0					
	小計	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
北 部	高度急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	回復期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	慢性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	在宅医療等 (再掲)うち訪問診療分	0.0	0.0	0.0					
	小計	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
県 計	高度急性期	13.2	14.4	12.3	17.5	19.1	16.5	116.3%	109.2%
	急性期	39.5	43.7	39.2	50.6	56.1	50.2	111.6%	110.8%
	回復期	32.3	34.8	31.4	35.9	38.6	34.9	110.7%	107.7%
	慢性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	在宅医療等 (再掲)うち訪問診療分	0.0	0.0	0.0					111.7%
	小計	102.4	112.4	100.4	104.0	113.9	101.6	112.1%	109.8%

< 凡例 >

- A …… 2013年度の医療需要実績 (医療機関所在地ベース)
- B …… 2025年度の推計人口で算出した医療需要(現行の流出入により算定した、医療機関所在地ベース)
- C …… 2025年度の推計人口で算出した医療需要(現行の流出入を算定しない、患者住所地ベース)
- X …… 2013年度の医療需要実績から、病床稼働率(※)により割り戻した必要病床数
- Y …… 2025年度の医療需要(医療機関ベース)から病床稼働率(※)により割り戻した必要病床数
- Z …… 2025年度の医療需要(患者住所地ベース)から、病床稼働率(※)により割り戻した必要病床数

※ 病床稼働率 高度急性期 : 75%、急性期 : 78%、回復期 : 90%、慢性期 : 92%

※ 数値が「0.0」のうち、網掛けがかかっているものは、実際には10.0未満の数値があるが、特定の個人が第三者に識別されることを防ぐために非表示とされている。

※ 「小計」欄は網掛けの掛かった数値(10.0未満)を含めずに計算されているため、本来の合計数と一致しない。
「充足率」及び「伸び率」の「小計」欄を見るときには注意が必要。

疾病別の医療需要及び必要病床数（25）がん（MDC06のうち肝臓・胆道・膵臓疾患）

< 厚生労働省の必要病床数推計ツールによる推計（東部、中部、南部、豊肥はパターンB、西部、北部はパターンC（特例）を適用した場合） >

	医療機能	2013年の	2025年の	2025年の	2013年の	2025年の	2025年の	(充足率)	(伸び率)
		医療需要	医療需要	医療需要	必要病床数	必要病床数	必要病床数		
		(人/日)	(医療機関所在地)	(患者住所地)	(床)	(医療機関所在地)	(患者住所地)	Y / Z	B / A
		A	B	C	X	Y	Z		
東部	高度急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	急性期	11.0	11.1	13.3	14.1	14.2	17.0	83.6%	101.1%
	回復期	11.4	11.6	13.7	12.7	12.9	15.2	84.8%	101.8%
	慢性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	在宅医療等	0.0	0.0	0.0					
	(再掲)うち訪問診療分	0.0	0.0	0.0					
	小計	22.4	22.7	27.0	26.7	27.1	32.2	84.2%	101.5%
中部	高度急性期	16.1	18.2	13.6	21.4	24.2	18.1	133.8%	113.2%
	急性期	37.1	42.5	31.6	47.5	54.4	40.5	134.6%	114.6%
	回復期	37.1	42.3	30.6	41.2	47.0	34.0	138.2%	114.0%
	慢性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	在宅医療等	20.3	23.8	19.3					117.2%
	(再掲)うち訪問診療分	0.0	0.0	0.0					
	小計	110.6	126.8	95.1	110.2	125.7	92.6	135.7%	114.7%
南部	高度急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	回復期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	慢性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	在宅医療等	0.0	0.0	0.0					
	(再掲)うち訪問診療分	0.0	0.0	0.0					
	小計	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
豊肥	高度急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	回復期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	慢性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	在宅医療等	0.0	0.0	0.0					
	(再掲)うち訪問診療分	0.0	0.0	0.0					
	小計	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
西部	高度急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	回復期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	慢性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	在宅医療等	0.0	0.0	0.0					
	(再掲)うち訪問診療分	0.0	0.0	0.0					
	小計	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
北部	高度急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	急性期	0.0	10.4	10.7	0.0	13.3	13.7	97.3%	
	回復期	10.3	10.9	11.5	11.5	12.1	12.8	94.8%	105.6%
	慢性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	在宅医療等	0.0	0.0	0.0					
	(再掲)うち訪問診療分	0.0	0.0	0.0					
	小計	10.3	21.3	22.2	11.5	25.5	26.5	96.1%	206.5%
県計	高度急性期	16.1	18.2	13.6	21.4	24.2	18.1	133.8%	113.2%
	急性期	48.0	64.0	55.5	61.6	82.0	71.2	115.2%	133.2%
	回復期	58.8	64.8	55.8	65.4	72.0	62.0	116.1%	110.1%
	慢性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	在宅医療等	20.3	23.8	19.3					117.2%
	(再掲)うち訪問診療分	0.0	0.0	0.0					
	小計	143.3	170.8	144.3	148.4	178.3	151.3	117.8%	119.2%

< 凡例 >

- A …… 2013年度の医療需要実績（医療機関所在地ベース）
- B …… 2025年度の推計人口で算出した医療需要（現行の流出入により算定した、医療機関所在地ベース）
- C …… 2025年度の推計人口で算出した医療需要（現行の流出入を算定しない、患者住所地ベース）
- X …… 2013年度の医療需要実績から、病床稼働率(※)により割り戻した必要病床数
- Y …… 2025年度の医療需要(医療機関ベース)から病床稼働率(※)により割り戻した必要病床数
- Z …… 2025年度の医療需要(患者住所地ベース)から、病床稼働率(※)により割り戻した必要病床数

※ 病床稼働率 高度急性期：75%、急性期：78%、回復期：90%、慢性期：92%

※ 数値が「0.0」のうち、網掛けがかかっているものは、実際には10.0未満の数値があるが、特定の個人が第三者に識別されることを防ぐために非表示とされている。

※ 「小計」欄は網掛けの掛かった数値(10.0未満)を含めずに計算されているため、本来の合計数と一致しない。
「充足率」及び「伸び率」の「小計」欄を見るときには注意が必要。

疾病別の医療需要及び必要病床数（26）がん（MDC09乳房の疾患）

＜厚生労働省の必要病床数推計ツールによる推計（東部、中部、南部、豊肥はパターンB、西部、北部はパターンC（特例）を適用した場合）＞

医療機能	2013年の医療需要	2025年の医療需要 (医療機関所在地)	2025年の医療需要 (患者住所地)	2013年の必要病床数	2025年の必要病床数 (医療機関所在地)	2025年の必要病床数 (患者住所地)	(充足率) Y / Z	(伸び率) B / A
	(人/日) A	(人/日) B	(人/日) C	(床) X	(床) Y	(床) Z		
東部	高度急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	回復期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	慢性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	在宅医療等 (再掲)うち訪問診療分	0.0	0.0	0.0				
	小計	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
中部	高度急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	急性期	11.6	11.4	0.0	14.9	14.6		98.1%
	回復期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	慢性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	在宅医療等 (再掲)うち訪問診療分	16.2	15.6	12.3				96.4%
	小計	27.9	27.1	12.3	14.9	14.6	0.0	97.1%
南部	高度急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	回復期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	慢性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	在宅医療等 (再掲)うち訪問診療分	0.0	0.0	0.0				
	小計	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
豊肥	高度急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	回復期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	慢性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	在宅医療等 (再掲)うち訪問診療分	0.0	0.0	0.0				
	小計	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
西部	高度急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	回復期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	慢性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	在宅医療等 (再掲)うち訪問診療分	0.0	0.0	0.0				
	小計	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
北部	高度急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	回復期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	慢性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	在宅医療等 (再掲)うち訪問診療分	0.0	0.0	0.0				
	小計	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
県計	高度急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	急性期	11.6	11.4	0.0	14.9	14.6		98.1%
	回復期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	慢性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	在宅医療等 (再掲)うち訪問診療分	16.2	15.6	12.3				96.4%
	小計	27.9	27.1	12.3	14.9	14.6	0.0	97.1%

＜凡例＞

- A …… 2013年度の医療需要実績（医療機関所在地ベース）
- B …… 2025年度の推計人口で算出した医療需要（現行の流出入により算定した、医療機関所在地ベース）
- C …… 2025年度の推計人口で算出した医療需要（現行の流出入を算定しない、患者住所地ベース）
- X …… 2013年度の医療需要実績から、病床稼働率(※)により割り戻した必要病床数
- Y …… 2025年度の医療需要(医療機関ベース)から病床稼働率(※)により割り戻した必要病床数
- Z …… 2025年度の医療需要(患者住所地ベース)から、病床稼働率(※)により割り戻した必要病床数

※ 病床稼働率 高度急性期：75%、急性期：78%、回復期：90%、慢性期：92%

※ 数値が「0.0」のうち、網掛けがかかっているものは、実際には10.0未満の数値があるが、特定の個人が第三者に識別されることを防ぐために非表示とされている。

※ 「小計」欄は網掛けの掛かった数値(10.0未満)を含めずに計算されているため、本来の合計数と一致しない。
「充足率」及び「伸び率」の「小計」欄を見るときには注意が必要。

疾病別の医療需要及び必要病床数 (27)がん(MDC12女性生殖器系疾患・産褥期疾患、異常妊娠分娩)

< 厚生労働省の必要病床数推計ツールによる推計(東部、中部、南部、豊肥はパターンB、西部、北部はパターンC(特例)を適用した場合) >

	医療機能	2013年の	2025年の	2025年の	2013年の	2025年の	2025年の	(充足率)	(伸び率)
		医療需要 (人/日)	医療需要 (医療機関 所在地) (人/日)	医療需要 (患者住所地) (人/日)	必要病床数 (床)	必要病床数 (医療機関 所在地) (床)	必要病床数 (患者住所地) (床)		
		A	B	C	X	Y	Z	Y / Z	B / A
東 部	高度急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	回復期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	慢性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	在宅医療等 (再掲)うち訪問診療分	0.0	0.0	0.0					
	小計	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
中 部	高度急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	急性期	13.1	12.7	0.0	16.8	16.3	0.0		96.6%
	回復期	10.6	10.2	0.0	11.8	11.3	0.0		96.5%
	慢性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	在宅医療等 (再掲)うち訪問診療分	0.0	0.0	0.0					
	小計	23.7	22.9	0.0	28.6	27.6	0.0		96.6%
南 部	高度急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	回復期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	慢性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	在宅医療等 (再掲)うち訪問診療分	0.0	0.0	0.0					
	小計	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
豊 肥	高度急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	回復期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	慢性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	在宅医療等 (再掲)うち訪問診療分	0.0	0.0	0.0					
	小計	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
西 部	高度急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	回復期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	慢性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	在宅医療等 (再掲)うち訪問診療分	0.0	0.0	0.0					
	小計	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
北 部	高度急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	回復期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	慢性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	在宅医療等 (再掲)うち訪問診療分	0.0	0.0	0.0					
	小計	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
県 計	高度急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	急性期	13.1	12.7	0.0	16.8	16.3	0.0		96.6%
	回復期	10.6	10.2	0.0	11.8	11.3	0.0		96.5%
	慢性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	在宅医療等 (再掲)うち訪問診療分	0.0	0.0	0.0					
	小計	23.7	22.9	0.0	28.6	27.6	0.0		96.6%

< 凡例 >

- A …… 2013年度の医療需要実績 (医療機関所在地ベース)
- B …… 2025年度の推計人口で算出した医療需要(現行の流出入により算定した、医療機関所在地ベース)
- C …… 2025年度の推計人口で算出した医療需要(現行の流出入を算定しない、患者住所地ベース)
- X …… 2013年度の医療需要実績から、病床稼働率(※)により割り戻した必要病床数
- Y …… 2025年度の医療需要(医療機関ベース)から病床稼働率(※)により割り戻した必要病床数
- Z …… 2025年度の医療需要(患者住所地ベース)から、病床稼働率(※)により割り戻した必要病床数

※ 病床稼働率 高度急性期：75%、急性期：78%、回復期：90%、慢性期：92%

※ 数値が「0.0」のうち、網掛けがかかっているものは、実際には10.0未満の数値があるが、特定の個人が第三者に識別されることを防ぐために非表示とされている。

※ 「小計」欄は網掛けの掛かった数値(10.0未満)を含めずに計算されているため、本来の合計数と一致しない。
「充足率」及び「伸び率」の「小計」欄を見るときには注意が必要。

疾病別の医療需要及び必要病床数（28）MDC05のうち、急性心筋梗塞

< 厚生労働省の必要病床数推計ツールによる推計（東部、中部、南部、豊肥はパターンB、西部、北部はパターンC（特例）を適用した場合） >

	医療機能	2013年の医療需要	2025年の医療需要 (医療機関所在地)	2025年の医療需要 (患者住所地)	2013年の必要病床数	2025年の必要病床数 (医療機関所在地)	2025年の必要病床数 (患者住所地)	(充足率) Y / Z	(伸び率) B / A
		(人/日) A	(人/日) B	(人/日) C	(床) X	(床) Y	(床) Z		
東部	高度急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	回復期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	慢性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	在宅医療等	0.0	0.0	0.0					
	(再掲)うち訪問診療分	0.0	0.0	0.0					
	小計	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
中部	高度急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	回復期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	慢性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	在宅医療等	0.0	0.0	0.0					
	(再掲)うち訪問診療分	0.0	0.0	0.0					
	小計	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
南部	高度急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	回復期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	慢性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	在宅医療等	0.0	0.0	0.0					
	(再掲)うち訪問診療分	0.0	0.0	0.0					
	小計	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
豊肥	高度急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	回復期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	慢性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	在宅医療等	0.0	0.0	0.0					
	(再掲)うち訪問診療分	0.0	0.0	0.0					
	小計	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
西部	高度急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	回復期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	慢性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	在宅医療等	0.0	0.0	0.0					
	(再掲)うち訪問診療分	0.0	0.0	0.0					
	小計	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
北部	高度急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	回復期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	慢性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	在宅医療等	0.0	0.0	0.0					
	(再掲)うち訪問診療分	0.0	0.0	0.0					
	小計	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
県計	高度急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	回復期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	慢性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	在宅医療等	0.0	0.0	0.0					
	(再掲)うち訪問診療分	0.0	0.0	0.0					
	小計	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

< 凡例 >

- A …… 2013年度の医療需要実績（医療機関所在地ベース）
- B …… 2025年度の推計人口で算出した医療需要（現行の流出入により算定した、医療機関所在地ベース）
- C …… 2025年度の推計人口で算出した医療需要（現行の流出入を算定しない、患者住所地ベース）
- X …… 2013年度の医療需要実績から、病床稼働率(※)により割り戻した必要病床数
- Y …… 2025年度の医療需要(医療機関ベース)から病床稼働率(※)により割り戻した必要病床数
- Z …… 2025年度の医療需要(患者住所地ベース)から、病床稼働率(※)により割り戻した必要病床数

※ 病床稼働率 高度急性期：75%、急性期：78%、回復期：90%、慢性期：92%

※ 数値が「0.0」のうち、網掛けがかかっているものは、実際には10.0未満の数値があるが、特定の個人が第三者に識別されることを防ぐために非表示とされている。

※ 「小計」欄は網掛けの掛かった数値(10.0未満)を含めずに計算されているため、本来の合計数と一致しない。
「充足率」及び「伸び率」の「小計」欄を見るときには注意が必要。

疾病別の医療需要及び必要病床数 (29)MDC01のうち、脳卒中

< 厚生労働省の必要病床数推計ツールによる推計(東部、中部、南部、豊肥はパターンB、西部、北部はパターンC(特例)を適用した場合) >

医療機能	2013年の医療需要	2025年の医療需要(医療機関所在地)	2025年の医療需要(患者住所地)	2013年の必要病床数	2025年の必要病床数(医療機関所在地)	2025年の必要病床数(患者住所地)	(充足率)	(伸び率)	
	(人/日) A	(人/日) B	(人/日) C	(床) X	(床) Y	(床) Z			
							Y / Z	B / A	
東部	高度急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
	急性期	40.7	43.7	43.0	52.2	56.0	101.5%	107.2%	
	回復期	35.8	38.7	37.9	39.8	43.0	102.3%	108.1%	
	慢性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
	在宅医療等(再掲)うち訪問診療分	14.1	15.1	14.3				107.6%	
	小計	90.6	97.5	95.2	92.1	99.0	97.2	101.9%	107.6%
中部	高度急性期	21.3	24.4	21.6	28.3	32.5	28.8	112.6%	114.6%
	急性期	82.8	99.5	87.7	106.1	127.6	112.4	113.5%	120.2%
	回復期	64.5	79.0	68.6	71.7	87.8	76.2	115.3%	122.5%
	慢性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	在宅医療等(再掲)うち訪問診療分	22.3	27.8	25.8					124.8%
	小計	190.9	230.7	203.7	206.2	247.9	217.4	114.0%	120.9%
南部	高度急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	急性期	19.0	20.6	20.6	24.4	26.4	26.4	100.0%	108.1%
	回復期	20.9	23.0	23.0	23.2	25.6	25.5	100.1%	109.9%
	慢性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	在宅医療等(再掲)うち訪問診療分	0.0	0.0	0.0					
	小計	40.0	43.6	43.6	47.7	51.9	51.9	100.0%	109.0%
豊肥	高度急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	急性期	0.0	0.0	12.5	0.0	0.0	16.0	0.0%	
	回復期	0.0	0.0	11.5	0.0	0.0	12.7	0.0%	
	慢性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	在宅医療等(再掲)うち訪問診療分	0.0	0.0	0.0					
	小計	0.0	0.0	24.0	0.0	0.0	28.8	0.0%	
西部	高度急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	急性期	14.6	15.6	15.2	18.7	20.0	19.5	102.3%	106.5%
	回復期	16.2	17.4	16.2	18.0	19.3	18.0	107.4%	107.3%
	慢性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	在宅医療等(再掲)うち訪問診療分	11.7	12.3	10.9					105.6%
	小計	42.5	45.2	42.3	36.7	39.3	37.5	104.8%	106.6%
北部	高度急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	急性期	24.3	25.7	26.4	31.2	33.0	33.9	97.3%	105.6%
	回復期	17.3	18.7	17.7	19.2	20.8	19.7	105.7%	108.3%
	慢性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	在宅医療等(再掲)うち訪問診療分	10.5	11.3	10.6					107.7%
	小計	52.1	55.7	54.7	50.4	53.7	53.5	100.4%	106.9%
県計	高度急性期	21.3	24.4	21.6	28.3	32.5	28.8	112.6%	114.6%
	急性期	181.5	205.0	205.4	232.7	262.9	263.4	99.8%	113.0%
	回復期	154.8	176.9	174.8	172.0	196.5	194.2	101.2%	114.3%
	慢性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	在宅医療等(再掲)うち訪問診療分	58.5	66.6	61.6					113.8%
	小計	416.0	472.8	463.4	433.0	491.9	486.4	101.1%	113.7%

< 凡例 >

- A …… 2013年度の医療需要実績 (医療機関所在地ベース)
- B …… 2025年度の推計人口で算出した医療需要(現行の流出入により算定した、医療機関所在地ベース)
- C …… 2025年度の推計人口で算出した医療需要(現行の流出入を算定しない、患者住所地ベース)
- X …… 2013年度の医療需要実績から、病床稼働率(※)により割り戻した必要病床数
- Y …… 2025年度の医療需要(医療機関ベース)から病床稼働率(※)により割り戻した必要病床数
- Z …… 2025年度の医療需要(患者住所地ベース)から、病床稼働率(※)により割り戻した必要病床数

※ 病床稼働率 高度急性期：75%、急性期：78%、回復期：90%、慢性期：92%

※ 数値が「0.0」のうち、網掛けがかかっているものは、実際には10.0未満の数値があるが、特定の個人が第三者に識別されることを防ぐために非表示とされている。

※ 「小計」欄は網掛けの掛かった数値(10.0未満)を含めずに計算されているため、本来の合計数と一致しない。「充足率」及び「伸び率」の「小計」欄を見るときには注意が必要。

疾病別の医療需要及び必要病床数(30)MDC04のうち、成人肺炎

< 厚生労働省の必要病床数推計ツールによる推計(東部、中部、南部、豊肥はパターンB、西部、北部はパターンC(特例)を適用した場合) >

	医療機能	2013年の	2025年の	2025年の	2013年の	2025年の	2025年の	(充足率)	(伸び率)
		医療需要 (人/日)	医療需要 (医療機関 所在地) (人/日)	医療需要 (患者住所地) (人/日)	必要病床数 (床)	必要病床数 (医療機関 所在地) (床)	必要病床数 (患者住所地) (床)		
		A	B	C	X	Y	Z	Y/Z	B/A
東 部	高度急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	急性期	61.8	68.9	66.0	79.2	88.4	84.7	104.4%	111.6%
	回復期	62.4	72.1	68.3	69.4	80.1	75.9	105.5%	115.5%
	慢性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	在宅医療等 (再掲)うち訪問診療分	25.3	28.7	26.9					113.5%
	小計	149.5	169.8	161.3	148.6	168.5	160.6	104.9%	113.6%
中 部	高度急性期	24.3	28.5	26.1	32.4	38.0	34.8	109.2%	117.3%
	急性期	142.5	185.2	176.5	182.7	237.4	226.3	104.9%	129.9%
	回復期	96.8	133.6	132.6	107.5	148.5	147.4	100.8%	138.1%
	慢性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	在宅医療等 (再掲)うち訪問診療分	52.5	71.6	70.1					136.5%
	小計	316.0	418.9	405.4	322.6	423.9	408.5	103.8%	132.6%
南 部	高度急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	急性期	23.7	25.5	25.6	30.3	32.6	32.8	99.6%	107.6%
	回復期	27.5	30.4	30.5	30.5	33.8	33.9	99.7%	110.6%
	慢性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	在宅医療等 (再掲)うち訪問診療分	0.0	10.3	10.8					
	小計	51.1	66.2	66.8	60.9	66.4	66.7	99.7%	129.5%
豊 肥	高度急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	急性期	15.1	15.1	21.5	19.4	19.3	27.5	70.2%	99.7%
	回復期	20.6	20.7	21.6	22.9	23.0	24.0	95.8%	100.5%
	慢性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	在宅医療等 (再掲)うち訪問診療分	12.8	12.6	13.0					98.3%
	小計	48.5	48.3	56.0	42.2	42.3	51.5	82.1%	99.7%
西 部	高度急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	急性期	17.0	17.7	18.5	21.8	22.7	23.7	95.6%	103.9%
	回復期	24.0	25.6	25.0	26.7	28.4	27.8	102.2%	106.4%
	慢性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	在宅医療等 (再掲)うち訪問診療分	17.4	18.5	18.0					106.6%
	小計	58.4	61.8	61.5	48.5	51.1	51.5	99.2%	105.7%
北 部	高度急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	急性期	46.3	49.6	48.7	59.3	63.6	62.5	101.8%	107.2%
	回復期	42.2	46.8	43.5	46.9	52.0	48.3	107.8%	111.0%
	慢性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	在宅医療等 (再掲)うち訪問診療分	20.1	22.0	21.3					109.5%
	小計	108.6	118.5	113.5	106.2	115.6	110.8	104.4%	109.1%
県 計	高度急性期	24.3	28.5	26.1	32.4	38.0	34.8	109.2%	117.3%
	急性期	306.3	361.9	356.8	392.7	464.0	457.5	101.4%	118.1%
	回復期	273.5	329.2	321.5	303.9	365.8	357.3	102.4%	120.4%
	慢性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	在宅医療等 (再掲)うち訪問診療分	128.0	163.8	160.1					127.9%
	小計	732.2	883.5	864.6	729.0	867.8	849.5	102.2%	120.7%

< 凡例 >

- A …… 2013年度の医療需要実績 (医療機関所在地ベース)
- B …… 2025年度の推計人口で算出した医療需要(現行の流出入により算定した、医療機関所在地ベース)
- C …… 2025年度の推計人口で算出した医療需要(現行の流出入を算定しない、患者住所地ベース)
- X …… 2013年度の医療需要実績から、病床稼働率(※)により割り戻した必要病床数
- Y …… 2025年度の医療需要(医療機関ベース)から病床稼働率(※)により割り戻した必要病床数
- Z …… 2025年度の医療需要(患者住所地ベース)から、病床稼働率(※)により割り戻した必要病床数

※ 病床稼働率 高度急性期：75%、急性期：78%、回復期：90%、慢性期：92%

※ 数値が「0.0」のうち、網掛けがかかっているものは、実際には10.0未満の数値があるが、特定の個人が第三者に識別されることを防ぐために非表示とされている。

※ 「小計」欄は網掛けの掛かった数値(10.0未満)を含めずに計算されているため、本来の合計数と一致しない。
「充足率」及び「伸び率」の「小計」欄を見るときには注意が必要。

疾病別の医療需要及び必要病床数（31）MDC16のうち、大腿骨頸部骨折

< 厚生労働省の必要病床数推計ツールによる推計（東部、中部、南部、豊肥はパターンB、西部、北部はパターンC（特例）を適用した場合） >

医療機能	2013年の医療需要	2025年の医療需要 (医療機関所在地)	2025年の医療需要 (患者住所地)	2013年の必要病床数	2025年の必要病床数 (医療機関所在地)	2025年の必要病床数 (患者住所地)	(充足率) Y / Z	(伸び率) B / A	
	(人/日) A	(人/日) B	(人/日) C	(床) X	(床) Y	(床) Z			
東部	高度急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
	急性期	18.5	20.8	20.1	23.8	26.7	103.5%	112.2%	
	回復期	16.0	18.1	17.4	17.8	20.1	103.6%	112.7%	
	慢性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
	在宅医療等 (再掲)うち訪問診療分	0.0	0.0	0.0					
	小計	34.6	38.9	37.5	41.6	46.7	45.1	103.6%	112.4%
中部	高度急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
	急性期	44.9	60.6	57.7	57.5	77.7	74.0	104.9%	135.0%
	回復期	36.8	49.4	47.0	40.9	54.9	52.3	105.0%	134.2%
	慢性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	在宅医療等 (再掲)うち訪問診療分	0.0	0.0	0.0					
	小計	93.8	126.4	121.0	98.4	132.5	126.3	105.0%	134.7%
南部	高度急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
	急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
	回復期	0.0	10.9	10.7	0.0	12.1	11.9	101.5%	
	慢性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	在宅医療等 (再掲)うち訪問診療分	0.0	0.0	0.0					
	小計	0.0	10.9	10.7	0.0	12.1	11.9	101.5%	
豊肥	高度急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
	急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
	回復期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	慢性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	在宅医療等 (再掲)うち訪問診療分	0.0	0.0	0.0					
	小計	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
西部	高度急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
	急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
	回復期	11.6	12.6	12.6	12.9	14.0	14.0	100.1%	108.6%
	慢性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	在宅医療等 (再掲)うち訪問診療分	0.0	0.0	0.0					
	小計	11.6	12.6	12.6	12.9	14.0	14.0	100.1%	108.6%
北部	高度急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
	急性期	18.9	20.5	17.5	24.2	26.3	22.4	117.4%	108.8%
	回復期	13.7	14.8	14.7	15.3	16.4	16.3	100.6%	107.6%
	慢性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	在宅医療等 (再掲)うち訪問診療分	0.0	10.6	10.5					
	小計	32.6	45.9	42.7	39.5	42.7	38.8	110.3%	140.8%
県計	高度急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
	急性期	82.3	101.9	95.3	105.5	130.7	122.2	106.9%	123.8%
	回復期	78.1	105.7	102.4	86.8	117.4	113.8	103.2%	135.3%
	慢性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	在宅医療等 (再掲)うち訪問診療分	0.0	0.0	0.0					
	小計	172.6	234.6	224.5	192.3	248.1	236.0	105.1%	136.0%

< 凡例 >

- A …… 2013年度の医療需要実績（医療機関所在地ベース）
- B …… 2025年度の推計人口で算出した医療需要（現行の流出入により算定した、医療機関所在地ベース）
- C …… 2025年度の推計人口で算出した医療需要（現行の流出入を算定しない、患者住所地ベース）
- X …… 2013年度の医療需要実績から、病床稼働率(※)により割り戻した必要病床数
- Y …… 2025年度の医療需要(医療機関ベース)から病床稼働率(※)により割り戻した必要病床数
- Z …… 2025年度の医療需要(患者住所地ベース)から、病床稼働率(※)により割り戻した必要病床数

※ 病床稼働率 高度急性期：75%、急性期：78%、回復期：90%、慢性期：92%

※ 数値が「0.0」のうち、網掛けがかかっているものは、実際には10.0未満の数値があるが、特定の個人が第三者に識別されることを防ぐために非表示とされている。

※ 「小計」欄は網掛けの掛かった数値(10.0未満)を含めずに計算されているため、本来の合計数と一致しない。
「充足率」及び「伸び率」の「小計」欄を見るときには注意が必要。

医政地発 0918 第 1 号

平成 27 年 9 月 18 日

各都道府県衛生主管部（局）長 殿

厚生労働省医政局地域医療計画課長

（ 公 印 省 略 ）

地域医療構想策定における患者流出入を踏まえた
必要病床数推計の都道府県間調整方法について

各都道府県における地域医療構想の策定については、医療法施行規則（昭和 23 年厚生省令第 50 号）、「地域における医療及び介護の総合的な確保を推進するための関係法律の整備等に関する法律の一部施行について」（平成 27 年 3 月 31 日付医政発第 0331 第 9 号）及び「地域医療構想策定ガイドライン等について」（平成 27 年 3 月 31 日付医政発 0331 第 53 号）の別添 1 「地域医療構想策定ガイドライン」に基づき行うこととなっている。地域医療構想において都道府県が定める、構想区域における厚生労働省令で定めるところにより算定された病床の機能区分ごとの将来の必要病床数等について、算定の基礎となるデータは、厚生労働省が示し、これを基に都道府県が算定することとしている。

その際、都道府県間の供給数の調整について、8 月 20 日に行われた都道府県との意見交換会及びその後いただいた意見を踏まえ、具体的な調整方法を下記のとおり定めたので、貴職におかれては、この調整方法を踏まえ、将来のあるべき医療提供体制について、関係する都道府県と協議を進めるようお願いする。

なお、これは今年度中に地域医療構想を策定することを念頭において定めおり、各都道府県の実情を踏まえて、適宜、都道府県間調整を行われたい。また、当該都道府県間の合意により、下記によらず調整を行うことも差し支えない。

記

1. 必要病床数の推計においては、患者住所地の医療需要を基本として定めることとする。ただし、4 機能別かつ二次医療圏別の 2025 年の流出入表において、流出又は流入している医療需要が 10 人未満の場合は都道府県間調整の対

象外とし、医療機関所在地における 10 人未満の医療需要については、自都道府県の医療需要として算出し、患者住所地における 10 人未満の医療需要については、自都道府県の医療需要として算出しない。

なお、医療需要の算出にあたっては、地域医療構想策定支援ツールの 2025 年度 4 機能別医療需要流出入表（二次医療圏別及び都道府県別）において小数点以下第 1 位を四捨五入する。（必要病床数の算出にあっても同様とする。）

2. 現状（医療機関所在地）の他都道府県の患者数を前提とした医療提供体制を維持（又は、一部維持）したいと考える都道府県が、流入の相手都道府県に対して、協議を持ちかけることとする。（一方、必要に応じて、流出都道府県から流入都道府県に協議を持ちかけてもよい。）

3. 協議においては、両都道府県は、例えば、患者・住民へのヒアリングの結果、患者の受療動向等のデータ、それぞれの案を実行した場合の患者・住民への医療サービスや財政的な影響等について検討した結果を、お互いに示すこととする。また、両都道府県は、病床の整備に関する計画等の進捗状況を必要に応じて示すこととする。こうした協議を行うことにより、いずれの都道府県の計画が、より実効性が高いかを両都道府県で判断し、調整を行うこととする。

なお、地域医療構想策定支援ツールで用いたデータと同等かつより詳細なデータを用いて協議を行っても良い。

4. 平成 27 年 12 月を期限に協議を行うこととし、期限までに調整できない場合には、調整の対象となっていた医療需要は、医療機関所在地の医療需要として算出する。

4機能別の医療需要の二次医療圏間の流出入の推計（2025年、高度急性期）

単位：人／日

		医療機関所在地								
		自 県						他 県		
		4 4 0 1 : 東 部	4 4 0 3 : 中 部	4 4 0 5 : 南 部	4 4 0 6 : 豊 肥	4 4 0 8 : 西 部	4 4 0 9 : 北 部	(福 岡 県) 久 留 米	(福 岡 県) 北 九 州	
患者 住 所 地	自 県	4401:東部	159.6	24.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		4403:中部	0.0	451.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		4405:南部	0.0	17.2	40.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		4406:豊肥	0.0	37.2	0.0	22.5	0.0	0.0	0.0	0.0
		4408:西部	0.0	0.0	0.0	0.0	35.5	0.0	10.4	0.0
		4409:北部	19.8	13.9	0.0	0.0	0.0	72.6	0.0	10.4
	他 県	4013:福岡県 京築	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	15.9		

※ 流出入が「0.0」のうち、網掛けがかかっているものは、実際には10.0未満の流出入があるが、特定の個人が第三者に識別されることを防ぐために非表示とされているものであり、網掛けがかかっていないものは、流出入がまったくないものである。

※ 大分県内の二次医療圏との間で医療需要が10人/日以上以上の流出入がまったくない他県の二次医療圏については表示していない。

4機能別の医療需要の二次医療圏間の流出入の推計（2025年、急性期）

単位：人／日

		医療機関所在地								
		自 県						他 県		
		4 4 0 1 : 東 部	4 4 0 3 : 中 部	4 4 0 5 : 南 部	4 4 0 6 : 豊 肥	4 4 0 8 : 西 部	4 4 0 9 : 北 部	(福 岡 県) 福 岡 ・ 糸 島	(福 岡 県) 久 留 米	(福 岡 県) 北 九 州
患者 住 所 地	自 県	4401:東部	667.3	54.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		4403:中部	30.4	1,672.6	13.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		4405:南部	0.0	39.9	221.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		4406:豊肥	0.0	103.9	0.0	125.9	0.0	0.0	0.0	0.0
		4408:西部	0.0	39.2	0.0	0.0	172.2	0.0	10.8	20.5
		4409:北部	43.5	31.9	0.0	0.0	0.0	410.5	0.0	0.0
	他 県	4013:福岡県 京築	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	70.7		

※ 流出入が「0.0」のうち、網掛けがかかっているものは、実際には10.0未満の流出入があるが、特定の個人が第三者に識別されることを防ぐために非表示とされているものであり、網掛けがかかっていないものは、流出入がまったくないものである。

※ 大分県内の二次医療圏との間で医療需要が10人/日以上以上の流出入がまったくない他県の二次医療圏については表示していない。

4機能別の医療需要の二次医療圏間の流出入の推計（2025年、回復期）

単位：人／日

			医療機関所在地								
			自 県						他 県		
			4 4 0 1 : 東 部	4 4 0 3 : 中 部	4 4 0 5 : 南 部	4 4 0 6 : 豊 肥	4 4 0 8 : 西 部	4 4 0 9 : 北 部	(福 岡 県) 福 岡 ・ 糸 島	(福 岡 県) 久 留 米	(福 岡 県) 北 九 州
患者 住 所 地	自 県	4401:東部	948.5	60.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		4403:中部	54.0	1,907.5	15.4	13.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		4405:南部	0.0	38.7	381.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		4406:豊肥	0.0	104.7	0.0	180.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		4408:西部	0.0	73.8	0.0	0.0	297.6	0.0	11.6	21.2	0.0
		4409:北部	48.7	51.0	0.0	0.0	15.1	419.8	0.0	0.0	18.3
	他 県	1304:東京都 区西部	0.0	11.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
		4013:福岡県 京築	0.0	15.0	0.0	0.0	0.0	65.6			

※ 流出入が「0.0」のうち、網掛けがかかっているものは、実際には10.0未満の流出入があるが、特定の個人が第三者に識別されることを防ぐために非表示とされているものであり、網掛けがかかっていないものは、流出入がまったくないものである。

※ 大分県内の二次医療圏との間で医療需要が10人/日以上の流出入がまったくない他県の二次医療圏については表示していない。

4機能別の医療需要の二次医療圏間の流出入の推計（2025年、慢性期(パターンC)）

単位：人／日

			医療機関所在地								
			自 県						他 県		
			4 4 0 1 : 東 部	4 4 0 3 : 中 部	4 4 0 5 : 南 部	4 4 0 6 : 豊 肥	4 4 0 8 : 西 部	4 4 0 9 : 北 部	(福 岡 県) 久 留 米	(福 岡 県) 八 女 ・ 筑 後	(福 岡 県) 京 築
患者 住 所 地	自 県	4401:東部	521.4	38.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		4403:中部	113.1	1,211.9	23.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		4405:南部	11.0	10.8	87.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		4406:豊肥	13.2	37.8	0.0	142.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		4408:西部	20.7	20.7	0.0	0.0	122.1	0.0	10.3	13.3	0.0
		4409:北部	37.2	0.0	0.0	0.0	0.0	264.9	0.0	0.0	19.8
	他 県	4013:福岡県 京築	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	43.6			

※ 流出入が「0.0」のうち、網掛けがかかっているものは、実際には10.0未満の流出入があるが、特定の個人が第三者に識別されることを防ぐために非表示とされているものであり、網掛けがかかっていないものは、流出入がまったくないものである。

※ 大分県内の二次医療圏との間で医療需要が10人/日以上の流出入がまったくない他県の二次医療圏については表示していない。

大分県内医療機関の病床数の推移（一般病床、療養病床）

（県計）

（単位：床）

		H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	増減数 H15→H25	増減割合 (%)
病院	一般病床	11,932	11,697	11,754	12,089	12,148	12,117	12,129	11,894	11,961	11,869	11,846	△ 86	△ 0.7
	療養病床	3,429	3,576	3,548	3,216	3,137	3,169	3,076	2,988	2,826	2,904	2,893	△ 536	△ 15.6
	計	15,361	15,273	15,302	15,305	15,285	15,286	15,205	14,882	14,787	14,773	14,739	△ 622	△ 4.0
診療所	一般病床	4,779	4,739	4,492	4,443	4,456	4,286	4,200	4,150	4,005	3,837	3,721	△ 1,058	△ 22.1
	療養病床	629	648	652	597	474	437	430	405	398	398	395	△ 234	△ 37.2
	計	5,408	5,387	5,144	5,040	4,930	4,723	4,630	4,555	4,403	4,235	4,116	△ 1,292	△ 23.9
計	一般病床	16,711	16,436	16,246	16,532	16,604	16,403	16,329	16,044	15,966	15,706	15,567	△ 1,144	△ 6.8
	療養病床	4,058	4,224	4,200	3,813	3,611	3,606	3,506	3,393	3,224	3,302	3,288	△ 770	△ 19.0
	計	20,769	20,660	20,446	20,345	20,215	20,009	19,835	19,437	19,190	19,008	18,855	△ 1,914	△ 9.2

（東部医療圏）

		H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	増減数 H15→H25	増減割合 (%)
病院	一般病床	2,815	2,754	2,765	2,827	2,860	2,866	2,926	2,841	2,789	2,766	2,767	△ 48	△ 1.7
	療養病床	1,241	1,244	1,233	1,171	1,138	1,132	1,072	1,072	1,029	1,034	1,029	△ 212	△ 17.1
	計	4,056	3,998	3,998	3,998	3,998	3,998	3,998	3,913	3,818	3,800	3,796	△ 260	△ 6.4
診療所	一般病床	1,095	1,124	1,018	955	932	879	867	871	856	803	755	△ 340	△ 31.1
	療養病床	168	177	185	180	144	130	127	117	116	116	110	△ 58	△ 34.5
	計	1,263	1,301	1,203	1,135	1,076	1,009	994	988	972	919	865	△ 398	△ 31.5
計	一般病床	3,910	3,878	3,783	3,782	3,792	3,745	3,793	3,712	3,645	3,569	3,522	△ 388	△ 9.9
	療養病床	1,409	1,421	1,418	1,351	1,282	1,262	1,199	1,189	1,145	1,150	1,139	△ 270	△ 19.2
	計	5,319	5,299	5,201	5,133	5,074	5,007	4,992	4,901	4,790	4,719	4,661	△ 658	△ 12.4

（中部医療圏）

		H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	増減数 H15→H25	増減割合 (%)
病院	一般病床	5,453	5,315	5,387	5,603	5,627	5,620	5,539	5,522	5,642	5,603	5,573	120	2.2
	療養病床	1,019	1,127	1,055	806	772	779	779	720	600	660	660	△ 359	△ 35.2
	計	6,472	6,442	6,442	6,409	6,399	6,399	6,318	6,242	6,242	6,263	6,233	△ 239	△ 3.7
診療所	一般病床	2,107	2,102	2,051	2,037	2,092	2,020	1,976	1,968	1,904	1,825	1,760	△ 347	△ 16.5
	療養病床	236	241	245	213	165	157	153	149	149	149	149	△ 87	△ 36.9
	計	2,343	2,343	2,296	2,250	2,257	2,177	2,129	2,117	2,053	1,974	1,909	△ 434	△ 18.5
計	一般病床	7,560	7,417	7,438	7,640	7,719	7,640	7,515	7,490	7,546	7,428	7,333	△ 227	△ 3.0
	療養病床	1,255	1,368	1,300	1,019	937	936	932	869	749	809	809	△ 446	△ 35.5
	計	8,815	8,785	8,738	8,659	8,656	8,576	8,447	8,359	8,295	8,237	8,142	△ 673	△ 7.6

（南部医療圏）

		H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	増減数 H15→H25	増減割合 (%)
病院	一般病床	844	808	818	818	829	837	870	870	870	808	814	△ 30	△ 3.6
	療養病床	217	253	265	265	254	244	211	211	211	258	252	35	16.1
	計	1,061	1,061	1,083	1,083	1,083	1,081	1,081	1,081	1,081	1,066	1,066	5	0.5
診療所	一般病床	215	221	173	173	173	176	162	159	164	157	157	△ 58	△ 27.0
	療養病床	8	8	12	0	0	0	0	0	0	0	0	△ 8	△ 100.0
	計	223	229	185	173	173	176	162	159	164	157	157	△ 66	△ 29.6
計	一般病床	1,059	1,029	991	991	1,002	1,013	1,032	1,029	1,034	965	971	△ 88	△ 8.3
	療養病床	225	261	277	265	254	244	211	211	211	258	252	27	12.0
	計	1,284	1,290	1,268	1,256	1,256	1,257	1,243	1,240	1,245	1,223	1,223	△ 61	△ 4.8

（豊肥医療圏）

		H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	増減数 H15→H25	増減割合 (%)
病院	一般病床	583	583	590	630	630	633	633	500	500	500	500	△ 83	△ 14.2
	療養病床	190	190	190	186	186	186	186	157	157	157	157	△ 33	△ 17.4
	計	773	773	780	816	816	819	819	657	657	657	657	△ 116	△ 15.0
診療所	一般病床	231	204	216	235	251	254	254	273	273	254	251	20	8.7
	療養病床	40	40	28	28	6	3	3	3	3	3	6	△ 34	△ 85.0
	計	271	244	244	263	257	257	257	276	276	257	257	△ 14	△ 5.2
計	一般病床	814	787	806	865	881	887	887	773	773	754	751	△ 63	△ 7.7
	療養病床	230	230	218	214	192	189	189	160	160	160	163	△ 67	△ 29.1
	計	1,044	1,017	1,024	1,079	1,073	1,076	1,076	933	933	914	914	△ 130	△ 12.5

（西部医療圏）

		H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	増減数 H15→H25	増減割合 (%)
病院	一般病床	829	829	786	801	801	760	760	760	759	757	757	△ 72	△ 8.7
	療養病床	216	216	259	244	244	285	285	285	286	286	286	70	32.4
	計	1,045	1,045	1,045	1,045	1,045	1,045	1,045	1,045	1,045	1,043	1,043	△ 2	△ 0.2
診療所	一般病床	408	406	412	412	357	359	357	357	338	338	338	△ 70	△ 17.2
	療養病床	47	47	47	47	41	41	41	41	41	41	41	△ 6	△ 12.8
	計	455	453	459	459	398	400	398	398	379	379	379	△ 76	△ 16.7
計	一般病床	1,237	1,235	1,198	1,213	1,158	1,119	1,117	1,117	1,097	1,095	1,095	△ 142	△ 11.5
	療養病床	263	263	306	291	285	326	326	326	327	327	327	64	24.3
	計	1,500	1,498	1,504	1,504	1,443	1,445	1,443	1,443	1,424	1,422	1,422	△ 78	△ 5.2

（北部医療圏）

		H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	増減数 H15→H25	増減割合 (%)
病院	一般病床	1,408	1,408	1,408	1,410	1,401	1,401	1,401	1,401	1,401	1,435	1,435	27	1.9
	療養病床	546	546	546	544	543	543	543	543	543	509	509	△ 37	△ 6.8
	計	1,954	1,954	1,954	1,954	1,944	1,944	1,944	1,944	1,944	1,944	1,944	△ 10	△ 0.5
診療所	一般病床	723	682	622	631	651	598	584	522	470	460	460	△ 263	△ 36.4
	療養病床	130	135	135	129	118	106	106	95	89	89	89	△ 41	△ 31.5
	計	853	817	757	760	769	704	690	617	559	549	549	△ 304	△ 35.6
計	一般病床	2,131	2,090	2,030	2,041	2,052	1,999	1,985	1,923	1,871	1,895	1,895	△ 236	△ 11.1
	療養病床	676	681	681	673	661	649	649	638	632	598	598	△ 78	△ 11.5
	計	2,807	2,771	2,711	2,714	2,713	2,648	2,634	2,561	2,503	2,493	2,493	△ 314	△ 11.2

※市町村合併及び二次医療圏の見直しにより医療圏が変更となった地域については、すべて現在の二次医療圏で集計。

※資料：厚生労働省「医療施設調査」（各年10月1日現在）

事 務 連 絡
平成 27 年 8 月 31 日

病床機能報告制度対象医療機関の管理者 様

厚生労働省医政局地域医療計画課

平成 27 年度 病床機能報告制度の実施について

平素から医療行政の推進について御理解と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

医療介護総合確保推進法が施行されたことに伴い、一般病床又は療養病床を有する病院又は診療所は、毎年 10 月に医療法第 30 条の 13 に基づき病床機能について報告することとなっております。

本年度の報告にあたっては、別添の「平成 27 年度 病床機能報告 報告マニュアル」をご確認いただき、10 月 31 日（土）までに行ってください。報告様式の記入要領のダウンロード及びホームページ上での報告は、下記ホームページから行ってください。

なお、電子レセプトにより診療報酬請求を行っている医療機関の報告様式 2 の報告については、11 月下旬を目処に別途依頼するので、12 月 11 日（金）までに追加・修正の有無を報告してください。

また、今年度の病床機能報告の実施に先立ち、事務作業を効率的に進める観点から、今年度中に廃院予定である等により報告対象外又は紙媒体での報告を希望する医療機関においては、別添 3 「平成 27 年度 病床機能報告 報告対象外医療機関等確認票」を 9 月 25 日（金）までにご提出いただくよう、ご協力をお願いいたします。なお、報告対象であって、紙媒体での報告を希望しない医療機関においては、この確認票をご提出いただく必要はありません。

本事業については、みずほ情報総研株式会社の一部業務委託しております。ご不明なことがある場合は、下記連絡先までお問い合わせください。

記

- 別添 1 平成 27 年度 病床機能報告 スケジュール
- 別添 2 平成 27 年度 病床機能報告 報告マニュアル
- 別添 3 平成 27 年度 病床機能報告 報告対象外医療機関等確認票・記入要領

【病床機能報告ホームページ】

URL : <http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000055891.html>

【参考】

○医療法（昭和 23 年法律第 205 号）（抄）

第三十条の十三 病院又は診療所であつて一般病床又は療養病床を有するもの（以下「病床機能報告対象病院等」という。）の管理者は、地域における病床の機能の分化及び連携の推進のため、厚生労働省令で定めるところにより、当該病床機能報告対象病院等の病床の機能に応じ厚生労働省令で定める区分（以下「病床の機能区分」という。）に従い、次に掲げる事項を当該病床機能報告対象病院等の所在地の都道府県知事に報告しなければならない。

- 一 厚生労働省令で定める日（次号において「基準日」という。）における病床の機能（以下「基準日病床機能」という。）
- 二 基準日から厚生労働省令で定める期間が経過した日における病床の機能の予定（以下「基準日後病床機能」という。）
- 三 当該病床機能報告対象病院等に入院する患者に提供する医療の内容
- 四 その他厚生労働省令で定める事項

2・3 （略）

- 4 都道府県知事は、厚生労働省令で定めるところにより、第一項及び第二項の規定により報告された事項を公表しなければならない。
- 5 都道府県知事は、病床機能報告対象病院等の管理者が第一項若しくは第二項の規定による報告をせず、又は虚偽の報告をしたときは、期間を定めて、当該病床機能報告対象病院等の開設者に対し、当該管理者をしてその報告を行わせ、又はその報告の内容を是正させることを命ずることができる。
- 6 都道府県知事は、前項の規定による命令をした場合において、その命令を受けた病床機能報告対象病院等の開設者がこれに従わなかつたときは、その旨を公表することができる。

【担当】

厚生労働省医政局地域医療計画課
医師確保等地域医療対策室計画係
担当：西山、伊藤

【本報告に関する一部業務の委託先・照会先】

厚生労働省委託業務
「平成 27 年度 病床機能報告」事務局
みずほ情報総研株式会社
社会政策コンサルティング部
担当：井高、田中、西山、明戸
E-mail : byousyoukinou@mizuhor.co.jp
TEL : 0120-139-111 [平日 9:00~17:00]
FAX : 0120-139-121 [24 時間受付]

平成27年度 病床機能報告制度 スケジュール（予定）

時 期	医療機関	都道府県	厚生労働省
8月31日(月)		<ul style="list-style-type: none"> ● 医療機関に対し病床機能報告制度の周知 	<ul style="list-style-type: none"> ● 厚生労働省 HP 上に病床機能報告制度専用ページ立上げ ※専用ページからダウンロードできるものは以下の通り <ul style="list-style-type: none"> ・ 報告マニュアル ・ 報告様式1・2 ・ 報告様式1・2記入要領 ・ 報告対象外医療機関等確認票・記入要領 ● 疑義照会窓口立上げ
9月中	<ul style="list-style-type: none"> ● インターネット環境が整っていないため報告様式をダウンロードできない医療機関等は紙媒体による報告を厚生労働省に登録 ● 報告対象外の医療機関は、その旨を厚生労働省へ報告 		<ul style="list-style-type: none"> ● 希望のあった報告対象医療機関に紙媒体の報告様式を発送
10月1日(木)～ 10月30日(金)	<ul style="list-style-type: none"> ● 報告データの提出 ※提出方法は、以下のいずれかから医療機関ごとに選択 ① 電子ファイルを専用ページ上へアップ ② 電子記録媒体（CD-R 等）の郵送 ③ 紙媒体の郵送 		<ul style="list-style-type: none"> ● 厚生労働省においてNDBデータから医療機関ごとの医療内容に関する項目を調査票へ反映（確認用データ）
10月31日(土)	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">報告様式1・2※の提出期限</div> ※電子レセプトにより診療報酬請求を行っており、6月診療分であって7月審査分の電子の入院レセプトがある医療機関は、報告様式2は12月11日までに提出	<ul style="list-style-type: none"> ● 報告状況の把握 	
11月第3週	<ul style="list-style-type: none"> ● 確認用データの内容確認 ※修正・追加がある場合は厚生労働省へ報告 		<ul style="list-style-type: none"> ● 確認用データを報告対象医療機関へ発送
11月30日(月) まで			<ul style="list-style-type: none"> ● 未報告医療機関へ連絡 ● データ不備等のある医療機関へ修正依頼
12月11日(金)	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">確認用データを修正・追加する場合の提出期限</div>		
12月18日(金)			<ul style="list-style-type: none"> ● 確認用データの確認結果を踏まえた集計結果を都道府県に提供 ※12月中旬までに提出されたデータを集計し、未報告医療機関リストとともに都道府県へ提供
12月18日～ 2月中旬		<ul style="list-style-type: none"> ● 都道府県が未報告医療機関への督促を行うことにより、全報告対象医療機関の報告完了 ※督促の結果報告されたデータは厚生労働省に提出 	
2月中		<ul style="list-style-type: none"> ● 報告結果を順次公表 	<ul style="list-style-type: none"> ● 最終版の報告データを都道府県へ送付

※厚生労働省の事務の一部は、委託業者であるみずほ情報総研株式会社が実施

地域医療構想における慢性期機能の需要推計に用いる慢性期総入院受療率及び特例要件について

○慢性期総入院受療率(県単位:全国最大値391、全国中央値144、全国最小値81)

$$\text{慢性期総入院受療率} = \frac{\text{慢性期入院患者のうち当該区域に住所を有する者の数}}{\sum \text{当該区域の性年齢階級別人口} \times \text{全国の性年齢階級別入院受療率}} \times \frac{\text{全国の慢性期入院患者の数}}{\text{全国の人口}}$$

※慢性期入院患者

長期にわたり療養が必要な入院患者(主としてリハビリテーションを受ける入院患者その他の厚生労働大臣が認める入院患者を除く。)とする。具体的には、療養病棟入院基本料、療養病棟特別入院基本料、有床診療所療養病床入院基本料及び有床診療所療養病床特別入院基本料を算定する入院患者がこれに該当し、「その他の厚生労働大臣が認める入院患者」として当該入院患者のうち医療区分1である患者の数の70%に相当する数を除くこととする。

【補正率】

$$(\text{パターンA}) = \frac{\text{Min}}{X} \quad (\text{パターンB}) = \frac{Y}{X} \quad (\text{特例}) = \frac{Y + (X - Y) \times \alpha}{X}$$

※1 補正率の計算に用いる変数の定義は下記の通り

Max = 慢性期総入院受療率の全国最大値(県単位)

Mid = 慢性期総入院受療率の全国中央値(県単位)

Min = 慢性期総入院受療率の全国最小値(県単位)

X = 当該構想区域(二次医療圏)の慢性期総入院受療率

$$Y = \frac{(\text{Mid} - \text{Min})}{(\text{Max} - \text{Min})} \times (X - \text{Min}) + \text{Min}$$

※2 「当該構想区域(二次医療圏)の慢性期総入院受療率 < Min」の場合は、補正率を「1」とする。

○特例適応に係る要件

【要件①】慢性期病床の減少率が全国中央値(32.2%)よりも大きい

(ア)慢性期病床数(慢性期入院患者のうち、当該構想区域に住所を有するものに係る2013年の病床数) - (イ)パターンBの補正率より算出した2025年における慢性期病床数
(ア')慢性期病床数(慢性期入院患者のうち、当該構想区域に住所を有するものに係る2013年の病床数)

【要件②】当該構想区域の高齢者単身世帯割合が全国平均値(9.2%)よりも大きい

都道府県名	慢性期総入院受療率 (人口10万人あたり)	慢性期病床 の減少率	特例適用可否判断				特例選択可否 (①∩②)
			(ア)慢性期病床数 (2013)	(イ)慢性期病床数 (2025・パターンBの 補正率により算出)	要件① に該当	要件② に該当	
大分県 集計	122						
4401 大分県 東部	155	32.2%	500.7	339.5	×	○	×
4403 大分県 中部	81	-33.0%	507.3	674.9	×	×	×
4405 大分県 南部	81	-4.1%	102.6	106.8	×	○	×
4406 大分県 豊肥	84	6.8%	115.3	107.5	×	○	×
4408 大分県 西部	174	40.1%	268.6	160.9	○	○	○
4409 大分県 北部	193	43.5%	480.1	271.4	○	○	○

療養病床の在り方等に関する検討会 開催要綱

1. 目的

- 本年3月に定められた地域医療構想ガイドラインでは、慢性期の病床機能及び在宅医療等の医療需要を一体として捉えて推計するとともに、療養病床の入院受療率の地域差解消を目指すこととなった。
- 地域医療構想の実現のためには、在宅医療等で対応する者について、医療・介護サービス提供体制の対応の方針を早期に示すことが求められている。
- 一方、介護療養病床については、平成29年度末で廃止が予定されているが、医療ニーズの高い入所者の割合が増加している中で、今後、これらの方々を介護サービスの中でどのように受け止めていくのか等が課題となっている。
- このため、慢性期の医療ニーズに対応する今後の医療・介護サービス提供体制について、療養病床の在り方をはじめ、具体的な改革の選択肢の整理等を行うため、本検討会を開催する。

※今後のスケジュール（予定）

- ・月に1～2回程度開催し、年内を目途に検討会としての報告をとりまとめ
- ・年明け以降、検討会の報告を踏まえ、社会保障審議会の医療部会、介護保険部会等において、制度改正に向けた議論を開始

2. 検討事項

- (1) 介護療養病床を含む療養病床の今後の在り方
- (2) 慢性期の医療・介護ニーズに対応するための(1)以外の医療・介護サービス提供体制の在り方

3. 構成員

別紙のとおりとする。

座長は、必要に応じ、構成員以外の関係者の出席を求めることができる。

4. 検討会の運営

- (1) 検討会の議事は、別に会議において申し合わせた場合を除き、公開とする。
- (2) 検討会は医政局長、老健局長及び保険局長が開催し、検討会の庶務は、医政局地域医療計画課及び老健局老人保健課の協力を得て、保険局医療介護連携政策課において処理する。
- (3) この要綱に定めるもののほか、検討会の運営に関し、必要な事項は、会議において定める。

附則 この要綱は、平成27年7月10日から施行する。

療養病床の在り方等に関する検討会 構成員

池端 幸彦	医療法人池慶会理事長・池端病院院長
井上 由起子	日本社会事業大学専門職大学院教授
猪熊 律子	読売新聞東京本社社会保障部部長
遠藤 久夫	学習院大学経済学部教授
尾形 裕也	東京大学政策ビジョン研究センター特任教授
折茂 賢一郎	中之条町介護老人保健施設六合つつじ荘センター長
嶋森 好子	慶応義塾大学元教授
鈴木 邦彦	日本医師会常任理事
瀬戸 雅嗣	社会福祉法人栄和会理事・総合施設長
田中 滋	慶応義塾大学名誉教授
土屋 繁之	医療法人慈繁会理事長
土居 丈朗	慶応義塾大学経済学部教授
東 秀樹	医療法人静光園理事長・白川病院院長
松田 晋哉	産業医科大学医学部教授
松本 隆利	社会医療法人財団新和会理事長
武藤 正樹	国際医療福祉大学大学院教授

(五十音順、敬称略)

具体的な改革の選択肢の整理等にあたってご議論いただきたい論点（たたき台）

1. 慢性期医療の在り方について

今後の超高齢社会では、複数の疾患を持ち、医療と介護のニーズを併せ持つ高齢者が増加していくが、慢性期医療には急性期医療とは異なる役割があること等を踏まえ、今後の慢性期医療の在り方についてどのように考えるか。例えば、次のような視点について、どのように考えるか。

- ・ 病気と共存しながら QOL の維持・向上を目指す医療
- ・ 病気を治すだけでなく、本人や家族の意向も踏まえ、患者の生活全体を視野に入れた「治し、支える」医療
- ・ 尊厳をもって人生の最終段階を迎えることを支える医療 等

2. 慢性期医療の提供体制等の在り方について

(1) 医療提供側に求められる機能の在り方

今後の慢性期医療の在り方を踏まえ、医療提供側に求められる機能には、どのようなものがあるか。

(2) 医療提供形態の在り方

上記(1)の機能を果たすための医療提供形態の在り方としては、「療養病床のように、医療スタッフを内包して提供する形」と、「在宅医療のように、住まいを拠点として医療を外から提供する形」に大別されるが、それぞれの提供形態の在り方や、選択肢を考える上での条件等（患者像等）についてどのように考えるか。

(3) 療養病床における医療等の在り方

上記(1)(2)の論点も踏まえつつ、療養病床において主として対応することが求められる患者像についてどのように考えるか。

また、患者像を踏まえた療養病床における医療の在り方について、どのように考えるか。その際、例えば、次のような視点や慢性期医療の役割等を踏まえて、どのように考えるか。

- ・ 病気と共存しながら QOL の維持・向上が図られるよう、在宅復帰や在宅生活の継続を支援する
- ・ 継続的な医学管理を行い、人生の最終段階においても穏やかな看取りを支える 等

さらに、上記を踏まえた以下のような論点について、どのように考えるか。

- ① 人員体制の在り方
- ② 施設や設備の在り方
- ③ 制度上の位置付けの在り方（医療法、介護保険法、報酬制度等）
- ④ 基盤整備計画上の位置付け（医療計画、介護保険事業計画）や施設等の整備に対する財政支援の在り方

（４）療養病床以外の医療・介護サービス提供体制の在り方

切れ目なく、医療・介護サービスを提供する上で、療養病床における医療等の在り方も踏まえ、慢性期の医療・介護ニーズに対応するための、療養病床以外の医療・介護サービス提供体制の在り方について、どのように考えるか。